

2026年3月9日

2025年度後期・学生による授業認識アンケート：結果報告

全学FD委員会

1. 目的

履修学生の授業に対する認識を調査することで、授業の内容や方法の改善に役立てることを目的として実施した。

2. 実施の対象

- (1) シラバスに記載されている開講科目（大学院の科目を除く）。但し、受講者が5名未満の科目、オムニバス科目、専門演習科目（ゼミ）については対象外とした。
- (2) 対象科目は教員（専任・非常勤を問わず）1名につき1科目を対象とし、原則として履修者の多い科目を対象とした。
- (3) 実施対象科目を全学FD委員会にて選定し、各学部学科にて精査したうえ決定とした。

3. アンケート項目

2025年度後期の授業に関する学生の授業認識アンケートは以下の項目の通りであった。

【シラバス】

**Q1a あなたはこの授業のシラバス内容を知っていますか？**

- 2) はい（おおよそ）知っています → Q1b に
- 1) いいえ（あまりよく）知りません → Q1b はとぼして Q2 に

**Q1b この授業はシラバスの記述通りに行われたと思いますか。**

- 5) 強くそう思う    4) どちらかと言えばそう思う    3) どちらとも言えない
- 2) どちらかと言えばそう思わない    1) まったくそう思わない

【授業の難易度】

**Q2 自分にとってこの授業の難易度は適切だったと思いますか。**

- 5) とても難しかった    4) やや難しかった    3) 適切だった
- 2) やや易しかった    1) とても易しかった

【質問対応】

**Q3 あなたはこの授業で教員に授業に関連して質問をしたことがありますか。**

- 2) はい、あります → Q4 に

【フィードバック】

Q4 質問に対する教員の対応は適切だったと思いますか。

- 5) 強くそう思う    4) どちらかと言えばそう思う    3) どちらとも言えない  
2) どちらかと言えばそう思わない    1) まったくそう思わない

【学生の意欲／熱意】

Q5 あなたはこの授業に対して意欲／熱意を持って取り組んだと思いますか。

- 5) 強くそう思う    4) どちらかと言えばそう思う    3) どちらとも言えない  
2) どちらかと言えばそう思わない    1) まったくそう思わない

【教員の意欲／熱意】

Q6 教員は熱意を持ってこの授業を行ったと思いますか。

- 5) 強くそう思う    4) どちらかと言えばそう思う    3) どちらとも言えない  
2) どちらかと言えばそう思わない    1) まったくそう思わない

【成長感覚】

Q7 この授業を通じて「知識が増えた」あるいは「ものごとの捉えかたが深くなった」  
あるいは「技能が向上した」などの成長があったと思いますか。

- 5) 強くそう思う    4) どちらかと言えばそう思う    3) どちらとも言えない  
2) どちらかと言えばそう思わない    1) まったくそう思わない

【総合満足】

Q8 すべてを総合して、この授業に対してどの程度満足しましたか。「大いに満足した」を  
10、「まったく満足できなかった」を1として、10段階で最も近いと思われるものを選  
んでください。

- 10) 10    9) 9    8) 8    . . .    3) 3    2) 2    1) 1

【自由記述】

Q9a 授業について良かった点があれば具体的に書いてください。(授業担当教員が直接読み  
ます)

Q9b 授業について困った点があれば具体的に書いてください。(授業担当教員が直接読みま  
す)。

## 4. 結果

### 4.1 対象科目数と対象人数

対象科目数は 876 科目、対象延べ学生数(各対象科目内の履修者数の合計)は 54,696 人、実際に回答した延べ学生数は 19,419 人であった。2023 年度以降は重回帰分析からクロス集計へと分析方法を変更して、各設問の相関関係を示し、全学的な結果について分析を行った。

ただし、全学共通科目(87 科目)を教員所属別に集計すると、学科によっては該当する教員が 1 人となり個人が特定されることから、2025 年度前期同様に 2025 年度後期も(全学共通科目を含む)全科目を教員所属別に集計した。なお、「データサイエンス A・B」は総合系に分類されるが、総合系の該当科目が 1 科目しかないため、自然系に分類して集計した。

全学共通科目のみを対象とした学生所属別の集計は、昨年度同様に実施している。前期から、人文系・社会系・自然系・保健体育系に分類し、それぞれの系別間において授業認識の相違が生じているかどうかの検証も試みた。

2025 年度後期の分析も前期と同様に、平均値とその標準偏差を用いて算出した「変動係数(変異係数、あるいは変化係数ともいう)」に基づいて、アンケートの各項目における学科別の「格差」の有無について検証を行っている。変動係数は複数の変数間の相対的な格差を示す指標として用いられる。本アンケートでは複数の学科間の相対的な格差を表す。その値が高い程、相対的なバラツキが大きいことを示し、良い傾向とは言えない。なお、変動係数の数値は 100 分率で表している。

変動係数はローデータに基づいて算出しているため、各表の平均と標準偏差を用いて計算する値と異なる場合があるが、学科間の相対的な格差分析に問題は生じない。

なお、表の数値は小数点以下 3 桁までを記載し、本文中では下 2 桁(下 3 桁は四捨五入)で示している。前回の回答結果比較のために、(前期〇〇)と表記している場合は、2025 年度前期を示すものとする。

### 4.2 のべ回答者数と回答率

各質問項目の回答分布(学科/部局別)にある回答者数(Q1b は 16,825 人、Q2 は 19,454 人、Q4 は 7,778 人、Q5 は 19,424 人、Q6 は 19,458 人、Q7 は 19,456 人、Q8 は 19,419 人)は、設問によって異なるが、全学平均の回答者数・回答率は、19,419 人、35.50%(昨年度後期 30.66%、今年度前期 41.66%)であった。

学生たちの回答科目数の多さから生じる負担、教員のコメント対応の負担等を考慮し、回答率をあげることを目的として、2025 年度も担当科目のなかから最も履修者数の多い 1 科目を対象としてアンケートを実施した。1 科目であっても、確実にアンケートを実施し、学生の回答から教員自身が授業方法について見直し、課題を認識し、改善に向けて取り組んでいくことが重要だと考えたからである。

2025 年度後期の回答率(35.50%)は 2024 年度後期(30.66%)と比較すると、増加(4.85%)しているが、2025 年度前期(41.66%)に比べて、6.16%減少した。このように、2025 年度後

期の回答率が同年度前期に比べて、大幅に減少した主な原因は、大学生活に慣れてきた1年生が前期に比べて回答意識が低くなったことが考えられる。今後、アンケート期間中に各教員から学生たちに回答するよう、一層強く促してほしい。

学科部局別の回答率とその増減は以下の表の通りである。各学科部局における回答率の増減（＝2025年度後期－2025年度前期）は、国際交流センター(1.92%)と、書道学科(0.45%)、社会学科(0.22%)、国際文化学科(0.21%)は増加したがそれ以外は減少している。回答率が減少している学科の中で、歴史文化学科(-14.68%)、スポーツ科学科(-13.93%)、日本語学科(-12.90%)、中国文学科(-12.46%)、英語学科(-10.54%)、英米文学科(-10.34%)、の6学科は10%以上減少となった。

学科別の回答率と増減

	2025前期	2025後期	増減(%)
国際交流センター	41.73%	43.65%	1.92%
書道学科	48.87%	49.32%	0.45%
社会学科	48.94%	49.16%	0.22%
国際文化学科	43.66%	43.87%	0.21%
現代経済学科	25.37%	24.85%	-0.52%
社会経済学科	26.58%	25.37%	-1.21%
日本文学科	44.33%	42.61%	-1.72%
健康科学科	57.62%	55.23%	-2.39%
看護学科	63.31%	60.15%	-3.16%
国際関係学科	42.52%	37.86%	-4.66%
教育学科	34.46%	29.79%	-4.67%
教職課程センター	46.27%	41.19%	-5.09%
中国語学科	50.78%	44.32%	-6.46%
経営学科	30.69%	22.72%	-7.96%
政治学科	44.78%	35.88%	-8.90%
法律学科	40.27%	30.60%	-9.67%
英米文学科	51.94%	41.60%	-10.34%
英語学科	47.80%	37.25%	-10.54%
中国文学科	49.95%	37.49%	-12.46%
日本語学科	50.23%	37.33%	-12.90%
スポーツ科学科	45.68%	31.75%	-13.93%
歴史文化学科	48.19%	33.51%	-14.68%

学科/部局別（左）および学年別（右）回答率

学科 / 部局	回答数	未回答数	合計	回答率
日本文学科	1,196	1,611	2,807	42.608%
中国文学科	409	682	1,091	37.489%
英米文学科	723	1,015	1,738	41.600%
教育学科	1,145	2,699	3,844	29.787%
書道学科	401	412	813	49.323%
歴史文化学科	563	1,117	1,680	33.512%
社会経済学科	1,086	3,195	4,281	25.368%
現代経済学科	660	1,996	2,656	24.849%
中国語学科	542	681	1,223	44.317%
英語学科	1,645	2,771	4,416	37.251%
日本語学科	374	628	1,002	37.325%
法律学科	1,432	3,248	4,680	30.598%
政治学科	1,015	1,814	2,829	35.878%
国際関係学科	652	1,070	1,722	37.863%
国際文化学科	619	792	1,411	43.870%
経営学科	1,377	4,683	6,060	22.723%
スポーツ科学科	1,229	2,642	3,871	31.749%
健康科学科	1,046	848	1,894	55.227%
看護学科	643	426	1,069	60.150%
社会学科	2,149	2,222	4,371	49.165%
教職課程センター	458	654	1,112	41.187%
国際交流センター	55	71	126	43.651%
<b>全学</b>	<b>19,419</b>	<b>35,277</b>	<b>54,696</b>	<b>35.504%</b>

学年	回答数	未回答数	合計	回答率
1	9,731	12,031	21,762	44.716%
2	5,533	10,967	16,500	33.533%
3	3,457	9,141	12,598	27.441%
4	684	3,091	3,775	18.119%

本アンケートは、授業に対する学生の認識を問うだけではなく、その結果に対して、教員からのコメント入力も必須となっている。授業改善のためには、学生からの指摘あるいは好評であった部分も含め、無視するわけにはいかない。学生からのアンケート回答率は徐々に上昇し、教員側のコメント入力状況も僅かに上昇が見られたとはいえ、決して良い数値とは言えない。専任と非常勤を合わせた回答率は、51.1%、専任のみ 63.5%、非常勤のみ 44.5%であった。次の表にあるように、学科間の入力率のバラツキが大きく、この点は意識的な改善が求められる（専任の場合、中国語学科 92.3%と、書道学科 44.4%で 47.9%の差が生じている）。

その一方で、非常勤よりも専任のコメント入力率が低い学科が 5 学科あった（日本文学科、中国文学科、教育学科、現代経済学科、国際関係学科）。とはいえ、中国文学科は専任・非常勤とも 7 割を超えているため、全体として高い入力率であった。各学科においても教員に対して入力を強く促すことが必要だと思われる。

2025 年度後期の専任教員アンケートへの反応(コメント入力：63.5%)が 2025 年度前期(68.1%)に比べて低くなっており、学生のアンケートへの回答意欲を低下させかねない。教員のコメント入力率を上げることは、教員自身のアンケートへの意識を高めることでもあり継続課題である。

コメント入力状況

学部名	学科名	入力率	入力率	入力率
		専任、非常勤	専任のみ	非常勤のみ
文学部	日本文学科	59.2%	50.0%	62.9%
	中国文学科	76.2%	75.0%	76.9%
	英米文学科	36.1%	72.7%	28.0%
	教育学科	50.9%	50.0%	51.6%
	書道学科	30.8%	44.4%	23.5%
	歴史文化学科	51.6%	85.7%	41.7%
文学部集計		49.0%	58.9%	44.7%
経済学部	社会経済学科	58.5%	72.2%	47.8%
	現代経済学科	53.6%	50.0%	57.1%
経済学部集計		56.5%	62.5%	51.4%
外国語学部	中国語学科	57.1%	92.3%	44.4%
	英語学科	45.6%	63.2%	41.7%
	日本語学科	53.8%	75.0%	44.4%
外国語学部集計		50.0%	75.0%	42.8%
法学部	法律学科	46.9%	62.5%	41.7%
	政治学科	61.0%	68.8%	56.0%
法学部集計		52.4%	65.6%	46.6%
国際関係学部	国際関係学科	77.8%	69.2%	85.7%
	国際文化学科	63.6%	81.8%	45.5%
国際関係学部集計		71.4%	75.0%	68.0%
経営学部	経営学科	43.8%	60.0%	16.7%
経営学部集計		43.8%	60.0%	16.7%
スポーツ・健康科学部	スポーツ科学科	39.2%	62.5%	18.5%
	健康科学科	42.3%	50.0%	16.7%
	看護学科	45.5%	50.0%	40.0%
スポーツ・健康科学部集計		40.9%	56.0%	21.1%
社会学部	社会学科	62.1%	69.6%	57.1%
社会学部集計		62.1%	69.6%	57.1%
教職課程センター		51.7%	-	51.7%
教職課程センター集計		51.7%	-	51.7%
国際交流センター		33.3%	33.3%	33.3%
国際交流センター集計		33.3%	33.3%	33.3%
全学集計		51.1%	63.5%	44.5%

#### 4.3.1 【Q1a】 あなたはこの授業のシラバス内容を知っていますか。 [シラバス既知]

全学では「2 知っている」と回答したのは 80.39% (前期 79.93%) であった。前期よりも僅かに増加している。19.61%の学生がシラバスを承知していないことに留意が必要である。「2 知っている」と回答した比率が最も高かったのは、90.34%の国際文化学科(前期 84.37%)であった。

学年別では、学年が上がるにつれ、1年生を除き、「2 知っている」の比率が 80%を超え、高くなる傾向にある。

#### Q 1a「シラバス既知」の学科/部局別 (左) および学年別 (右) 回答

( 1「いいえ (あまりよく) 知りません」/ 2「はい (おおよそ) 知っています」)

学科 / 部局	1	2
日本文学科	17.126%	82.874%
中国文学科	13.559%	86.441%
英米文学科	18.923%	81.077%
教育学科	20.348%	79.652%
書道学科	14.963%	85.037%
歴史文化学科	19.858%	80.142%
社会経済学科	15.809%	84.191%
現代経済学科	18.306%	81.694%
中国語学科	20.810%	79.190%
英語学科	20.790%	79.210%
日本語学科	23.200%	76.800%
法律学科	25.523%	74.477%
政治学科	17.042%	82.958%
国際関係学科	13.957%	86.043%
国際文化学科	9.662%	90.338%
経営学科	16.014%	83.986%
スポーツ科学科	23.396%	76.604%
健康科学科	30.124%	69.876%
看護学科	12.248%	87.752%
社会学科	21.923%	78.077%
教職課程センター	23.696%	76.304%
国際交流センター	1.786%	98.214%
<b>全学</b>	<b>19.606%</b>	<b>80.394%</b>

学年	1	2
1	22.158%	77.842%
2	17.133%	82.867%
3	17.071%	82.929%
4	16.350%	83.650%

#### 4.3.2 【Q1b】 この授業はシラバスの記述通りに行われたと思いますか。 [シラバス通り]

この設問は Q1a で「2 はい (おおよそ) 知っています」と回答した学生のみが回答した。全学の平均は 4.39 (前期 4.34) で標準偏差は 0.71 (前期 0.74) であった。この結果は 2025 年度前期と同じ傾向である。

学科で最も平均値が高かったのは国際文化学科で 4.54 (前期は書道学科 4.57) であった。

標準偏差の0.60を加味すると、その値は3.93から5.14の幅に位置する。

学科部局別、学年別、全学の回答分布状況は、「5強くそう思う」、「4どちらかと言えばそう思う」の合計は全学90.54%（前期89.63%）であった。学生は「シラバスの記述通りに授業が行われた」と認識しており、概ね満足していると言えるだろう。

尚、全学の合計はローデータに基づいて計算しているため、表では100分の1の誤差が生じているが、全体には影響を及ぼさない。

変動係数からみると、学科間の格差を確認できる。平均16.20%に対し、係数が最も大きかったのは中国語学科18.24%（前期：15.89%）、次いで教育学科18.08%（前期21.39%）、歴史文化学科17.98%（前期：16.05%）、政治学科17.42%（前期：18.01%）、健康科学科17.26%（前期：18.00%）、英語学科17.21%（前期：15.93%）が17%を超えている。変動係数の平均値(16.20%)は2025年度前期(16.28%)よりも僅かながら低くなっているが、学科間のバラツキが広がっている。

Q1b「シラバス通り」の学科/部局別（左）および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	1,039	4.468	0.642	14.377%
中国文学科	373	4.469	0.628	14.042%
英米文学科	622	4.495	0.631	14.032%
教育学科	980	4.335	0.784	18.084%
書道学科	355	4.499	0.652	14.486%
歴史文化学科	478	4.266	0.767	17.982%
社会経済学科	966	4.363	0.736	16.871%
現代経済学科	582	4.271	0.714	16.727%
中国語学科	471	4.321	0.788	18.242%
英語学科	1,435	4.390	0.756	17.213%
日本語学科	302	4.474	0.698	15.611%
法律学科	1,164	4.305	0.711	16.520%
政治学科	888	4.315	0.752	17.418%
国際関係学科	591	4.452	0.696	15.637%
国際文化学科	576	4.535	0.603	13.293%
経営学科	1,235	4.399	0.715	16.264%
スポーツ科学科	1,058	4.489	0.682	15.198%
健康科学科	890	4.336	0.748	17.261%
看護学科	588	4.376	0.660	15.077%
社会学科	1,804	4.353	0.650	14.930%
教職課程センター	372	4.336	0.781	18.016%
国際交流センター	56	4.732	0.481	10.175%
<b>全学</b>	<b>16,825</b>	<b>4.387</b>	<b>0.711</b>	<b>16.201%</b>

学年	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
1	8,312	4.333	0.740	17.080%
2	4,887	4.403	0.694	15.769%
3	3,006	4.485	0.654	14.577%
4	607	4.493	0.628	13.988%

Q 1b 「シラバス通り」に対する学科/部局別回答分布

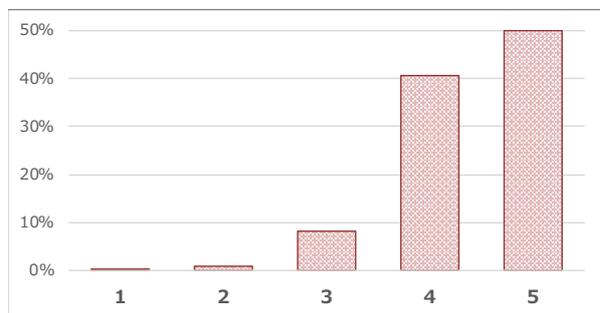
学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.289%	0.481%	5.005%	40.616%	53.609%
中国文学科	0.000%	0.536%	5.630%	40.214%	53.619%
英米文学科	0.000%	0.482%	5.949%	37.138%	56.431%
教育学科	1.224%	1.429%	7.959%	41.429%	47.959%
書道学科	0.000%	0.845%	6.197%	35.211%	57.746%
歴史文化学科	0.418%	2.720%	8.996%	45.607%	42.259%
社会経済学科	0.932%	0.828%	7.453%	42.547%	48.240%
現代経済学科	0.000%	1.718%	10.481%	46.735%	41.065%
中国語学科	1.062%	1.699%	8.705%	41.189%	47.346%
英語学科	0.767%	0.697%	9.965%	35.958%	52.613%
日本語学科	0.331%	0.993%	6.954%	34.437%	57.285%
法律学科	0.172%	0.687%	11.598%	43.557%	43.986%
政治学科	0.563%	2.365%	6.982%	45.158%	44.932%
国際関係学科	0.338%	1.015%	6.768%	36.887%	54.992%
国際文化学科	0.000%	0.347%	4.688%	36.111%	58.854%
経営学科	0.567%	0.729%	8.016%	39.595%	51.093%
スポーツ科学科	0.095%	0.473%	8.790%	31.758%	58.885%
健康科学科	0.337%	0.562%	13.146%	37.079%	48.876%
看護学科	0.170%	0.510%	7.483%	45.238%	46.599%
社会学科	0.166%	0.554%	7.040%	48.337%	43.902%
教職課程センター	1.344%	0.806%	8.871%	40.860%	48.118%
国際交流センター	0.000%	0.000%	1.786%	23.214%	75.000%
<b>全学</b>	0.428%	0.897%	8.137%	40.660%	49.878%

Q 1b 「シラバス通り」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.541%	1.047%	9.889%	41.590%	46.932%
2	0.389%	0.880%	7.100%	41.273%	50.358%
3	0.266%	0.532%	5.689%	37.458%	56.055%
4	0.000%	0.824%	4.778%	38.715%	55.684%

#### Q 1b 「シラバス通り」に対する全学の回答分布

( 1「まったくそう思わない」 / 2「どちらかと言えばそう思わない」 / 3「どちらとも言えない」 / 4「どちらかと言えばそう思う」 / 5「強くそう思う」)



回答	回答者数	割合
1	72	0.428%
2	151	0.897%
3	1,369	8.137%
4	6,841	40.660%
5	8,392	49.878%
合計	16,825	

#### 4.3.3 【Q2】 自分にとってこの授業の難易度は適切だったと思いますか。[難易度適切]

この設問の回答は、「5 とても難しかった」～「1 とても易しかった」の5段階であり、数値が高いほど良いわけではない。全学の平均は3.55（前期：3.57）、標準偏差は0.78（前期：0.80）であった。どの学科も「3 適切だった」から「4 やや難しかった」の間に平均があることから、難易度は概ね適切と言えるだろう。

学科部局別と全学の回答分布状況をみると、全学では「3 と4」の合計が84.70%であり、全体としては概ね適切ではあるものの、やや難しいと受け止めているようだ。なお、「3 適切だった」が5割を超える高い数値を示したのは、高い順に国際交流センター65.46%、歴史文化学科 63.12%、教職課程センター59.13%、日本文学科 57.23%、スポーツ科学科 56.10%、国際文化学科 56.06%、教育学科 55.69%、日本語学科 52.80%、書道学科 51.62%、国際関係学科 51.39%、社会学科 51.35%、英米文学科 50.21%であった。

国際交流センターは、授業を易しいと受け止めている「1 と2」の回答の合計値が比較的高く（7.23%）、授業を難しいと捉えている「5」の回答が他学科に比べて相対的に低かった（3.64%）。

学年別の平均値は、2年生3.46と4年生3.45がほぼ同じ水準であり、他学年より僅かに低くなっている。1年生3.62と3年生3.50は2、4年生より僅かに高い水準にあるので、授業をやや難しいと捉えている。

全学の学年別回答分布を2025年度前期と比較すると、1年生から3年生は「3 適切だった」が上昇している（1年生43.11%：前期43.05%、2年生54.25%：前期47.74%、3年生52.51%：前期49.60%）。一方で、4年生54.96%（前期59.16%）は低下している。これに連動して、「5 とても難しかった」は1年生13.83%（前期14.13%）、2年生8.65%（前期11.28%）、3年生10.46%（前期12.17%）と、前期に比べて1年生で0.3%、2年生で2.63%、3年生で1.71%の低下が見られた。学生の授業難易度に対する認識は2025年度前期に比べて、2025年度後期の授業を易しいと捉えていることが示された。

4年生の場合、「5」が9.48%（前期9.38%）と、2025年度前期よりも0.1%の上昇がみられたが、ほぼ前期並みであった。

変動係数をみると、全学平均 21.84% より高い学科が 7 学科あり、学科間の格差を確認できるものの、格差が強くみられるものではない。しかし、スポーツ科学科 25.03% は相対的に高い値を示し、学力に幅があることがわかる。今後、改善に向けた検討が必要であろう。

Q 2 「難易度適切」の学科/部局別（左）および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	1,197	3.461	0.668	19.288%
中国文学科	413	3.571	0.687	19.247%
英米文学科	723	3.447	0.791	22.958%
教育学科	1,151	3.465	0.757	21.861%
書道学科	401	3.494	0.703	20.124%
歴史文化学科	564	3.342	0.662	19.799%
社会経済学科	1,088	3.586	0.818	22.806%
現代経済学科	661	3.867	0.752	19.460%
中国語学科	544	3.608	0.783	21.702%
英語学科	1,648	3.552	0.797	22.444%
日本語学科	375	3.485	0.793	22.745%
法律学科	1,432	3.568	0.772	21.638%
政治学科	1,022	3.531	0.778	22.030%
国際関係学科	650	3.514	0.751	21.366%
国際文化学科	619	3.428	0.736	21.477%
経営学科	1,375	3.658	0.781	21.358%
スポーツ科学科	1,230	3.355	0.840	25.033%
健康科学科	1,049	3.804	0.756	19.876%
看護学科	645	3.853	0.773	20.053%
社会学科	2,152	3.506	0.742	21.158%
教職課程センター	460	3.365	0.732	21.759%
国際交流センター	55	3.236	0.631	19.510%
<b>全学</b>	<b>19,454</b>	<b>3.546</b>	<b>0.775</b>	<b>21.841%</b>

学年	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
1	9,753	3.616	0.802	22.173%
2	5,541	3.464	0.728	21.015%
3	3,460	3.502	0.753	21.495%
4	686	3.453	0.760	22.001%

Q 2「難易度適切」に対する学科/部局別回答分布

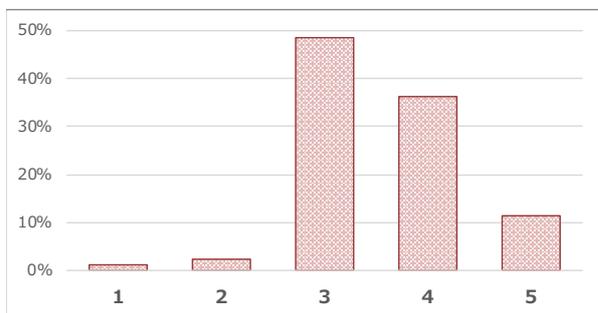
学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.251%	1.671%	57.226%	33.417%	7.435%
中国文学科	0.242%	1.695%	47.700%	41.404%	8.959%
英米文学科	1.660%	4.703%	50.207%	34.163%	9.267%
教育学科	1.043%	2.606%	55.691%	30.148%	10.513%
書道学科	0.748%	2.244%	51.621%	37.656%	7.731%
歴史文化学科	0.355%	3.723%	63.121%	26.950%	5.851%
社会経済学科	1.654%	3.033%	43.658%	38.327%	13.327%
現代経済学科	0.303%	1.513%	29.501%	48.563%	20.121%
中国語学科	1.838%	2.022%	40.809%	44.118%	11.213%
英語学科	1.335%	2.852%	47.633%	35.619%	12.561%
日本語学科	1.867%	2.133%	52.800%	32.000%	11.200%
法律学科	1.187%	2.723%	45.461%	39.385%	11.243%
政治学科	1.370%	3.425%	46.184%	38.748%	10.274%
国際関係学科	0.923%	2.462%	51.385%	34.769%	10.462%
国際文化学科	1.454%	2.423%	56.058%	31.987%	8.078%
経営学科	0.800%	2.255%	41.891%	40.436%	14.618%
スポーツ科学科	3.821%	3.089%	56.098%	27.724%	9.268%
健康科学科	0.191%	1.144%	35.748%	43.947%	18.970%
看護学科	0.155%	0.620%	35.504%	41.240%	22.481%
社会学科	0.790%	2.788%	51.348%	35.223%	9.851%
教職課程センター	1.739%	3.043%	59.130%	29.130%	6.957%
国際交流センター	0.000%	7.273%	65.455%	23.636%	3.636%
<b>全学</b>	<b>1.151%</b>	<b>2.560%</b>	<b>48.376%</b>	<b>36.322%</b>	<b>11.591%</b>

Q 2「難易度適切」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	1.292%	2.615%	43.105%	39.157%	13.832%
2	0.938%	2.599%	54.250%	33.568%	8.645%
3	1.012%	2.341%	52.514%	33.671%	10.462%
4	1.603%	2.187%	54.956%	31.778%	9.475%

Q 2 「難易度適切」に対する全学の回答分布

( 1「とても易しかった」/ 2「やや易しかった」/ 3「適切だった」/ 4「やや難しかった」/ 5「とても難しかった」)



回答	回答者数	割合
1	224	1.151%
2	498	2.560%
3	9,411	48.376%
4	7,066	36.322%
5	2,255	11.591%
合計	19,454	

4.3.4 【Q3】 あなたはこの授業で教員に授業に関連して質問をしたことがありますか。

[質問対応]

全学で「2 はい、あります」と回答したのは17.74%（前期17.16%）と低い比率であるが、2025年度前期より0.58%とやや上昇する結果となった。

2025年度前期において、「1 いいえ、したことはありません」と回答したのは全学で82.84%と高い比率を示していた。2025年度の後期82.26%は前期に比べて、僅かながら減少した値であり、依然として授業における学生の消極的な様子がみとれる。

「2 はい、あります」については、9学科が全学平均値(17.74%)未満であり、看護学科の9.91%は他学科に比べても相対的に低かった。

「2 はい、あります」と回答した学生を学年別の比率でも、全学で1年生17.45%、2年生15.98%、3年生20.16%、4年生22.81%となり、2年生は平均値を下回っているが、3年生と4年生は20%を超え、他学年よりも積極性が見られる結果となった。

### Q3「質問対応」の学科/部局別（左）および学年別（右）回答

（1「いいえ、したことがありません」/ 2「はい、あります」）

学科 / 部局	1	2
日本文学科	86.391%	13.609%
中国文学科	81.373%	18.627%
英米文学科	74.685%	25.315%
教育学科	82.040%	17.960%
書道学科	67.669%	32.331%
歴史文化学科	88.087%	11.913%
社会経済学科	87.915%	12.085%
現代経済学科	87.883%	12.117%
中国語学科	68.460%	31.540%
英語学科	71.875%	28.125%
日本語学科	75.676%	24.324%
法律学科	87.323%	12.677%
政治学科	82.097%	17.903%
国際関係学科	74.299%	25.701%
国際文化学科	79.608%	20.392%
経営学科	82.409%	17.591%
スポーツ科学科	81.856%	18.144%
健康科学科	84.393%	15.607%
看護学科	90.094%	9.906%
社会学科	89.313%	10.687%
教職課程センター	83.878%	16.122%
国際交流センター	44.444%	55.556%
<b>全学</b>	<b>82.264%</b>	<b>17.736%</b>

学年	1	2
1	82.547%	17.453%
2	84.020%	15.980%
3	79.837%	20.163%
4	77.193%	22.807%

#### 4.3.5 【Q4】 質問に対する教員の対応は適当だったと思いますか。[フィードバック]

この設問は、Q3で「授業に関連して質問したことがある」と回答した学生のみが回答した。全学の平均は4.13（前期は4.10）、標準偏差は0.96（前期は0.97）となり、2025年度前期に比べて僅かながら上昇している。とはいえ、「4どちらかといえばそう思う」と「5強くそう思う」の間にあることから、対応は迅速であったと認識されていると言える。

学科部局別回答分布の全学をみると、「4と5」の合計は71.73%と7割を超えているが、2025年度前期の「4と5」の合計71.28%と比較すると、僅か増加(0.45%)している。

2025年度前期は、「1まったくそう思わない」2.18%と「2どちらかといえばそう思わない」1.65%の合計が3.83%であった。2025年度後期の「1と2」の合計は3.24%で、減少(-0.59%)しており、この結果から質問に対する教員対応が必要であると言える。

学科別では 2025 年度の前期と同様、書道学科(平均 4.48、標準偏差 0.76) が最も高かった(前期：平均 4.55、標準偏差 0.75)。部局では国際交流センターが平均 4.62、標準偏差 0.65 であった(前期：平均 4.60、標準偏差 0.68)。

学年別では、全学の平均は 1 年生 4.04 (標準偏差 0.99)、2 年生 4.15(標準偏差 0.91)、3 年生 4.32(標準偏差 0.88)、4 年生 4.34 (標準偏差 0.95) を示し、学年が上がるに連れて増加している。4 年生の数値は他学年に比べて相対的に高い。

変動係数の平均値は 23.18%であった。6 学科がこの平均値を超え、他学科に比べて相対的に高い数値を示している。これはバラツキが大きく生じていることから、良い傾向とは言えない。最も高いのは看護学科で 28.41%であり、最も低い書道学科 16.86%と、11.55%の格差が生じており、学科間の大きな格差が確認された。

学科部局別回答分布の「5 強くそう思う」の評価は、2025 年度前期に比べ、6 学科・1 部局以外(日本文学科、歴史文化学科、現代経済学科、中国語学科、健康科学科、看護学科、教職課程センター)は上昇している。

Q 4 「フィードバック」の学科/部局別 (左) および学年別 (右) の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	337	4.205	0.900	21.401%
中国文学科	142	4.324	0.860	19.896%
英米文学科	342	4.249	0.914	21.520%
教育学科	459	4.096	0.992	24.222%
書道学科	199	4.482	0.756	16.862%
歴史文化学科	166	4.072	0.916	22.481%
社会経済学科	397	3.897	1.058	27.163%
現代経済学科	248	3.903	0.888	22.757%
中国語学科	269	4.234	0.905	21.370%
英語学科	852	4.227	0.982	23.230%
日本語学科	147	4.463	0.859	19.256%
法律学科	471	3.977	0.991	24.925%
政治学科	391	4.136	0.943	22.806%
国際関係学科	315	4.302	0.943	21.931%
国際文化学科	281	4.224	0.850	20.115%
経営学科	623	4.019	0.924	22.986%
スポーツ科学科	525	4.139	0.994	24.018%
健康科学科	467	4.092	0.931	22.759%
看護学科	249	3.880	1.102	28.406%
社会学科	697	4.082	0.925	22.661%
教職課程センター	159	4.082	0.951	23.310%
国際交流センター	42	4.619	0.653	14.135%
<b>全学</b>	<b>7,778</b>	<b>4.129</b>	<b>0.957</b>	<b>23.182%</b>

学年	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
1	4,106	4.041	0.992	24.538%
2	2,072	4.154	0.911	21.933%
3	1,331	4.320	0.880	20.379%
4	261	4.341	0.952	21.935%

Q 4「フィードバック」に対する学科/部局別回答分布

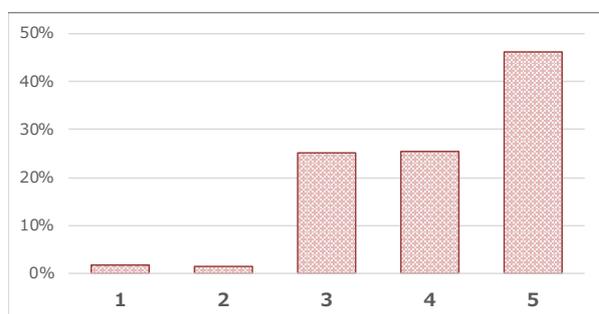
学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.593%	0.593%	27.003%	21.365%	50.445%
中国文学科	0.704%	0.704%	19.718%	23.239%	55.634%
英米文学科	1.462%	0.292%	22.807%	22.807%	52.632%
教育学科	2.614%	1.961%	23.312%	27.451%	44.662%
書道学科	0.000%	0.000%	16.080%	19.598%	64.322%
歴史文化学科	0.602%	1.205%	31.325%	24.096%	42.771%
社会経済学科	4.030%	2.015%	31.486%	25.189%	37.280%
現代経済学科	1.210%	0.806%	35.081%	32.258%	30.645%
中国語学科	1.115%	1.859%	19.703%	27.138%	50.186%
英語学科	2.700%	1.408%	19.014%	24.296%	52.582%
日本語学科	2.041%	0.680%	10.204%	23.129%	63.946%
法律学科	2.335%	1.486%	31.847%	24.841%	39.490%
政治学科	1.790%	1.023%	24.808%	26.598%	45.780%
国際関係学科	1.905%	1.905%	16.825%	22.857%	56.508%
国際文化学科	1.068%	1.068%	17.794%	34.520%	45.552%
経営学科	1.124%	1.605%	30.177%	28.411%	38.684%
スポーツ科学科	2.095%	2.095%	24.571%	22.286%	48.952%
健康科学科	0.642%	1.713%	30.193%	22.698%	44.754%
看護学科	5.221%	1.606%	31.325%	23.695%	38.153%
社会学科	1.291%	1.865%	25.681%	29.699%	41.463%
教職課程センター	1.258%	1.258%	30.189%	22.642%	44.654%
国際交流センター	0.000%	0.000%	9.524%	19.048%	71.429%
<b>全学</b>	<b>1.813%</b>	<b>1.427%</b>	<b>25.032%</b>	<b>25.482%</b>	<b>46.246%</b>

Q 4「フィードバック」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	2.314%	1.875%	27.691%	25.645%	42.474%
2	1.110%	0.772%	26.014%	25.820%	46.284%
3	1.277%	0.977%	17.280%	25.394%	55.071%
4	2.299%	1.533%	15.709%	20.690%	59.770%

#### Q4 「フィードバック」に対する全学の回答分布

( 1「まったくそう思わない」 / 2「どちらかと言えばそう思わない」 / 3「どちらとも思えない」 / 4「どちらかと言えばそう思う」 / 5「強くそう思う」 )



回答	回答者数	割合
1	141	1.813%
2	111	1.427%
3	1,947	25.032%
4	1,982	25.482%
5	3,597	46.246%
合計	7,778	

#### 4.3.6 【Q5】 あなたはこの授業に対して意欲／熱意を持って取り組んだと思いますか。

[学生意欲]

この設問に対する全学の平均は 4.12 (前期: 4.08)、標準偏差 0.79 (前期: 0.81) であり、前期に比べてやや高い数値であった。学科別では前期と同様、書道学科 4.41 (標準偏差 0.71) が最も高かった (前期: 平均値 4.44、標準偏差 0.71)。学科による平均値の幅 (最大値 4.41: 書道学科 - 最小値 3.97: 社会学科) は 0.44 で小さくはない。部局の平均値では、国際交流センターが 4.59 (標準偏差 0.53) と高かった (前期: 国際交流センター平均 4.45、標準偏差 0.65)。

学科部局別の回答分布をみても、「4 どちらかと言えばそう思う」49.61%、「5 強くそう思う」33.08%と、4 と 5 の合計 82.69%と 8 割を超えており、学生は意欲をもって授業に取り組んだと言えるだろう。

学年別の平均では、全学年で 4.0 以上であり、3 年生 4.18 (標準偏差 0.75) が最も高い数値を表している。

変動係数から授業参加への意欲や熱意に対する学生自身の認識をみると、平均 19.18%に対し、書道学科 16.14%、スポーツ科学科 16.46%、国際文化学科 16.87%、中国文学科 16.93% と低い値を示し、バラツキも他の学科に比べて相対的に小さい。

一方で、平均を超えバラツキの大きさを示したのは、社会学科 20.20%、社会経済学科 20.20%、経営学科 20.01%、法律学科 19.92%、健康科学科 19.70%、日本語学科 19.67%、英語学科 19.65%、歴史文化学科 19.54% の 8 学科があった。なお、社会学科 20.20%に対して、国際交流センター11.48%とのバラツキ格差が 8.72%も生じている。

Q 5「学生意欲」の学科/部局別（左）および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	1,198	4.134	0.773	18.691%
中国文学科	412	4.189	0.709	16.929%
英米文学科	722	4.208	0.762	18.101%
教育学科	1,149	4.143	0.791	19.089%
書道学科	400	4.410	0.712	16.144%
歴史文化学科	558	3.968	0.775	19.540%
社会経済学科	1,083	3.982	0.804	20.197%
現代経済学科	661	4.006	0.748	18.675%
中国語学科	544	4.103	0.779	18.990%
英語学科	1,643	4.168	0.819	19.646%
日本語学科	375	4.112	0.809	19.669%
法律学科	1,432	4.009	0.798	19.916%
政治学科	1,017	4.097	0.752	18.357%
国際関係学科	649	4.243	0.765	18.021%
国際文化学科	619	4.250	0.717	16.868%
経営学科	1,375	4.073	0.815	20.005%
スポーツ科学科	1,231	4.360	0.717	16.455%
健康科学科	1,047	4.131	0.814	19.696%
看護学科	643	4.129	0.779	18.868%
社会学科	2,150	3.966	0.801	20.199%
教職課程センター	460	4.167	0.802	19.252%
国際交流センター	56	4.589	0.527	11.484%
<b>全学</b>	<b>19,424</b>	<b>4.117</b>	<b>0.790</b>	<b>19.183%</b>

学年	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
1	9,745	4.089	0.813	19.894%
2	5,527	4.127	0.770	18.660%
3	3,454	4.184	0.752	17.969%
4	684	4.117	0.777	18.866%

Q 5「学生意欲」に対する学科/部局別回答分布

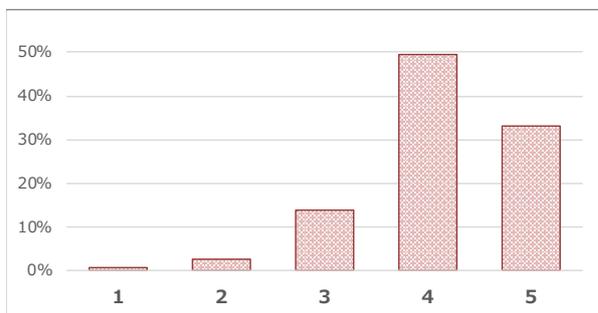
学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.668%	2.838%	11.519%	52.337%	32.638%
中国文学科	0.243%	1.699%	10.922%	53.155%	33.981%
英米文学科	0.277%	2.632%	11.219%	47.784%	38.089%
教育学科	0.783%	2.698%	12.359%	49.782%	34.378%
書道学科	0.500%	1.250%	6.500%	40.250%	51.500%
歴史文化学科	0.358%	4.659%	15.591%	56.631%	22.760%
社会経済学科	1.200%	2.585%	18.283%	52.632%	25.300%
現代経済学科	0.000%	3.631%	16.793%	54.917%	24.660%
中国語学科	0.551%	2.757%	14.154%	50.919%	31.618%
英語学科	0.913%	2.739%	12.842%	45.648%	37.858%
日本語学科	1.067%	2.667%	13.333%	49.867%	33.067%
法律学科	1.117%	2.793%	16.341%	53.561%	26.187%
政治学科	0.295%	2.852%	13.569%	53.392%	29.892%
国際関係学科	0.154%	2.311%	12.173%	43.760%	41.602%
国際文化学科	0.323%	1.616%	9.532%	49.758%	38.772%
経営学科	0.945%	2.909%	15.418%	49.382%	31.345%
スポーツ科学科	0.162%	1.056%	10.073%	40.049%	48.660%
健康科学科	0.382%	2.292%	18.243%	42.025%	37.058%
看護学科	0.622%	2.022%	14.930%	48.678%	33.748%
社会学科	0.837%	4.279%	16.000%	55.256%	23.628%
教職課程センター	0.870%	2.174%	13.478%	46.304%	37.174%
国際交流センター	0.000%	0.000%	1.786%	37.500%	60.714%
<b>全学</b>	<b>0.649%</b>	<b>2.729%</b>	<b>13.931%</b>	<b>49.609%</b>	<b>33.083%</b>

Q 5「学生意欲」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.718%	3.202%	15.126%	48.404%	32.550%
2	0.597%	2.461%	13.154%	51.257%	32.531%
3	0.579%	1.824%	11.812%	50.203%	35.582%
4	0.439%	2.778%	14.035%	50.146%	32.602%

Q5 「学生意欲」に対する全学の回答分布

( 1「まったくそう思わない」 / 2「どちらかと言えばそう思わない」 / 3「どちらとも言えない」 / 4「どちらかと言えばそう思う」 / 5「強くそう思う」 )



回答	回答者数	割合
1	126	0.649%
2	530	2.729%
3	2,706	13.931%
4	9,636	49.609%
5	6,426	33.083%
合計	19,424	

4.3.7 【Q6】 教員は熱意を持ってこの授業を行ったと思いますか。[教員熱意]

この設問に対する全学の平均 4.53 (標準偏差 0.68) は、前期の平均 4.49 (標準偏差 0.73) に比べてわずかに増加しているが、ほぼ前期並みと言える。この平均値は、「4 どちらかと言えばそう思う」と「5 強くそう思う」の中間点である。学科部局別回答分布の全学平均値をみても、「5」が 61.83%、「4」が 31.46%であった。「4 と 5」の合計が 93.29%という高い数値を示しており、満足してよい結果であると言える。学科部局別の回答分布においても、全学科が 90%以上の高い値を示していた。

学科別の平均をみると、前期に続き、書道学科が 4.70 (標準偏差 0.53) と最も高かった (前期：平均 4.69、標準偏差 0.63)。部局では国際交流センターの平均が 4.84 (標準偏差 0.41) と高かった (前期：平均 4.86、標準偏差 0.43)。

学年別の平均は 4.49 以上の高い数値を示しており、3 年生の数値が最も高い (全学 4.62)。

変動係数からみると、学科間の格差は生じているものの、各質問項目のなかでは最も低い値である。とはいえ、全学平均 14.94%に対し、社会経済学科 17.74%、中国語学科 17.44%、経営学科 16.82%、英語学科 16.21%、看護学科 15.89%、現代経済学科 15.76%、教育学科 14.97%と平均を超えており、学科間の格差が確認された。

Q 6「教員熱意」の学科/部局別（左）および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	1,198	4.645	0.579	12.474%
中国文学科	414	4.623	0.576	12.453%
英米文学科	723	4.617	0.619	13.404%
教育学科	1,151	4.563	0.683	14.972%
書道学科	400	4.703	0.528	11.232%
歴史文化学科	564	4.470	0.703	15.721%
社会経済学科	1,085	4.393	0.779	17.739%
現代経済学科	662	4.363	0.688	15.762%
中国語学科	544	4.438	0.774	17.442%
英語学科	1,646	4.528	0.734	16.205%
日本語学科	375	4.621	0.650	14.056%
法律学科	1,433	4.506	0.665	14.764%
政治学科	1,021	4.534	0.662	14.612%
国際関係学科	652	4.638	0.615	13.259%
国際文化学科	618	4.662	0.578	12.394%
経営学科	1,379	4.421	0.743	16.816%
スポーツ科学科	1,231	4.606	0.667	14.484%
健康科学科	1,048	4.563	0.660	14.454%
看護学科	646	4.433	0.705	15.891%
社会学科	2,152	4.515	0.633	14.030%
教職課程センター	460	4.589	0.665	14.488%
国際交流センター	56	4.839	0.413	8.535%
<b>全学</b>	<b>19,458</b>	<b>4.534</b>	<b>0.677</b>	<b>14.939%</b>

学年	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
1	9,759	4.493	0.701	15.606%
2	5,538	4.546	0.675	14.839%
3	3,462	4.616	0.613	13.283%
4	685	4.613	0.607	13.161%

Q 6「教員熱意」に対する学科/部局別回答分布

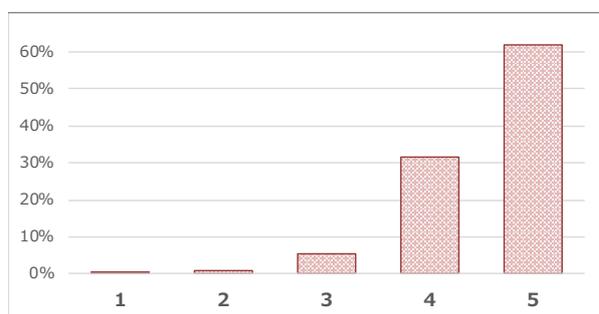
学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.250%	0.334%	2.838%	27.796%	68.781%
中国文学科	0.000%	0.242%	4.106%	28.744%	66.908%
英米文学科	0.138%	0.692%	4.426%	26.833%	67.911%
教育学科	0.695%	0.869%	4.257%	29.800%	64.379%
書道学科	0.000%	0.250%	2.750%	23.500%	73.500%
歴史文化学科	0.355%	1.064%	6.915%	34.574%	57.092%
社会経済学科	1.290%	1.106%	7.373%	37.512%	52.719%
現代経済学科	0.000%	1.208%	8.459%	43.202%	47.130%
中国語学科	1.103%	1.838%	5.515%	35.294%	56.250%
英語学科	0.608%	1.823%	5.346%	28.615%	63.609%
日本語学科	0.800%	0.267%	3.733%	26.400%	68.800%
法律学科	0.209%	0.768%	6.071%	34.124%	58.828%
政治学科	0.490%	0.490%	5.093%	33.007%	60.921%
国際関係学科	0.153%	0.460%	5.061%	24.080%	70.245%
国際文化学科	0.000%	0.485%	4.045%	24.272%	71.197%
経営学科	0.580%	1.668%	6.962%	36.693%	54.097%
スポーツ科学科	0.406%	0.406%	6.661%	23.233%	69.293%
健康科学科	0.191%	0.382%	7.156%	27.481%	64.790%
看護学科	0.155%	1.548%	6.966%	37.461%	53.870%
社会学科	0.093%	0.929%	4.229%	36.896%	57.853%
教職課程センター	0.652%	0.870%	3.478%	28.913%	66.087%
国際交流センター	0.000%	0.000%	1.786%	12.500%	85.714%
<b>全学</b>	<b>0.396%</b>	<b>0.905%</b>	<b>5.412%</b>	<b>31.463%</b>	<b>61.825%</b>

Q 6「教員熱意」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.410%	1.168%	6.117%	33.344%	58.961%
2	0.469%	0.740%	5.327%	30.607%	62.857%
3	0.289%	0.433%	3.928%	28.134%	67.215%
4	0.146%	0.730%	3.504%	28.905%	66.715%

#### Q6 「教員熱意」に対する全学の回答分布

( 1「まったくそう思わない」 / 2「どちらかと言えばそう思わない」 / 3「どちらとも言えない」 / 4「どちらかと言えばそう思う」 / 5「強くそう思う」)



回答	回答者数	割合
1	77	0.396%
2	176	0.905%
3	1,053	5.412%
4	6,122	31.463%
5	12,030	61.825%
合計	19,458	

4.3.8 【Q7】 この授業を通じて「知識が増えた」あるいは「ものごとの捉えかたが深くなった」あるいは「技能が向上した」などの成長があったと思いますか。[成長感覚]

この設問に対する全学の平均は 4.33 (標準偏差 0.75) であり、前期 (平均 4.26、標準偏差 0.81) に比べて僅かに増加しており、全体としてはまずまずの結果と言える。学科別の平均は前期と同じく、書道学科が 4.57 (標準偏差 0.64) と最も高く (前期: 平均 4.55、標準偏差 0.68)、部局では国際交流センターが平均 4.77 (標準偏差 0.46) であった (前期: 国際交流センター平均 4.62、標準偏差 0.67)。

学科部局別および全学の回答分布をみると、「4 どちらかと言えばそう思う」43.09%、「5 強くそう思う」46.30%である。両方の合計 89.39%は、前期 (86.75%) に比べると増加しており、成長感覚が増加 (2.64%) していると言える。ちなみに、「4」よりも「5」の割合が高かった学科は、高い順に書道学科 63.84%、国際関係学科 55.69%、スポーツ科学科 55.65%、国際文化学科 55.25%、健康科学科 51.29%、英米文学科 50.69%、日本文学科 51.42%、英語学科 48.51%、中国語学科 48.35%、教育学科 48.48%、日本語学科 47.73%、中国文学科 47.83%、政治学科 46.33%の 13 学科であった。なかでも、書道学科は 6 割を超えており、技術の習得が成長感覚をもたらしていると考えられる。部局では、教職課程センターも国際交流センターも 5 の割合が高く、教職課程センター52.39%、国際交流センター78.57%であった。

学年別の回答分布を見ると、「5 強くそう思う」の割合が最も高いのは 3 年生 53.09%、次いで 4 年生 52.85%で 5 割を超える数値であった。

成長感覚を変動係数からみると、次の 8 学科が全学平均の 17.25%を超えていた。社会経済学科 19.57%、看護学科 18.79%、中国語学科 18.64%、英語学科 18.52%、経営学科 18.40%、現代経済学科 17.69%、社会学科 17.56%、教育学科 17.54%であり、他学科に比べて相対的にバラツキが大きかった。書道学科の変動係数は 14.07%と、バラツキが他学科に比べて最も小さかった。

Q7「成長感覚」の学科/部局別（左）および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	1,198	4.432	0.666	15.035%
中国文学科	414	4.396	0.650	14.791%
英米文学科	724	4.392	0.717	16.333%
教育学科	1,151	4.351	0.763	17.538%
書道学科	401	4.574	0.644	14.071%
歴史文化学科	564	4.284	0.725	16.929%
社会経済学科	1,086	4.159	0.814	19.569%
現代経済学科	661	4.195	0.742	17.685%
中国語学科	544	4.329	0.807	18.637%
英語学科	1,647	4.322	0.801	18.523%
日本語学科	375	4.349	0.747	17.174%
法律学科	1,431	4.315	0.703	16.287%
政治学科	1,021	4.352	0.709	16.285%
国際関係学科	650	4.449	0.703	15.790%
国際文化学科	619	4.467	0.670	15.005%
経営学科	1,378	4.258	0.784	18.400%
スポーツ科学科	1,231	4.447	0.714	16.066%
健康科学科	1,047	4.378	0.741	16.915%
看護学科	646	4.228	0.794	18.788%
社会学科	2,152	4.205	0.738	17.557%
教職課程センター	460	4.383	0.795	18.138%
国際交流センター	56	4.768	0.463	9.702%
<b>全学</b>	<b>19,456</b>	<b>4.329</b>	<b>0.747</b>	<b>17.252%</b>

学年	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
1	9,758	4.270	0.774	18.130%
2	5,541	4.345	0.738	16.991%
3	3,458	4.444	0.678	15.257%
4	685	4.460	0.651	14.593%

Q7「成長感覚」に対する学科/部局別回答分布

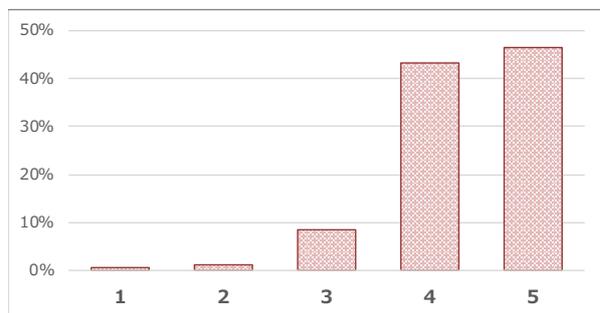
学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.250%	1.002%	5.426%	41.903%	51.419%
中国文学科	0.242%	0.242%	7.005%	44.686%	47.826%
英米文学科	0.276%	1.519%	7.597%	39.917%	50.691%
教育学科	0.956%	1.477%	7.559%	41.529%	48.480%
書道学科	0.499%	0.499%	3.990%	31.172%	63.840%
歴史文化学科	0.709%	0.709%	9.752%	47.163%	41.667%
社会経済学科	1.381%	2.210%	11.510%	48.895%	36.004%
現代経済学科	0.454%	2.118%	10.590%	51.135%	35.703%
中国語学科	1.471%	1.654%	7.721%	40.809%	48.346%
英語学科	1.032%	1.761%	9.654%	39.041%	48.512%
日本語学科	1.067%	0.533%	8.533%	42.133%	47.733%
法律学科	0.419%	1.048%	8.246%	47.170%	43.117%
政治学科	0.588%	0.784%	7.835%	44.466%	46.327%
国際関係学科	0.308%	0.615%	8.615%	34.769%	55.692%
国際文化学科	0.162%	0.969%	6.139%	37.480%	55.250%
経営学科	1.089%	1.524%	10.015%	45.210%	42.163%
スポーツ科学科	0.325%	1.219%	7.555%	35.256%	55.646%
健康科学科	0.287%	1.337%	9.933%	37.154%	51.289%
看護学科	1.084%	1.858%	10.681%	45.975%	40.402%
社会学科	0.651%	2.045%	9.061%	52.602%	35.641%
教職課程センター	1.304%	1.739%	6.739%	37.826%	52.391%
国際交流センター	0.000%	0.000%	1.786%	19.643%	78.571%
<b>全学</b>	<b>0.689%</b>	<b>1.398%</b>	<b>8.522%</b>	<b>43.092%</b>	<b>46.299%</b>

Q7「成長感覚」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.820%	1.804%	9.777%	44.712%	42.888%
2	0.704%	1.101%	8.428%	42.555%	47.212%
3	0.347%	0.868%	5.957%	39.734%	53.094%
4	0.438%	0.584%	4.380%	41.752%	52.847%

#### Q7 「成長感覚」に対する全学の回答分布

( 1「まったくそう思わない」 / 2「どちらかと言えばそう思わない」 / 3「どちらとも言えない」 / 4「どちらかと言えばそう思う」 / 5「強くそう思う」)



回答	回答者数	割合
1	134	0.689%
2	272	1.398%
3	1,658	8.522%
4	8,384	43.092%
5	9,008	46.299%
合計	19,456	

4.3.9 【Q8】 すべてを総合して、この授業に対してどの程度満足しましたか。「大いに満足した」を10、「まったく満足できなかった」を1として、10段階で最も近いと思われるものを選んでください。[総合満足]

包括的な設問（総合満足）であるQ8の結果をみると、全学の平均は8.32（標準偏差1.68）であり、10の評価段階内の「8」を超えているので「合格点」と言えるのではないだろうか。その平均値が2025年度前期（平均8.12、標準偏差1.82）に比べて上がっており、「総合満足」がやや増加している(0.2%)。2024年度後期の水準(平均8.35)まで回復したことになり、評価できる。

学科別の平均では、その値が最も高かった学科は、前期（平均8.91、標準偏差1.39）と同じく、書道学科（平均8.95、標準偏差1.28）であった。部局の平均は国際交流センターが高く、9.33（標準偏差0.88）であった（前期：平均9.07、標準偏差1.11）。

学科部局別および全学の回答分布をみると、8が22.94%（前期23.06%）、9が20.35%（前期19.28%）、10が30.99%（前期28.10%）である。8から10の合計は74.27%（2025年度前期70.44%）となり、全体の7割以上を占めている。前期の結果と比較すると3.83%の増加がみられ、「総合満足」は増加している。なお、回答分布の最頻値が「10」で表れており、全体としてはますますの結果と考えることができるだろう。

学科別では、10が全学平均値の30.99%を超えるのは、書道学科47.88%、スポーツ科学科42.07%、国際関係学科36.81%、国際文化学科36.19%、日本語学科35.83%、中国文学科35.45%、英語学科34.95%、英米文学科34.44%、健康科学科34.23%、日本文学科33.11%の10学科であった。8から10の合計が80%を超えている学科は、書道学科87.03%、国際文化学科84.98%、スポーツ科学科81.86%、日本語学科81.28%の4学科であり、概して満足度が高い。

部局では、10の割合は教職課程センター31.88%、国際交流センター58.18%を示し、全学の平均値（30.99%）を上回っている。8から10の合計は教職課程センター72.05%、国際交流センター98.18%であった。

学年別では4年生が10の割合が高く、これは例年同様の傾向である。ただし、1と2の数

値については注意が必要であろう。「1」の割合を学年別にみると、4年生は「1と2」が同じであるが、1、2、3年生は「2」より「1」のほうが高い。つまり、満足度が非常に低い層が一定数いることになる。さらに、「1と2」の分布割合の合計値をみると、学年が上がるに連れて低くなる傾向が伺える。これは学年ごとに総合満足度に対する認識の違いが存在するということが留意が必要である。

変動係数から総合満足を読み替えてみると、2025年度前期と同様にQ2とQ4を除けば、他の質問項目に比べて相対的に高い数値を示しており（つまり、バラツキが大きい）、良い傾向とは言えない。変動係数の変動幅 9.93%（=最大値：看護学科 24.22—最小値：書道学科 14.29）も、質問項目のなかでは最も大きい値を示した。これは総合満足度に対する学生認識が、学科間で大きな格差を生じていることを意味する。数値が最も低い学科は書道学科 14.29%、次いで国際文化学科 15.41%、中国文学科 17.39%、日本文学科 17.87%、英米文学科 18.15%、スポーツ科学科 18.19%、国際関係学科 18.38%、日本語学科 18.41%、政治学科 19.26%、健康科学科 19.29%、社会学科 19.82%であった。これ以外は 20%以上となった。看護学科は 24.22%で最も高く、書道学科との差が 9.93%であった。次いで高い値を示したのが、社会経済学科 23.21%、英語学科 22.07%、中国語学科 21.79%、現代経済学科 21.69%、経営学科 20.95%、法律学科 20.39%、教育学科 20.33%、歴史文化学科 20.05%の 8 学科であった。

Q 8 「総合満足」の学科/部局別（左） および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	1,196	8.538	1.526	17.874%
中国文学科	409	8.562	1.489	17.389%
英米文学科	723	8.505	1.544	18.150%
教育学科	1,145	8.293	1.686	20.326%
書道学科	401	8.948	1.279	14.294%
歴史文化学科	563	8.185	1.641	20.054%
社会経済学科	1,086	8.069	1.873	23.206%
現代経済学科	660	7.826	1.697	21.686%
中国語学科	542	8.218	1.791	21.793%
英語学科	1,645	8.304	1.833	22.068%
日本語学科	374	8.548	1.574	18.414%
法律学科	1,432	8.232	1.679	20.397%
政治学科	1,015	8.369	1.612	19.264%
国際関係学科	652	8.534	1.569	18.381%
国際文化学科	619	8.716	1.343	15.406%
経営学科	1,377	8.186	1.715	20.946%
スポーツ科学科	1,229	8.675	1.578	18.187%
健康科学科	1,046	8.402	1.621	19.290%
看護学科	643	8.012	1.941	24.222%
社会学科	2,149	8.074	1.601	19.824%
教職課程センター	458	8.293	1.754	21.150%
国際交流センター	55	9.327	0.875	9.381%
<b>全学</b>	<b>19,419</b>	<b>8.320</b>	<b>1.675</b>	<b>20.130%</b>

学年	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
1	9,731	8.176	1.760	21.526%
2	5,533	8.382	1.602	19.118%
3	3,457	8.567	1.526	17.812%
4	684	8.620	1.501	17.414%

Q 8 「総合満足」に対する学科/部局別回答分布

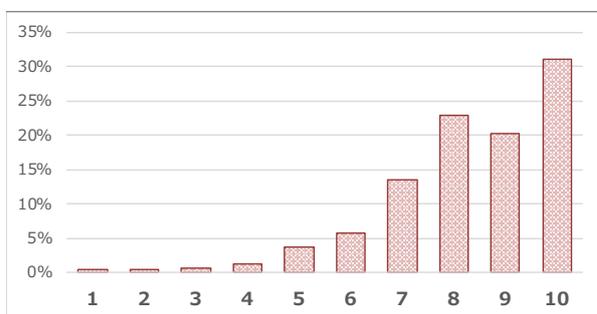
学科 / 部局	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
日本文学科	0.251%	0.418%	0.585%	0.753%	2.341%	4.348%	11.706%	21.321%	25.167%	33.110%
中国文学科	0.244%	0.000%	0.978%	0.733%	1.711%	3.667%	12.958%	23.961%	20.293%	35.452%
英米文学科	0.138%	0.138%	0.553%	1.107%	3.320%	4.703%	12.033%	21.577%	21.992%	34.440%
教育学科	0.699%	0.611%	0.699%	0.873%	3.319%	5.590%	14.323%	22.707%	22.096%	29.083%
書道学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.249%	1.746%	3.741%	7.232%	19.202%	19.950%	47.880%
歴史文化学科	0.710%	0.178%	0.355%	1.243%	4.263%	6.039%	15.808%	25.755%	19.361%	26.288%
社会経済学科	1.473%	0.645%	1.381%	1.105%	4.512%	5.985%	14.457%	24.125%	20.258%	26.059%
現代経済学科	0.303%	0.758%	0.909%	1.667%	5.455%	9.091%	20.909%	23.636%	18.636%	18.636%
中国語学科	1.107%	0.369%	0.369%	2.399%	3.690%	7.011%	10.886%	24.539%	20.111%	29.520%
英語学科	0.973%	0.790%	0.790%	1.398%	3.343%	6.505%	13.131%	20.365%	17.751%	34.954%
日本語学科	0.267%	0.535%	0.267%	0.802%	4.011%	4.011%	8.824%	23.797%	21.658%	35.829%
法律学科	0.628%	0.209%	0.349%	1.885%	4.469%	5.656%	14.176%	23.603%	21.020%	28.003%
政治学科	0.690%	0.296%	0.394%	0.985%	3.054%	5.025%	13.399%	24.335%	21.576%	30.246%
国際関係学科	0.153%	0.460%	0.307%	1.074%	3.067%	5.061%	10.890%	22.546%	19.632%	36.810%
国際文化学科	0.000%	0.000%	0.323%	0.969%	1.292%	4.523%	7.916%	23.263%	25.525%	36.187%
経営学科	0.654%	0.508%	0.508%	1.525%	4.067%	5.447%	17.284%	24.328%	16.122%	29.557%
スポーツ科学科	0.325%	0.000%	1.221%	0.488%	3.336%	3.173%	9.601%	20.098%	19.691%	42.067%
健康科学科	0.287%	0.000%	0.382%	0.669%	5.545%	6.597%	11.568%	21.033%	19.694%	34.226%
看護学科	1.089%	0.933%	1.244%	1.866%	5.599%	7.776%	14.619%	20.529%	17.574%	28.771%
社会学科	0.372%	0.372%	0.558%	1.489%	3.816%	7.259%	16.938%	26.850%	20.800%	21.545%
教職課程センター	0.655%	0.873%	0.655%	1.310%	2.620%	7.205%	14.629%	19.432%	20.742%	31.878%
国際交流センター	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	1.818%	21.818%	18.182%	58.182%
全学	0.561%	0.397%	0.639%	1.205%	3.661%	5.737%	13.528%	22.936%	20.346%	30.990%

Q 8 「総合満足」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	0.678%	0.483%	0.791%	1.562%	4.532%	6.680%	14.675%	22.649%	18.857%	29.093%
2	0.416%	0.361%	0.524%	0.904%	3.434%	5.314%	13.031%	23.423%	21.706%	30.887%
3	0.492%	0.202%	0.463%	0.781%	1.996%	4.050%	11.773%	23.084%	21.695%	35.464%
4	0.439%	0.439%	0.292%	0.585%	1.608%	4.386%	10.380%	22.368%	23.538%	35.965%

Q8 「総合満足」に対する全学の回答分布

( 1「10%」/ 2「20%」/ … / 9「90%」/ 10「100%」)



回答	回答者数	割合
1	109	0.561%
2	77	0.397%
3	124	0.639%
4	234	1.205%
5	711	3.661%
6	1,114	5.737%
7	2,627	13.528%
8	4,454	22.936%
9	3,951	20.346%
10	6,018	30.990%
合計	19,419	

4.4.1 【クロス表に関する結果 (全学)】

当該クロス表 (表1、表2) では、それぞれの行で最も高い数値を赤字で示している。また、右端の列 (4+5) に4「どちらかと言えばそう思う」と5「強くそう思う」の割合を加算した数字を記載している。尚、4と5の合計はローデータに基づいて計算しているため、表では100分の1の誤差が生じる場合がある。

この回答数を示した表1に注目すると、「教員熱意」が向上すればするほど、右側の数字が高くなっていることがみてとれる。右端の列の数字 (赤字:25→68→304→4646→11008) から、「教員熱意」が向上すればするほど、その数値が上がっていくことが顕著になる。

パーセントを示した表2からも、「教員熱意」と「学生意欲 (自分意欲)」とのクロスチェック数値 (30→47→647→4261→5956) が互いに上昇していることを確認できる。

この結果から、学生が「教員熱意」を感じるようになると、「学生意欲」を強く感じるようになっていくことがわかる。

表1

● クロス集計 (【学生意欲】×【教員熱意】) 【回答数】

	学生意欲					合計	4+5	
	1 まったくそう思わない	2 どちらかと言えばそう思わない	3 どちらとも言えない	4 どちらかと言えばそう思う	5 強くそう思う			
教員熱意	1 まったくそう思わない	30	11	11	5	20	77	25
	2 どちらかと言えばそう思わない	14	47	47	52	16	176	68
	3 どちらとも言えない	21	81	647	257	47	1,053	304
	4 どちらかと言えばそう思う	31	231	1,199	4,261	385	6,107	4,646
	5 強くそう思う	30	160	799	5,052	5,956	11,997	11,008
合計	126	530	2,703	9,627	6,424	19,410	16,051	

表 2

● クロス集計（【学生意欲】×【教員熱意】）【パーセント】

		学生意欲					合計	4+5
		1 まったくそう思わない	2 どちらかと言えばそう思わない	3 どちらとも言えない	4 どちらかと言えばそう思う	5 強くそう思う		
教員熱意	1 まったくそう思わない	38.96%	14.29%	14.29%	6.49%	25.97%	100.00%	32.47%
	2 どちらかと言えばそう思わない	7.95%	26.70%	26.70%	29.55%	9.09%	100.00%	38.64%
	3 どちらとも言えない	1.99%	7.69%	61.44%	24.41%	4.46%	100.00%	28.87%
	4 どちらかと言えばそう思う	0.51%	3.78%	19.63%	69.77%	6.30%	100.00%	76.08%
	5 強くそう思う	0.25%	1.33%	6.66%	42.11%	49.65%	100.00%	91.76%

## 4.5.1 【相関表に関する結果（全学）】

相関係数に関しては、+0.3 以上+0.6 未満 (-0.3~-0.6) で弱い正（負）の相関関係、+0.6 以上+1 未満 (-0.6~-1) で強い正（負）の相関関係があると解釈できる。当該相関係数表では、弱い正の相関関係を青字、強い正の相関関係を赤字でそれぞれ記す。分析の結果、「難易度が適切かどうか」に関わるもの以外の全ての変数（項目）に関して、正の相関関係がみられた。

まず、「総合満足度」は、特に「成長感覚」との間に強い正の相関関係 0.63 がみられる。正の相関関係の順に「教員熱意 0.55」「学生意欲 0.51」「FB 丁寧 0.45」「シラバス通り 0.48」となっている。これは、「総合満足度」の向上は、「成長感覚」すなわち成長実感を持てるかどうか、最も強く影響することを示している。

次に、「成長感覚」と「教員の熱意」との間に強い正の相関関係 0.60 がみられた。その後は弱い正の相関関係順に、「自分の意欲 0.57」「FB 丁寧 0.47」「シラバス通り 0.48」と続く。つまり、「成長感覚」の向上は、教員の熱意があるかどうか最も強く影響することを示している。

「難易度が適切か」に関してすべての項目間で相関関係がみられないのは、その変数の尺度内容に起因する。「総合満足度（最大 10 点）」以外の他の変数が 5 点を最大とする間隔尺度であるのに対し、「難易度適切」は 3 点を「適切である」とする質的尺度になっている。そのため、相関係数表に基づくと、「難易度適切」と他の変数との関連性は、単純に 2 つの変数が共に変動しているかどうかを測る相関分析で、統計的に判断することが困難である。

まとめると、「教員熱意」が学生の「成長感覚」を促し、「成長感覚」が「総合満足度」に大きく影響を与えていることが示された。

「総合満足」と「成長感覚」との「相関係数 0.63」、および「成長感覚」と「教員熱意」との「相関係数 0.60」は、2025 年度前期の相関関係（0.65、0.61）と同じく、強い正の相関関係を維持している。今後の授業改善において参考にすべき変化であろう。

●【全講義】相関係数表

		Q1b	Q2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8
		【シラバス通り】	【難易度適切】	【FB丁寧】	【学生意欲】	【教員熱意】	【成長感覚】	【総合満足】
Q1b	【シラバス通り】	1.000						
Q2	【難易度適切】	-0.057	1.000					
Q4	【FB丁寧】	0.439	-0.033	1.000				
Q5	【学生意欲】	0.418	-0.053	0.437	1.000			
Q6	【教員熱意】	0.482	-0.044	0.482	0.481	1.000		
Q7	【成長感覚】	0.484	-0.078	0.468	0.567	0.599	1.000	
Q8	【総合満足】	0.484	-0.176	0.447	0.506	0.550	0.630	1.000

まとめと結論（教員所属別）

2025年度後期の主な結果をまとめると、以下ようになる。

1. シラバス内容を知っている学生（Q1a）は全学80.39%であった。この数値は2025年度前期（79.93%）と比べてもやや増加している(0.46%)。シラバスは授業内容や方法、DPとの関連性が示され、学生にカリキュラムの順次性や体系性を周知する重要な媒体である。学生が自らの学修を振り返るためにもシラバスの確認を促す必要があるだろう。
2. シラバス内容を知っている学生は、授業はシラバス通り（Q1b）に実施されたと概ね認識している。（平均値：全学4.39）
3. 授業の難易度について（Q2）は「適切だった」が最も多く、次に「やや難しかった」が多かった。全体としては概ね適切な難易度設定がなされていると考えられる。

ただし、学年別回答分布の動向を2025年度前期と比較すると、留意すべき点がある。4年生（59.16%→54.96%）は低下しているが、1年生（43.05%→43.11%）、2年生（47.74%→54.25%）、3年生(49.60%→52.51%)は「3適切だった」が増加している。

学年別に授業の難易度をみる限り、1年生、2年生、3年生が「適切だった」を選ぶ層が増加し、「5難しい」と「2やや易しい」の割合に変化がみられた。「2」は増加しているが、「5」が減少する傾向にある。「易しい」と捉える学生の増加は、学生の学

力があがっているのか、教員が伝える工夫や努力をした結果なのか、明言できない。今後もこの傾向が続くのか注視する必要がある。

学年別の傾向は変動係数にも表れている。変動係数をみても概して高く、どの学科もバラツキが大きく、今後の授業改善に向けた検討や工夫が必要であろう。

4. 質問をしたことのある学生 (Q3) は、全学平均で17.74%であった。2025年度前期の17.16%よりやや増加している。
5. 質問に対する対応 (Q4) は、概ね「迅速である」と認識されていた (平均値：全学4.13)。この認識は、2025年度前期の平均値4.10からは僅かながら上昇している。全学・学科部局別回答分布の平均 (=4+5の合計) をみても、「迅速である」と認識している学生が、2025年度前期に比較すると僅かに増加(0.45%)している。

変動係数の数値が質問項目のなかでは最も高く、学科間の格差が大きいことが確認された。加えて、2025年度前期の学科部局別の変動係数の平均は23.22%であったのに対し、今回は23.18%と、前期とほぼ同じ水準であると言えるだろう。しかし、学科部局間の格差が大きく広がっている点は注意が必要であろう。
6. 学生は「熱意・意欲」 (Q5) をもって、授業に取り組んだと概ね認識していた (平均値：全学4.12)。この認識は、2025年度前期 (平均値：全学4.08) と比較すると、平均値が僅かながら上昇しており、良い傾向と言える。
7. 担当教員は熱意を持って授業を行っている (Q6) と学生は概ね認識していた (平均値：全学4.53)。2025年度前期 (平均値：全学4.49) とそれほど変わらない。変動係数の平均値をみても質問項目のなかで最も低いことも前期と変わらない。つまり、授業に対する教員の熱意は良い評価で安定していると言える。学生の教員に対する評価は概ね高い。
8. 授業を通じて知識の習得、思考の深化、技術の向上等の成長を感じたという認識 (Q7) は多くの学生が持っており、学科部局回答分布の最頻値(全学平均)が2025年度前期と同じく5である。全学的な平均値 (4.33) からも、学科部局回答分布からも (4+5の合計：89.39%。2025年度前期86.75%)、学生の「成長感覚」は前期より2.64%増加し高く示された。前期より後期の方が成長感覚を得ており、授業への満足度につながっている。
9. すべてを総合して授業に対して概ね満足だと認識した学生 (Q8：8~10を選んだ学生) は全学で74.27%となり、2025年度前期 (70.44%) から3.83%増加している。
10. 学生自身の「成長感覚」と学生からみた「教員熱意」には、強い正の相関関係 (0.60) が確認された。学生が「教員熱意」を感じようになると、学生の「成長感覚」が促されると言える。さらに、「成長感覚」と授業に対する「総合満足度」も強い相関関係 (0.63) が見られた。
11. 「総合満足度」に最も影響があるのは、相関係数表によると、全学は「成長感覚」であり、次いで「教員熱意」「学生意欲」「フィードバックが丁寧かどうか」「シラバス通りかどうか」という順であった。この結果は2025年度前期と同じものであった。

12.前述したように教員の熱意が高い評価で安定していることから、それに比例して成長感覚が高くなり、総合満足度も上がることがわかる。相関係数表には表われていないが、Q2の授業の難易度を適当であったと捉える割合が増えていることも、教員の熱意の表われと受け取ることもできる。

## 【全学共通科目（学生所属別）】

### 【全学共通科目(学生所属別)】

2023 年度後期から全学共通科目を対象に学生の所属学科ごとに、アンケート結果を集計し分析している。2024 年度前期からは学科別に「変動係数」を算出し、学科間の格差があるか否かの検証をしている。さらに 2025 年度前期からは、全学共通科目を人文系・社会系・自然系・保健体育系に分類し、学生の所属別に集計することで、各系の科目に対する授業認識の相違が生じるかどうかの分析を試みた。

全学共通科目全体の結果は次の通りである。今回は全学共通科目全体の数値と上記 4 分類の数値を比較するため、後期も前期同様、全学共通科目の結果は各質問項目に対する回答結果の概略だけを記述している。各分類の分析のなかで全学共通科目全体の動向についても触れていく。

2025 年度後期の全学共通科目の回答率は 34.28%を示し、前期 41.07%から 6.79%減少した。回答率が最も高かった学科は書道学科 54.22%（2025 年度前期：45.96%）であった。50%を超えた学科は、2025 年度前期は法律学科 58.54%、看護学科 54.87%、日本文学科 51.74%の 3 学科であったが、後期は書道学科のみとなった。全学科目の回答率と比べても、全学共通科目の回答率が僅かに低くなっている。

全学科目と同じく、2025 年度後期の回答率が同年度前期に比べて、減少した主な原因は、1 年生の授業に対する慣れと、それに伴う授業認識アンケートの回答への意識の低下が考えられる。アンケートに回答する学生のアクセス時間が授業時に集中していることは既にデータからも明らかになっている。授業時に各教員から学生に回答を促してほしい。

2025 年度前期に比べて、後期で回答率が上昇したのは 4 学科のみで、書道学科 54.22%、健康科学科 37.95%、国際文化学科 32.31%、国際関係学科 25.00%であった。しかし、国際文化学科と国際関係学科の回答率は平均値 34.28%を下回る値であった。平均値を超えている学科は、書道学科と健康科学科を含め、6 学科(日本文学科 49.81%、社会学科 44.66%、看護学科 44.55%、歴史文化学科 43.67%、法律学科 43.27%、中国文学科 34.78%)であった。その一方で、20%台にとどまった学科は 5 学科あり(中国語学科 29.89%、英語学科 29.38%、教育学科 28.07%、経営学科 25.36%、国際関係学科 25.00%)、学科間の差が大きかった。

【全学共通科目〈学生所属別〉】

学科別（左）および学年別（右）回答率

学科 / 部局	回答数	未回答数	合計	回答率
日本文学科	395	398	793	49.811%
中国文学科	32	60	92	34.783%
英米文学科	199	421	620	32.097%
教育学科	160	410	570	28.070%
書道学科	90	76	166	54.217%
歴史文化学科	131	169	300	43.667%
社会経済学科	272	594	866	31.409%
現代経済学科	241	478	719	33.519%
中国語学科	107	251	358	29.888%
英語学科	223	536	759	29.381%
日本語学科	82	165	247	33.198%
法律学科	299	392	691	43.271%
政治学科	204	394	598	34.114%
国際関係学科	84	252	336	25.000%
国際文化学科	84	176	260	32.308%
経営学科	405	1,192	1,597	25.360%
スポーツ科学科	164	372	536	30.597%
健康科学科	115	188	303	37.954%
看護学科	98	122	220	44.545%
社会学科	230	285	515	44.660%
<b>全学</b>	<b>3,615</b>	<b>6,931</b>	<b>10,546</b>	<b>34.278%</b>

学年	回答数	未回答数	合計	回答率
1	2,288	3,412	5,700	40.140%
2	1,112	2,620	3,732	29.796%
3	136	467	603	22.554%
4	75	427	502	14.940%

【Q1a】 あなたはこの授業のシラバス内容を知っていますか。 [シラバス既知]

「2 シラバス内容を知っている」の回答は 81.97% (2025 年度前期：81.20%) であった。最も高かったのは国際関係学科 94.05% であった(2025 年度前期：80.20%)。その他の学科で 90% を超えているのは、看護学科 91.84%、国際文化学科 91.67%、中国文学科 90.63%、の 3 学科であった。

【全学共通科目(学生所属別)】

Q 1a「シラバス既知」の学科別(左)および学年別(右)回答

(1「いいえ(あまりよく)知りません」/ 2「はい(おおよそ)知っています」)

学科 / 部局	1	2
日本文学科	15.869%	84.131%
中国文学科	9.375%	90.625%
英米文学科	15.075%	84.925%
教育学科	28.571%	71.429%
書道学科	14.130%	85.870%
歴史文化学科	17.557%	82.443%
社会経済学科	14.022%	85.978%
現代経済学科	12.397%	87.603%
中国語学科	12.963%	87.037%
英語学科	23.767%	76.233%
日本語学科	15.854%	84.146%
法律学科	27.090%	72.910%
政治学科	12.500%	87.500%
国際関係学科	5.952%	94.048%
国際文化学科	8.333%	91.667%
経営学科	18.182%	81.818%
スポーツ科学科	20.859%	79.141%
健康科学科	28.448%	71.552%
看護学科	8.163%	91.837%
社会学科	25.974%	74.026%
<b>全学</b>	<b>18.026%</b>	<b>81.974%</b>

学年	1	2
1	19.251%	80.749%
2	16.204%	83.796%
3	14.706%	85.294%
4	14.667%	85.333%

【Q1b】 この授業はシラバスの記述通りに行われたと思いますか。[シラバス通り]

この設問は Q1a で 2「はい(おおよそ)知っています」と回答した学生のみが回答した。

「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答割合の合計が最も大きい学科は中国文学科 100.00%であった(2025 年度前期:教育学科 100.00%)。4 と 5 の合計は 91.39%で、2025 年度前期(89.32%)よりも増加している。

変動係数をみると、後述する Q6(教員の熱意/意欲)以外の質問項目に比べて相対的に低い水準になってあり(平均値 15.93%)、学科間の格差は小さい。

【全学共通科目〈学生所属別〉】

Q 1b「シラバス通り」の学科別（左）および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	343	4.420	0.686	15.527%
中国文学科	30	4.567	0.496	10.851%
英米文学科	179	4.425	0.624	14.106%
教育学科	128	4.383	0.772	17.609%
書道学科	85	4.353	0.698	16.035%
歴史文化学科	116	4.379	0.715	16.328%
社会経済学科	245	4.400	0.696	15.826%
現代経済学科	220	4.377	0.673	15.378%
中国語学科	99	4.485	0.744	16.578%
英語学科	188	4.404	0.658	14.929%
日本語学科	70	4.571	0.575	12.578%
法律学科	255	4.302	0.801	18.627%
政治学科	188	4.415	0.643	14.556%
国際関係学科	82	4.378	0.727	16.594%
国際文化学科	77	4.519	0.657	14.534%
経営学科	359	4.323	0.755	17.459%
スポーツ科学科	137	4.467	0.695	15.550%
健康科学科	97	4.412	0.685	15.523%
看護学科	92	4.609	0.570	12.373%
社会学科	180	4.333	0.683	15.765%
<b>全学</b>	<b>3,170</b>	<b>4.400</b>	<b>0.701</b>	<b>15.927%</b>

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	1,990	4.389	0.717
2	986	4.404	0.674
3	122	4.492	0.680
4	68	4.485	0.630

【全学共通科目(学生所属別)】

Q 1b「シラバス通り」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.292%	1.166%	6.122%	41.108%	51.312%
中国文学科	0.000%	0.000%	0.000%	43.333%	56.667%
英米文学科	0.000%	0.559%	5.587%	44.693%	49.162%
教育学科	0.781%	0.781%	10.938%	34.375%	53.125%
書道学科	0.000%	1.176%	9.412%	42.353%	47.059%
歴史文化学科	0.862%	0.862%	6.034%	43.966%	48.276%
社会経済学科	1.224%	0.000%	4.898%	45.306%	48.571%
現代経済学科	0.000%	2.273%	4.091%	47.273%	46.364%
中国語学科	0.000%	3.030%	6.061%	30.303%	60.606%
英語学科	0.000%	1.596%	4.787%	45.213%	48.404%
日本語学科	0.000%	0.000%	4.286%	34.286%	61.429%
法律学科	0.392%	2.745%	10.980%	38.039%	47.843%
政治学科	0.532%	0.000%	5.319%	45.745%	48.404%
国際関係学科	1.220%	0.000%	7.317%	42.683%	48.780%
国際文化学科	0.000%	0.000%	9.091%	29.870%	61.039%
経営学科	0.000%	2.228%	10.864%	39.276%	47.632%
スポーツ科学科	0.000%	1.460%	7.299%	34.307%	56.934%
健康科学科	0.000%	1.031%	8.247%	39.175%	51.546%
看護学科	0.000%	0.000%	4.348%	30.435%	65.217%
社会学科	0.000%	1.667%	7.222%	47.222%	43.889%
<b>全学</b>	<b>0.284%</b>	<b>1.262%</b>	<b>7.066%</b>	<b>40.978%</b>	<b>50.410%</b>

【全学共通科目(学生所属別)】

Q 1b「シラバス通り」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.352%	1.508%	7.186%	40.804%	50.151%
2	0.101%	1.014%	6.998%	42.191%	49.696%
3	0.820%	0.000%	5.738%	36.066%	57.377%
4	0.000%	0.000%	7.353%	36.765%	55.882%

【Q2】 自分にとってこの授業の難易度は適切だったと思いますか。[難易度適切]

「Q2：授業難易度」の回答分布状況を見ると、「1 とても易しかった」1.57%（2025年度前期：1.86%）、「2 やや易しかった」2.54%（2025年度前期：3.53%）、「3 適切だった」51.12%（2025年度前期：48.74%）、「4 やや難しかった」35.02%（2025年度前期：35.15%）、「5 とても難しかった」9.76%（2025年度前期 10.90%）となっている。

「4と5」の分布割合の合計（平均）が44.78%、「1と2」の分布割合の合計（平均）が4.11%という結果から判断すると、全学共通科目に対して「やや難しい、あるいはとても難しい」と感じている学生が多く分布していると言える。

変動係数をみると、全学平均は22.02%であり、他の質問項目と比べても、後述するQ4(教員対応)以外は高い数値を示している。変動係数の大きさはバラツキの大きさを示すが、これは回答分布をみると「1とても易しかった」と「5とても難しかった」に2極化していることを示す（看護学科、スポーツ科学科、教育学科）。一方で、回答分布が「5と4」の割合が高く、「1と2」が極めて低い場合は、平均自体が高い。これは授業を理解できない層の多さを示す（中国文学科、中国語学科、日本語学科、国際関係学科、経営学科）。前期との変化が著しいのは書道学科であった。書道学科は後期になって「5と4」が13%以上増加し、「3」が減っている。後期になって授業を理解することが難しい学生が増えたことを示す。

難易度は学生の学力と深く関わることから、この数値は学科間の格差が大きく、注視する必要があるだろう。

### 【全学共通科目〈学生所属別〉】

Q2「難易度適切」の学科別（左）および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	397	3.458	0.752	21.747%
中国文学科	32	3.625	0.740	20.400%
英米文学科	199	3.482	0.715	20.527%
教育学科	161	3.571	0.883	24.714%
書道学科	92	3.478	0.773	22.220%
歴史文化学科	131	3.275	0.631	19.259%
社会経済学科	271	3.502	0.787	22.467%
現代経済学科	242	3.492	0.688	19.698%
中国語学科	108	3.685	0.766	20.774%
英語学科	223	3.556	0.737	20.719%
日本語学科	82	3.524	0.736	20.891%
法律学科	299	3.492	0.773	22.143%
政治学科	208	3.466	0.740	21.335%
国際関係学科	85	3.565	0.710	19.928%
国際文化学科	84	3.417	0.743	21.757%
経営学科	406	3.554	0.727	20.442%
スポーツ科学科	163	3.515	0.902	25.668%
健康科学科	116	3.397	0.797	23.477%
看護学科	97	3.278	0.992	30.264%
社会学科	231	3.420	0.757	22.126%
<b>全学</b>	<b>3,627</b>	<b>3.489</b>	<b>0.768</b>	<b>22.020%</b>

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	2,294	3.513	0.798
2	1,117	3.429	0.700
3	137	3.533	0.774
4	75	3.560	0.735

【全学共通科目(学生所属別)】

Q2「難易度適切」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	1.259%	2.519%	54.912%	31.738%	9.572%
中国文学科	0.000%	0.000%	53.125%	31.250%	15.625%
英米文学科	1.005%	1.005%	55.779%	33.166%	9.045%
教育学科	2.484%	4.348%	41.615%	36.646%	14.907%
書道学科	2.174%	3.261%	46.739%	40.217%	7.609%
歴史文化学科	0.763%	4.580%	64.122%	27.481%	3.053%
社会経済学科	1.845%	2.583%	49.446%	35.793%	10.332%
現代経済学科	0.413%	2.479%	52.066%	37.603%	7.438%
中国語学科	0.000%	0.000%	50.000%	31.481%	18.519%
英語学科	0.897%	1.794%	48.430%	38.565%	10.314%
日本語学科	0.000%	2.439%	54.878%	30.488%	12.195%
法律学科	1.338%	3.010%	51.171%	34.114%	10.368%
政治学科	1.442%	4.327%	46.635%	41.346%	6.250%
国際関係学科	0.000%	1.176%	52.941%	34.118%	11.765%
国際文化学科	2.381%	3.571%	48.810%	40.476%	4.762%
経営学科	0.493%	2.217%	49.015%	37.931%	10.345%
スポーツ科学科	4.294%	2.454%	43.558%	36.810%	12.883%
健康科学科	2.586%	2.586%	56.897%	28.448%	9.483%
看護学科	9.278%	2.062%	49.485%	29.897%	9.278%
社会学科	2.165%	2.165%	54.978%	32.900%	7.792%
<b>全学</b>	<b>1.572%</b>	<b>2.537%</b>	<b>51.117%</b>	<b>35.015%</b>	<b>9.760%</b>

【全学共通科目(学生所属別)】

Q2「難易度適切」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	2.005%	2.703%	47.908%	36.748%	10.636%
2	0.806%	2.417%	57.296%	32.050%	7.431%
3	1.460%	0.000%	55.474%	29.927%	13.139%
4	0.000%	2.667%	50.667%	34.667%	12.000%

【Q3】 あなたはこの授業で教員に授業に関連して質問をしたことがありますか。

[質問対応]

「2 質問したことがある」という回答率は 10.65%であった。「2」の回答率が他学科に比べて最も高いのは中国語学科 19.63%であった。

これに対して、「1 質問したことがない」という回答率の平均値は 89.35%である。全学共

通科目に対する学生の授業参加は必ずしも積極的であるとは言えない結果となった。

【全学共通科目(学生所属別)】

Q3「質問対応」の学科別(左)および学年別(右)回答

(1「いいえ、したことはありません」/ 2「はい、あります」)

学科 / 部局	1	2
日本文学科	92.802%	7.198%
中国文学科	84.375%	15.625%
英米文学科	92.424%	7.576%
教育学科	84.906%	15.094%
書道学科	84.783%	15.217%
歴史文化学科	89.231%	10.769%
社会経済学科	92.910%	7.090%
現代経済学科	90.496%	9.504%
中国語学科	80.374%	19.626%
英語学科	89.189%	10.811%
日本語学科	86.076%	13.924%
法律学科	92.683%	7.317%
政治学科	88.780%	11.220%
国際関係学科	90.588%	9.412%
国際文化学科	86.905%	13.095%
経営学科	88.861%	11.139%
スポーツ科学科	85.093%	14.907%
健康科学科	86.842%	13.158%
看護学科	87.755%	12.245%
社会学科	89.130%	10.870%
<b>全学</b>	<b>89.347%</b>	<b>10.653%</b>

学年	1	2
1	89.369%	10.631%
2	89.937%	10.063%
3	89.781%	10.219%
4	81.333%	18.667%

【Q4】質問に対する教員の対応は適当だったと思いますか。[フィードバック]

「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答分布割合の合計は 64.92%であったが、2025 年度前期(68.69%) に比べて低下した。そのなかで「4+5」の分布割合合計が最も高い学科は日本語学科 80.00%であった。フィードバック(教員対応)の全学平均値は 4.00 であった。

変動係数をみると、他の項目に比べて相対的に最も高い数値(24.41%)が確認された。なかでもスポーツ科学科が 29.10%という高い数値であった。

【全学共通科目〈学生所属別〉】

Q 4「フィードバック」の学科別（左）および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	97	4.010	1.000	24.934%
中国文学科	12	4.250	0.829	19.510%
英米文学科	83	3.855	0.920	23.865%
教育学科	60	4.333	0.850	19.612%
書道学科	42	3.619	0.950	26.250%
歴史文化学科	37	4.027	1.026	25.486%
社会経済学科	88	3.989	1.028	25.772%
現代経済学科	84	3.929	0.923	23.496%
中国語学科	38	4.132	0.978	23.670%
英語学科	89	4.124	0.897	21.757%
日本語学科	25	4.360	0.794	18.210%
法律学科	105	3.800	1.009	26.540%
政治学科	85	4.035	0.818	20.274%
国際関係学科	30	3.967	0.983	24.772%
国際文化学科	25	4.400	0.800	18.182%
経営学科	160	3.931	0.982	24.975%
スポーツ科学科	72	3.917	1.140	29.095%
健康科学科	53	3.962	0.990	24.981%
看護学科	48	4.188	1.093	26.095%
社会学科	64	4.016	0.910	22.658%
<b>全学</b>	1,297	3.998	0.976	24.409%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	854	3.972	0.990
2	373	4.024	0.942
3	42	4.167	1.022
4	26	4.192	0.878

【全学共通科目(学生所属別)】

Q4「フィードバック」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	3.093%	1.031%	27.835%	27.835%	40.206%
中国文学科	0.000%	0.000%	25.000%	25.000%	50.000%
英米文学科	0.000%	1.205%	46.988%	16.867%	34.940%
教育学科	0.000%	0.000%	25.000%	16.667%	58.333%
書道学科	2.381%	4.762%	42.857%	28.571%	21.429%
歴史文化学科	2.703%	0.000%	35.135%	16.216%	45.946%
社会経済学科	4.545%	0.000%	26.136%	30.682%	38.636%
現代経済学科	1.190%	1.190%	35.714%	27.381%	34.524%
中国語学科	0.000%	5.263%	26.316%	18.421%	50.000%
英語学科	0.000%	2.247%	28.090%	24.719%	44.944%
日本語学科	0.000%	0.000%	20.000%	24.000%	56.000%
法律学科	2.857%	1.905%	40.000%	22.857%	32.381%
政治学科	0.000%	0.000%	31.765%	32.941%	35.294%
国際関係学科	3.333%	0.000%	30.000%	30.000%	36.667%
国際文化学科	0.000%	0.000%	20.000%	20.000%	60.000%
経営学科	2.500%	0.625%	35.000%	25.000%	36.875%
スポーツ科学科	5.556%	2.778%	27.778%	22.222%	41.667%
健康科学科	1.887%	3.774%	28.302%	28.302%	37.736%
看護学科	4.167%	0.000%	27.083%	10.417%	58.333%
社会学科	1.563%	1.563%	26.563%	34.375%	35.938%
全学	2.005%	1.311%	31.766%	24.749%	40.170%

【全学共通科目(学生所属別)】

Q4「フィードバック」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	2.225%	1.639%	32.201%	24.590%	39.344%
2	1.340%	0.804%	32.708%	24.397%	40.751%
3	4.762%	0.000%	16.667%	30.952%	47.619%
4	0.000%	0.000%	30.769%	19.231%	50.000%

【Q5】あなたはこの授業に対して意欲／熱意を持って取り組んだと思いますか。[学生意欲]

「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答分布割合の合計が約 8 割 (81.87%) で、学生は概ね自身の熱意を評価している。「5 と 4」の合計が最も高かったのは健康科学科 89.66% で、9 割近い学生が自身の意欲を強く認識していると言える。学生の授業に対する意欲と熱意の平均値は 4.09 であった。

変動係数に基づいて判断しても学科間の格差は明らかである。変動係数が最も高いのは日本語学科 21.62%であった。変動係数の変動幅は 5.43%(=最大値 21.62% - 最小値 16.19%)となっている。全共科目に対する学生意欲・熱意のバラツキが見られるものの、学科間のバラツキ幅は 2025 年度前期(6.81%)に比べて、縮小している。とはいえ、「4 と 5」の回答分布割合が平均(81.87%)よりも低い学科が 9 学科(中国文学科、教育学科、書道学科、歴史文化学科、中国語学科、日本語学科、国際関係学科、経営学科、社会学科)、「1 と 2」の分布割合が平均(3.40%)より高い学科が 8 学科(教育学科、書道学科、社会経済学科、日本語学科、法律学科、国際関係学科、経営学科、スポーツ科学科)であった。この結果から、教育学科、書道学科、日本語学科、国際関係学科、経営学科は自分意欲の高い層の分布割合が低く、逆に意欲の低い層の分布割合が増えていることになる。

### 【全学共通科目〈学生所属別〉】

Q 5「自分意欲」の学科別（左）および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	395	4.099	0.768	18.744%
中国文学科	32	4.094	0.843	20.582%
英米文学科	199	4.101	0.737	17.965%
教育学科	161	4.050	0.840	20.742%
書道学科	92	4.043	0.859	21.235%
歴史文化学科	128	4.016	0.770	19.185%
社会経済学科	272	4.018	0.779	19.377%
現代経済学科	242	4.041	0.720	17.825%
中国語学科	108	4.074	0.766	18.807%
英語学科	222	4.140	0.785	18.954%
日本語学科	82	4.073	0.880	21.615%
法律学科	298	4.111	0.780	18.977%
政治学科	208	4.087	0.742	18.151%
国際関係学科	85	4.059	0.831	20.475%
国際文化学科	84	4.190	0.715	17.064%
経営学科	407	4.007	0.810	20.211%
スポーツ科学科	164	4.171	0.824	19.745%
健康科学科	116	4.293	0.695	16.189%
看護学科	98	4.337	0.769	17.722%
社会学科	230	4.035	0.727	18.030%
<b>全学</b>	<b>3,623</b>	<b>4.087</b>	<b>0.780</b>	<b>19.098%</b>

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	2,292	4.098	0.777
2	1,115	4.055	0.783
3	137	4.109	0.834
4	75	4.160	0.731

【全学共通科目(学生所属別)】

Q5「自分意欲」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.759%	2.532%	12.911%	53.671%	30.127%
中国文学科	0.000%	3.125%	21.875%	37.500%	37.500%
英米文学科	1.005%	1.005%	13.568%	55.779%	28.643%
教育学科	0.621%	3.727%	18.012%	45.342%	32.298%
書道学科	1.087%	4.348%	15.217%	47.826%	31.522%
歴史文化学科	0.000%	3.125%	19.531%	50.000%	27.344%
社会経済学科	1.103%	2.941%	13.971%	56.985%	25.000%
現代経済学科	0.413%	2.066%	15.289%	57.438%	24.793%
中国語学科	0.000%	2.778%	17.593%	49.074%	30.556%
英語学科	0.901%	2.252%	12.613%	50.450%	33.784%
日本語学科	1.220%	4.878%	13.415%	46.341%	34.146%
法律学科	0.000%	4.027%	13.423%	50.000%	32.550%
政治学科	0.481%	2.404%	13.462%	55.288%	28.365%
国際関係学科	1.176%	3.529%	14.118%	50.588%	30.588%
国際文化学科	0.000%	1.190%	14.286%	48.810%	35.714%
経営学科	0.246%	4.177%	18.428%	48.894%	28.256%
スポーツ科学科	0.610%	3.049%	14.024%	43.293%	39.024%
健康科学科	0.000%	1.724%	8.621%	48.276%	41.379%
看護学科	0.000%	2.041%	12.245%	35.714%	50.000%
社会学科	0.435%	2.174%	15.652%	56.957%	24.783%
<b>全学</b>	<b>0.524%</b>	<b>2.871%</b>	<b>14.739%</b>	<b>51.145%</b>	<b>30.720%</b>

【全学共通科目(学生所属別)】

Q5「自分意欲」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.393%	2.967%	14.529%	50.698%	31.414%
2	0.717%	2.601%	15.964%	51.928%	28.789%
3	1.460%	2.920%	12.409%	49.635%	33.577%
4	0.000%	4.000%	8.000%	56.000%	32.000%

【Q6】 教員は熱意を持ってこの授業を行ったと思いますか。[教員熱意]

「Q6 教員意欲/熱意」の回答結果は、「4 どちらかと言えばそう思う」と「5 強くそう思う」の割合合計が 93.31%であった。全学共通科目を担当する教員の意欲や熱意を高く評価している。「4 と 5」の回答分布割合の合計が、国際関係学科(88.24%)以外の学科は 90.00%以上の高い比率を示しており、中国文学科は 96.88%であった。

「1 まったくそう思わない」と「2 どちらかと言えばそう思わない」の分布割合の合計は、国際関係学科 2.35%であったが、国際関係学科以外は 2.00%未満であった。ここから教員の授業における熱意や意欲を高く認識していると言える。

変動係数をみると平均が 14.41%で、授業認識に対する質問項目のなかで最も低い数値であった。教員熱意に関して学科間の格差は生じているものの、大きな値ではなく、良い傾向と言えるだろう。ただし、国際関係学科の変動係数は 19.14%で、他学科に比べて相対的に高い数値を示している。

### 【全学共通科目〈学生所属別〉】

Q 6「教員熱意」の学科別（左）および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	396	4.606	0.649	14.080%
中国文学科	32	4.719	0.514	10.902%
英米文学科	199	4.608	0.582	12.632%
教育学科	161	4.615	0.611	13.242%
書道学科	92	4.478	0.699	15.610%
歴史文化学科	131	4.496	0.610	13.567%
社会経済学科	272	4.518	0.658	14.572%
現代経済学科	242	4.533	0.624	13.766%
中国語学科	108	4.602	0.560	12.171%
英語学科	223	4.583	0.636	13.878%
日本語学科	82	4.634	0.595	12.838%
法律学科	299	4.492	0.681	15.165%
政治学科	208	4.442	0.663	14.915%
国際関係学科	85	4.412	0.844	19.137%
国際文化学科	84	4.619	0.653	14.135%
経営学科	407	4.472	0.710	15.887%
スポーツ科学科	164	4.591	0.679	14.790%
健康科学科	116	4.569	0.605	13.240%
看護学科	98	4.653	0.591	12.697%
社会学科	231	4.485	0.637	14.201%
<b>全学</b>	<b>3,630</b>	<b>4.542</b>	<b>0.655</b>	<b>14.412%</b>

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	2,297	4.547	0.639
2	1,117	4.517	0.696
3	137	4.620	0.606
4	75	4.573	0.546

【全学共通科目(学生所属別)】

Q6「教員熱意」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.253%	1.010%	4.545%	26.263%	67.929%
中国文学科	0.000%	0.000%	3.125%	21.875%	75.000%
英米文学科	0.000%	0.503%	3.518%	30.653%	65.327%
教育学科	0.000%	0.000%	6.832%	24.845%	68.323%
書道学科	1.087%	0.000%	5.435%	36.957%	56.522%
歴史文化学科	0.000%	0.000%	6.107%	38.168%	55.725%
社会経済学科	0.368%	0.000%	6.985%	32.721%	59.926%
現代経済学科	0.000%	1.240%	3.306%	36.364%	59.091%
中国語学科	0.000%	0.000%	3.704%	32.407%	63.889%
英語学科	0.000%	1.345%	4.036%	29.596%	65.022%
日本語学科	0.000%	0.000%	6.098%	24.390%	69.512%
法律学科	0.000%	1.338%	6.689%	33.445%	58.528%
政治学科	0.000%	0.962%	6.731%	39.423%	52.885%
国際関係学科	2.353%	0.000%	9.412%	30.588%	57.647%
国際文化学科	0.000%	0.000%	9.524%	19.048%	71.429%
経営学科	0.246%	1.229%	7.617%	32.924%	57.985%
スポーツ科学科	0.000%	1.829%	5.488%	24.390%	68.293%
健康科学科	0.000%	0.000%	6.034%	31.034%	62.931%
看護学科	0.000%	0.000%	6.122%	22.449%	71.429%
社会学科	0.000%	0.866%	5.195%	38.528%	55.411%
<b>全学</b>	<b>0.165%</b>	<b>0.744%</b>	<b>5.785%</b>	<b>31.377%</b>	<b>61.928%</b>

【全学共通科目(学生所属別)】

Q6「教員熱意」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.087%	0.740%	5.311%	32.085%	61.776%
2	0.269%	0.895%	7.431%	29.633%	61.773%
3	0.730%	0.000%	2.190%	30.657%	66.423%
4	0.000%	0.000%	2.667%	37.333%	60.000%

【Q7】 この授業を通じて「知識が増えた」あるいは「ものごとの捉えかたが深くなった」あるいは「技能が向上した」などの成長があったと思いますか。[成長感覚]

「Q7 成長感覚」の回答結果は、「4 どちらかと言えばそう思う」と「5 強くそう思う」の合計は 89.17%を示し、2025 年度前期の 85.23%から 3.94%上昇している。約 90%の割合を示しているので、全学共通科目を通じての学びを概ね高く評価していると言える。

英米文学科は、成長感覚に対する 4 と 5 の合計の割合が 2025 年度前期の 85.00%から 8.47%増加して 93.47%となり、大半の学生が授業を通じて成長を実感しているという結果となった。

変動係数の平均は 16.87%であった。平均値を超えたのは社会経済学科 20.29%、国際関係学科 19.51%、書道学科 18.39%、英語学科 18.12%、教育学科 17.78%、歴史文化学科 17.73%、中国語学科 17.49%、スポーツ科学科 17.46%の 8 学科でバラツキがみられるだけでなく、「4 と 5」の分布割合の合計が平均(89.17%)より低く、「1 と 2」の分布割合の合計が平均(1.74%)より高い結果となった。その 8 学科以外は比較的バラツキが少ない結果となった。

### 【全学共通科目〈学生所属別〉】

Q 7「成長感覚」の学科別（左）および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	396	4.384	0.721	16.439%
中国文学科	32	4.500	0.661	14.699%
英米文学科	199	4.317	0.661	15.323%
教育学科	161	4.317	0.768	17.780%
書道学科	92	4.207	0.774	18.394%
歴史文化学科	131	4.244	0.753	17.730%
社会経済学科	272	4.235	0.860	20.294%
現代経済学科	241	4.328	0.654	15.113%
中国語学科	108	4.343	0.760	17.493%
英語学科	223	4.260	0.772	18.122%
日本語学科	82	4.378	0.692	15.809%
法律学科	299	4.314	0.705	16.332%
政治学科	207	4.343	0.632	14.549%
国際関係学科	85	4.294	0.838	19.508%
国際文化学科	84	4.381	0.706	16.104%
経営学科	407	4.322	0.706	16.334%
スポーツ科学科	164	4.299	0.750	17.457%
健康科学科	116	4.388	0.692	15.770%
看護学科	98	4.449	0.702	15.771%
社会学科	231	4.208	0.684	16.252%
<b>全学</b>	<b>3,628</b>	<b>4.314</b>	<b>0.728</b>	<b>16.871%</b>

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	2,296	4.301	0.737
2	1,116	4.319	0.724
3	137	4.431	0.671
4	75	4.453	0.573

【全学共通科目(学生所属別)】

Q7「成長感覚」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.758%	1.010%	6.566%	42.424%	49.242%
中国文学科	0.000%	0.000%	9.375%	31.250%	59.375%
英米文学科	0.503%	1.005%	5.025%	53.266%	40.201%
教育学科	0.000%	2.484%	11.180%	38.509%	47.826%
書道学科	2.174%	0.000%	8.696%	53.261%	35.870%
歴史文化学科	0.000%	2.290%	12.214%	44.275%	41.221%
社会経済学科	2.206%	1.838%	9.191%	43.750%	43.015%
現代経済学科	0.000%	0.830%	7.884%	48.963%	42.324%
中国語学科	0.926%	0.926%	9.259%	40.741%	48.148%
英語学科	0.448%	2.242%	10.762%	43.946%	42.601%
日本語学科	0.000%	2.439%	4.878%	45.122%	47.561%
法律学科	0.000%	0.669%	12.040%	42.475%	44.816%
政治学科	0.000%	0.483%	7.246%	49.758%	42.512%
国際関係学科	1.176%	2.353%	10.588%	37.647%	48.235%
国際文化学科	0.000%	0.000%	13.095%	35.714%	51.190%
経営学科	0.000%	1.720%	8.845%	44.963%	44.472%
スポーツ科学科	0.000%	1.829%	12.195%	40.244%	45.732%
健康科学科	0.000%	0.862%	9.483%	39.655%	50.000%
看護学科	0.000%	1.020%	9.184%	33.673%	56.122%
社会学科	0.866%	0.433%	8.658%	57.143%	32.900%
<b>全学</b>	<b>0.469%</b>	<b>1.268%</b>	<b>9.096%</b>	<b>44.680%</b>	<b>44.487%</b>

【全学共通科目(学生所属別)】

Q7「成長感覚」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.479%	1.437%	9.451%	44.817%	43.815%
2	0.448%	1.165%	9.140%	44.534%	44.713%
3	0.730%	0.000%	5.839%	42.336%	51.095%
4	0.000%	0.000%	4.000%	46.667%	49.333%

【Q8】すべてを総合して、この授業に対してどの程度満足しましたか。「10」を「100%満足」、「1」を「10%満足」として10段階で最も近いと思われるものを選んで下さい。[総合満足]

「Q8 総合満足」は、満足度の高い10から8までの割合を合計すると74.08%となり、2025年度前期の70.52%と比べると、3.56%増加している。増加したとはいえ、2024年度

後期の 75.64% に比べ 1.56% 減少していることから、この増加傾向が続くのか、今後も注視する必要があるだろう。

各学科の「8～10」の回答分布割合は 66.67%（書道学科）から 93.75%（中国文学科）の間に分布している。そのなかで全学平均の 74.08% を下回るのは、歴史文化学科 71.76%、英語学科 72.20%、経営学科 72.84%、社会経済学科 70.96%、法律学科 70.21%、書道学科 66.67%、国際関係学科 67.86%、社会学科 68.70% の 8 学科であった。回答分布の割合を「7～10」に広げると、全学平均は 89.16% となり全体としてはまずまずの結果となる。

変動係数を用いると、全共科目における総合満足度に対する授業認識は、学科間に格差が生じていることが確認できる（平均値 18.78%）。特に、最も低い数値の中国文学科 10.62% と最も高い数値の書道学科 23.07% では 12.45% という大幅な格差が生じている。

### 【全学共通科目〈学生所属別〉】

Q8「総合満足」の学科別（左）および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	395	8.451	1.503	17.780%
中国文学科	32	8.844	0.939	10.618%
英米文学科	199	8.392	1.336	15.925%
教育学科	160	8.419	1.567	18.615%
書道学科	90	8.089	1.866	23.065%
歴史文化学科	131	8.336	1.521	18.251%
社会経済学科	272	8.224	1.545	18.787%
現代経済学科	241	8.216	1.495	18.199%
中国語学科	107	8.495	1.715	20.189%
英語学科	223	8.363	1.609	19.243%
日本語学科	82	8.476	1.563	18.447%
法律学科	299	8.237	1.626	19.734%
政治学科	204	8.363	1.497	17.901%
国際関係学科	84	8.131	1.682	20.683%
国際文化学科	84	8.714	1.385	15.894%
経営学科	405	8.299	1.570	18.924%
スポーツ科学科	164	8.354	1.738	20.807%
健康科学科	115	8.557	1.556	18.183%
看護学科	98	8.786	1.831	20.839%
社会学科	230	8.135	1.449	17.811%
<b>全学</b>	3,615	8.347	1.567	18.778%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	2,288	8.348	1.582
2	1,112	8.330	1.559
3	136	8.449	1.479
4	75	8.373	1.421

【全学共通科目〈学生所属別〉】

Q8「総合満足」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
日本文学科	0.253%	0.000%	0.506%	0.759%	3.544%	3.544%	14.937%	22.785%	22.278%	31.392%
中国文学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	6.250%	34.375%	28.125%	31.250%
英米文学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.503%	2.010%	4.523%	18.593%	27.638%	18.593%	28.141%
教育学科	0.000%	0.000%	1.250%	1.875%	1.875%	5.625%	12.500%	24.375%	20.000%	32.500%
書道学科	2.222%	0.000%	0.000%	0.000%	5.556%	7.778%	17.778%	25.556%	7.778%	33.333%
歴史文化学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	7.634%	3.817%	16.794%	21.374%	19.847%	30.534%
社会経済学科	0.000%	0.000%	0.368%	1.103%	5.515%	5.882%	16.176%	25.000%	18.750%	27.206%
現代経済学科	0.415%	0.415%	0.000%	0.830%	3.320%	5.809%	14.523%	31.120%	20.747%	22.822%
中国語学科	0.000%	0.935%	0.935%	1.869%	2.804%	5.607%	10.280%	18.692%	20.561%	38.318%
英語学科	0.000%	0.000%	0.897%	0.897%	4.036%	7.623%	14.350%	20.179%	17.937%	34.081%
日本語学科	0.000%	0.000%	0.000%	2.439%	2.439%	8.537%	8.537%	24.390%	17.073%	36.585%
法律学科	0.000%	0.334%	1.003%	1.003%	4.013%	7.358%	16.054%	21.405%	20.067%	28.763%
政治学科	0.490%	0.000%	0.490%	0.980%	1.471%	4.902%	15.686%	30.392%	15.196%	30.392%
国際関係学科	1.190%	1.190%	0.000%	0.000%	1.190%	8.333%	20.238%	23.810%	19.048%	25.000%
国際文化学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	1.190%	8.333%	14.286%	9.524%	27.381%	39.286%
経営学科	0.000%	0.494%	0.247%	0.741%	4.198%	6.914%	14.568%	25.679%	16.296%	30.864%
スポーツ科学科	0.610%	0.000%	1.829%	1.829%	3.049%	2.439%	14.634%	27.439%	11.585%	36.585%
健康科学科	0.870%	0.000%	0.000%	0.870%	3.478%	3.478%	9.565%	24.348%	22.609%	34.783%
看護学科	2.041%	1.020%	0.000%	1.020%	1.020%	3.061%	7.143%	13.265%	23.469%	47.959%
社会学科	0.000%	0.000%	0.435%	2.174%	2.609%	4.348%	21.739%	26.522%	21.739%	20.435%
全学	0.277%	0.194%	0.470%	0.996%	3.402%	5.505%	15.076%	24.315%	19.087%	30.678%

【全学共通科目〈学生所属別〉】

Q8「総合満足」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	0.262%	0.175%	0.524%	1.136%	3.846%	4.808%	14.991%	24.257%	19.012%	30.988%
2	0.270%	0.270%	0.270%	0.899%	3.058%	6.835%	15.198%	23.921%	19.065%	30.216%
3	0.735%	0.000%	0.735%	0.000%	0.735%	4.412%	16.912%	25.735%	19.853%	30.882%
4	0.000%	0.000%	1.333%	0.000%	0.000%	9.333%	13.333%	28.000%	20.000%	28.000%

【クロス表に関する結果(全学共通科目：学生所属別)】

全学共通科目を履修している学生の授業認識に対する「教員熱意と学生意欲」とのクロス表(表1：回答数、表2：パーセント)では、それぞれの行でもっとも高い数値を赤字で示している。右端の列(4+5)に、4「どちらかと言えばそう思う」と5「強くそう思う」の割合を加算した数字を記載している。尚、4と5の合計はローデータに基づいて計算しているため、表では100分の1の誤差が生じる場合がある。

この回答数を示した表1に注目すると、教員熱意が向上すればするほど、右側の数字が高くなっていることがみてとれる。まず、右端の列の数字(1→5→56→866→2037)から、教員熱意が向上すればするほど、その数値の上昇が顕著になる。

教員熱意と学生意欲とのクロスチェック数値(3→10→136→792→1025)も互いに上昇していることを確認できる。この結果から、学生が教員熱意を感じるようになると、自分意欲を強く感じるようになっていくことがわかる。

表 1

●【全学共通科目(学生所属別)】クロス集計 (【学生意欲】×【教員熱意】) [回答数]

	学生意欲					合計	4+5
	1 まったくそう思わない	2 どちらかと言えばそう思わない	3 どちらとも言えない	4 どちらかと言えばそう思う	5 強く思う		
教員熱意							
1 まったくそう思わない	3	1	1	0	1	6	1
2 どちらかと言えばそう思わない	1	10	11	4	1	27	5
3 どちらとも言えない	3	15	136	45	11	210	56
4 どちらかと言えばそう思う	4	44	224	792	74	1,138	866
5 強く思う	8	34	162	1,012	1,025	2,241	2,037
合計	19	104	534	1,853	1,112	3,622	2,965

表 2

●【全学共通科目(学生所属別)】クロス集計 (【学生意欲】×【教員熱意】) [パーセント]

	学生意欲					合計	4+5
	1 まったくそう思わない	2 どちらかと言えばそう思わない	3 どちらとも言えない	4 どちらかと言えばそう思う	5 強く思う		
教員熱意							
1 まったくそう思わない	50.000%	16.667%	16.667%	0.000%	16.667%	100.000%	16.667%
2 どちらかと言えばそう思わない	3.704%	37.037%	40.741%	14.815%	3.704%	100.000%	18.519%
3 どちらとも言えない	1.429%	7.143%	64.762%	21.429%	5.238%	100.000%	26.667%
4 どちらかと言えばそう思う	0.351%	3.866%	19.684%	69.596%	6.503%	100.000%	76.098%
5 強く思う	0.357%	1.517%	7.229%	45.158%	45.739%	100.000%	90.897%

### 【相関係数表に関する結果(全学共通科目：学生所属別)】

相関係数に関しては、+0.3 以上+0.6 未満(-0.3~-0.6)で弱い正(負)の相関関係、+0.6 以上+1 未満(-0.6~-1)で強い正(負)の相関関係があると解釈できる。当該相関係数表では、弱い正の相関関係を青字、強い正の相関関係を赤字でそれぞれ記す。分析の結果、「難易度が適切かどうか」に関わるもの以外の変数(項目)に関して、正の相関関係がみられた。

まず、全学共通科目に対する学生の「総合満足度」は、特に「成長感覚」との間に弱い正の相関関係 0.57 がみとれ、正の相関関係の順に「学生意欲 0.52」「教員熱意 0.50」「シラバス通り 0.43」「FB 丁寧 0.38」となっている。逆に言えば、「成長感覚」を促せなければ「総合満足度」の向上もないということになる。

次に、「成長感覚」との相関関係を順に見ていくと、「教員熱意」との間に弱い正の相関関係 0.57 がみられた。正の相関関係順に、「学生意欲 0.56」「シラバス通り 0.44」「FB 丁寧 0.41」と続く。つまり、教員の熱意を学生が受け止めることで「成長感覚」の向上につながることを示している。

「難易度が適切かどうか」に関しては、相関係数表に基づくと、すべての項目間で相関関係がみられない。

まとめると、「教員熱意」が学生の「成長感覚」を促し、「成長感覚」が「総合満足度」に影響を与えている。ただし、相関関係は強いとはいえ、弱い関係であることが示された。全

学共通科目の「成長感覚」に対する学生の認識は、前期は強い相関関係がみられたが、後期は相関関係が低下している結果となった。

●【全学共通科目〈学生所属別〉】相関係数表

		Q1b	Q2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8
		【シラパス通り】	【難易度適切】	【FB丁寧】	【学生意欲】	【教員熱意】	【成長感覚】	【総合満足】
Q1b	【シラパス通り】	1.000						
Q2	【難易度適切】	-0.050	1.000					
Q4	【FB丁寧】	0.387	0.055	1.000				
Q5	【学生意欲】	0.392	-0.093	0.406	1.000			
Q6	【教員熱意】	0.430	-0.014	0.416	0.467	1.000		
Q7	【成長感覚】	0.436	-0.055	0.409	0.558	0.568	1.000	
Q8	【総合満足】	0.428	-0.164	0.380	0.520	0.502	0.574	1.000

### 【全学共通科目（人文系）（学生所属別）】

人文系科目の回答率は 38.09%と、全学共通科目（以下、全共科目と表記）全体 34.28%よりも高い数値であったが、2025 年度前期(44.26%)と比較すると減少した。回答率の高かった学科は社会学科で、52.08%であった。他に 50%を超えた学科は日本文学科 51.98%、書道学科 51.22%、法律学科 50.62%であった。

#### 【全学共通科目（人文系）〈学生所属別〉】

学科別（左）および学年別（右）回答率

学科 / 部局	回答数	未回答数	合計	回答率
日本文学科	171	158	329	51.976%
中国文学科	6	20	26	23.077%
英米文学科	92	132	224	41.071%
教育学科	27	119	146	18.493%
書道学科	21	20	41	51.220%
歴史文化学科	46	62	108	42.593%
社会経済学科	93	187	280	33.214%
現代経済学科	72	133	205	35.122%
中国語学科	38	57	95	40.000%
英語学科	108	203	311	34.727%
日本語学科	38	60	98	38.776%
法律学科	122	119	241	50.622%
政治学科	77	118	195	39.487%
国際関係学科	39	73	112	34.821%
国際文化学科	40	60	100	40.000%
経営学科	154	343	497	30.986%
スポーツ科学科	55	109	164	33.537%
健康科学科	12	39	51	23.529%
看護学科	17	19	36	47.222%
社会学科	50	46	96	52.083%
<b>全学</b>	<b>1,278</b>	<b>2,077</b>	<b>3,355</b>	<b>38.092%</b>

学年	回答数	未回答数	合計	回答率
1	769	1,020	1,789	42.985%
2	425	746	1,171	36.294%
3	53	144	197	26.904%
4	30	167	197	15.228%

#### Q1a あなたはこの授業のシラバス内容を知っていますか。【シラバス既知】

人文系科目のシラバス既知率は 86.56%と、全共科目の全体 81.97%よりも高い数値であり、4つの履修科目系の中で最も高い既知率を示している。なかでも、看護学科の既知率は 100.00%であった。

【全学共通科目（人文系）〈学生所属別〉】

Q 1a「シラバス既知」の学科別（左）および学年別（右）回答

（1「いいえ（あまりよく）知りません」/ 2「はい（おおよそ）知っています」）

学科 / 部局	1	2
日本文学科	17.442%	82.558%
中国文学科	16.667%	83.333%
英米文学科	7.609%	92.391%
教育学科	25.926%	74.074%
書道学科	9.091%	90.909%
歴史文化学科	13.043%	86.957%
社会経済学科	14.130%	85.870%
現代経済学科	2.778%	97.222%
中国語学科	5.263%	94.737%
英語学科	20.370%	79.630%
日本語学科	15.789%	84.211%
法律学科	16.393%	83.607%
政治学科	13.924%	86.076%
国際関係学科	7.895%	92.105%
国際文化学科	7.500%	92.500%
経営学科	12.987%	87.013%
スポーツ科学科	11.111%	88.889%
健康科学科	16.667%	83.333%
看護学科	0.000%	100.000%
社会学科	17.647%	82.353%
<b>全学</b>	<b>13.438%</b>	<b>86.563%</b>

学年	1	2
1	13.359%	86.641%
2	13.850%	86.150%
3	11.538%	88.462%
4	13.333%	86.667%

Q1b この授業はシラバスの記述通りに行われたと思いますか。【シラバス通り】

「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答割合の平均合計が9割を超えており(92.07%)、シラバス記述通りの平均値も 4.40 となっている。ただし、中国文学科の分布をみると「1」から「4」までは 0.00%、「5」で 100.00%を示している。

変動係数は「Q6」を除くと、他の質問項目に比べて学科間の格差も大きくない(平均：15.94%)。

【全学共通科目（人文系）〈学生所属別〉】

Q 1b「シラバス通り」の学科別（左）および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	148	4.405	0.715	16.232%
中国文学科	5	5.000	0.000	0.000%
英米文学科	86	4.512	0.544	12.067%
教育学科	21	4.571	0.495	10.825%
書道学科	22	4.318	0.700	16.205%
歴史文化学科	43	4.372	0.611	13.972%
社会経済学科	84	4.369	0.799	18.276%
現代経済学科	71	4.437	0.666	15.005%
中国語学科	36	4.444	0.598	13.463%
英語学科	92	4.424	0.594	13.428%
日本語学科	32	4.594	0.551	11.997%
法律学科	113	4.327	0.814	18.812%
政治学科	71	4.324	0.687	15.898%
国際関係学科	37	4.324	0.807	18.666%
国際文化学科	37	4.568	0.638	13.978%
経営学科	143	4.287	0.772	18.011%
スポーツ科学科	49	4.490	0.610	13.591%
健康科学科	10	4.400	0.663	15.076%
看護学科	16	4.313	0.583	13.518%
社会学科	44	4.250	0.742	17.468%
<b>全学</b>	1,160	4.395	0.700	15.939%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	701	4.395	0.702
2	381	4.373	0.693
3	49	4.510	0.759
4	28	4.464	0.626

【全学共通科目（人文系）〈学生所属別〉】

Q 1b「シラバス通り」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.676%	1.351%	5.405%	41.892%	50.676%
中国文学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	100.000%
英米文学科	0.000%	0.000%	2.326%	44.186%	53.488%
教育学科	0.000%	0.000%	0.000%	42.857%	57.143%
書道学科	0.000%	0.000%	13.636%	40.909%	45.455%
歴史文化学科	0.000%	0.000%	6.977%	48.837%	44.186%
社会経済学科	2.381%	0.000%	5.952%	41.667%	50.000%
現代経済学科	0.000%	1.408%	5.634%	40.845%	52.113%
中国語学科	0.000%	0.000%	5.556%	44.444%	50.000%
英語学科	0.000%	0.000%	5.435%	46.739%	47.826%
日本語学科	0.000%	0.000%	3.125%	34.375%	62.500%
法律学科	0.885%	3.540%	6.195%	40.708%	48.673%
政治学科	1.408%	0.000%	4.225%	53.521%	40.845%
国際関係学科	2.703%	0.000%	5.405%	45.946%	45.946%
国際文化学科	0.000%	0.000%	8.108%	27.027%	64.865%
経営学科	0.000%	2.797%	11.189%	40.559%	45.455%
スポーツ科学科	0.000%	0.000%	6.122%	38.776%	55.102%
健康科学科	0.000%	0.000%	10.000%	40.000%	50.000%
看護学科	0.000%	0.000%	6.250%	56.250%	37.500%
社会学科	0.000%	2.273%	11.364%	45.455%	40.909%
<b>全学</b>	<b>0.517%</b>	<b>1.034%</b>	<b>6.379%</b>	<b>42.586%</b>	<b>49.483%</b>

【全学共通科目（人文系）〈学生所属別〉】

Q 1b「シラバス通り」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.571%	0.999%	6.277%	42.653%	49.501%
2	0.262%	1.312%	6.824%	44.094%	47.507%
3	2.041%	0.000%	4.082%	32.653%	61.224%
4	0.000%	0.000%	7.143%	39.286%	53.571%

Q2 自分にとってこの授業の難易度は適切だったと思いますか。【難易度適切】

「5 とても難しかった」と「4 やや難しかった」の回答割合の合計は 44.38%であった。最小 23.91%(歴史文化学科)から最大 66.67%(中国文学科・教育学科)の間に分布している。「1 とても易しかった」と「2 やや易しかった」の回答割合の合計は 2.42%、最小 0.00%(中国文学科・英米文学科・中国語学科・日本語学科・健康科学科・看護学科の 6 学科)から最大 5.06%(政

治学科)の間に分布している。

全共科目全体の回答分布と比較すると、「3適切であった」が多いとはいえ、学科間の相違が顕著となった。授業を難しいと認識する層「4と5」の回答分布割合の合計を全学共通科目の全体と比較してみると、大幅に増えているのは、中国文学科(全共全体 46.88%→人文系 66.67%)、教育学科(51.55%→66.67%)、日本語学科(42.68%→50.00%)、健康科学科(37.93%→50.00%)、看護学科(39.18%→64.71%)の5学科であった。それと共に、「3」が大幅に減少しているのは中国文学科(全共全体 53.13%→33.33%)、教育学科(41.62%→29.63%)、看護学科(49.49%→35.29%)であった。このように、他学科と異なる結果から言えるのは学生の所属学科にかかわらず、人文系科目の授業内容を難しいと認識している学生が多いことが確認できる。

変動係数の平均値(20.34%)を下回っている(バラツキが小さい)のは13学科であった(英米文学科・教育学科・歴史文化学科・現代経済学科・中国語学科・英語学科・日本語学科・国際関係学科・国際文化学科・経営学科・健康科学科・看護学科・社会学科)。この結果を、学科別回答分布を重ねると、13学科中の5学科(英米文学科・中国語学科・日本語学科・健康科学科・看護学科)と中国文学科が「1」と「2」の分布割合が0.00%となっている。つまり、これらの学科は人文系科目の授業に対して難しいという認識に偏っていることがわかる。変動係数が平均(20.34%)より低く、バラツキが小さくても、留意が必要である。授業が難しいという認識に偏っていることがわかる。

【全学共通科目（人文系）〈学生所属別〉】

Q 2「難易度適切」の学科別（左）および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	172	3.483	0.743	21.334%
中国文学科	6	4.000	0.816	20.412%
英米文学科	92	3.489	0.634	18.173%
教育学科	27	3.741	0.699	18.681%
書道学科	22	3.409	0.717	21.040%
歴史文化学科	46	3.239	0.597	18.417%
社会経済学科	92	3.565	0.770	21.610%
現代経済学科	72	3.458	0.686	19.834%
中国語学科	38	3.526	0.678	19.230%
英語学科	108	3.593	0.667	18.571%
日本語学科	38	3.658	0.735	20.105%
法律学科	122	3.541	0.791	22.333%
政治学科	79	3.392	0.736	21.706%
国際関係学科	39	3.385	0.665	19.639%
国際文化学科	40	3.500	0.671	19.166%
経営学科	154	3.597	0.689	19.144%
スポーツ科学科	55	3.545	0.758	21.391%
健康科学科	12	3.583	0.640	17.863%
看護学科	17	3.765	0.644	17.116%
社会学科	51	3.412	0.632	18.516%
<b>全学</b>	1,282	3.517	0.715	20.340%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	772	3.556	0.743
2	426	3.453	0.671
3	53	3.453	0.689
4	30	3.533	0.562

【全学共通科目（人文系）〈学生所属別〉】

Q2「難易度適切」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.581%	2.907%	54.651%	31.395%	10.465%
中国文学科	0.000%	0.000%	33.333%	33.333%	33.333%
英米文学科	0.000%	0.000%	58.696%	33.696%	7.609%
教育学科	0.000%	3.704%	29.630%	55.556%	11.111%
書道学科	0.000%	4.545%	59.091%	27.273%	9.091%
歴史文化学科	0.000%	4.348%	71.739%	19.565%	4.348%
社会経済学科	1.087%	0.000%	54.348%	30.435%	14.130%
現代経済学科	0.000%	2.778%	56.944%	31.944%	8.333%
中国語学科	0.000%	0.000%	57.895%	31.579%	10.526%
英語学科	0.000%	0.926%	48.148%	41.667%	9.259%
日本語学科	0.000%	0.000%	50.000%	34.211%	15.789%
法律学科	0.000%	4.918%	50.000%	31.148%	13.934%
政治学科	1.266%	3.797%	56.962%	30.380%	7.595%
国際関係学科	0.000%	2.564%	64.103%	25.641%	7.692%
国際文化学科	0.000%	2.500%	52.500%	37.500%	7.500%
経営学科	0.000%	0.649%	50.000%	38.312%	11.039%
スポーツ科学科	1.818%	1.818%	45.455%	41.818%	9.091%
健康科学科	0.000%	0.000%	50.000%	41.667%	8.333%
看護学科	0.000%	0.000%	35.294%	52.941%	11.765%
社会学科	0.000%	3.922%	54.902%	37.255%	3.922%
<b>全学</b>	<b>0.312%</b>	<b>2.106%</b>	<b>53.198%</b>	<b>34.321%</b>	<b>10.062%</b>

【全学共通科目（人文系）〈学生所属別〉】

Q2「難易度適切」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.389%	2.461%	50.000%	35.492%	11.658%
2	0.235%	1.878%	57.746%	32.629%	7.512%
3	0.000%	0.000%	66.038%	22.642%	11.321%
4	0.000%	0.000%	50.000%	46.667%	3.333%

Q3 あなたはこの授業で教員に授業に関連して質問したことがありますか。【質問対応】

「2 質問したことがある」と答えた割合は 10.00%(人文系平均)で、全共科目全体の平均 10.65%に比べると、僅かに低い結果となった。社会経済学科の「質問したことがある」割合は僅か 2.15%と、特に低い。

【全学共通科目（人文系）〈学生所属別〉】

Q3「質問対応」の学科別（左）および学年別（右）回答

（1「いいえ、したことはありません」/ 2「はい、あります」）

学科 / 部局	1	2
日本文学科	92.857%	7.143%
中国文学科	83.333%	16.667%
英米文学科	94.565%	5.435%
教育学科	88.889%	11.111%
書道学科	81.818%	18.182%
歴史文化学科	84.783%	15.217%
社会経済学科	97.849%	2.151%
現代経済学科	91.667%	8.333%
中国語学科	83.784%	16.216%
英語学科	87.850%	12.150%
日本語学科	86.486%	13.514%
法律学科	88.983%	11.017%
政治学科	87.342%	12.658%
国際関係学科	89.744%	10.256%
国際文化学科	80.000%	20.000%
経営学科	90.132%	9.868%
スポーツ科学科	87.273%	12.727%
健康科学科	91.667%	8.333%
看護学科	94.118%	5.882%
社会学科	92.157%	7.843%
<b>全学</b>	<b>90.000%</b>	<b>10.000%</b>

学年	1	2
1	91.242%	8.758%
2	89.311%	10.689%
3	86.792%	13.208%
4	73.333%	26.667%

Q4 質問に対する教員の対応が適切だったと思いますか。【フィードバック】

「5 強く思う」と「4 どちらかと言えば思う」を回答した比率の合計が6割を超えており(63.54%)、学生の授業認識は教員の対応を評価している。

全共科目全体では「1 まったくそう思わない」と「2 どちらかと言えばそう思わない」が0.00%の学科は5学科(中国文学科、教育学科、日本語学科、政治学科、国際文化学科)であった。これに対して、人文系の科目に限定すると、「1と2」の分布割合が0.00%の学科12学科と大幅に増える(中国文学科、英米文学科、教育学科、書道学科、歴史文化学科、社会経済学科、日本語学科、政治学科、国際文化学科、健康科学科、看護学科、社会学科)。質問する学生は少ないが、それでも学生は教員の質問対応を高く評価している。

【全学共通科目（人文系）〈学生所属別〉】

Q 4「フィードバック」の学科別（左）および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	47	3.894	1.057	27.136%
中国文学科	3	4.000	0.816	20.412%
英米文学科	39	3.872	0.882	22.788%
教育学科	5	4.200	0.980	23.328%
書道学科	10	3.600	0.800	22.222%
歴史文化学科	13	4.308	0.821	19.066%
社会経済学科	28	4.036	0.865	21.441%
現代経済学科	26	3.769	0.890	23.624%
中国語学科	14	4.000	1.000	25.000%
英語学科	48	4.104	0.918	22.375%
日本語学科	10	4.300	0.781	18.163%
法律学科	46	4.043	1.083	26.774%
政治学科	36	3.944	0.815	20.652%
国際関係学科	17	3.882	1.078	27.773%
国際文化学科	17	4.412	0.844	19.137%
経営学科	65	3.938	0.875	22.214%
スポーツ科学科	25	3.880	1.143	29.449%
健康科学科	6	4.000	0.577	14.434%
看護学科	11	4.091	0.900	21.999%
社会学科	14	3.929	0.884	22.490%
<b>全学</b>	<b>480</b>	<b>3.983</b>	<b>0.949</b>	<b>23.813%</b>

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	296	3.963	0.924
2	152	3.993	0.997
3	20	4.050	0.973
4	12	4.250	0.829

【全学共通科目（人文系）〈学生所属別〉】

Q4「フィードバック」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	4.255%	2.128%	29.787%	27.660%	36.170%
中国文学科	0.000%	0.000%	33.333%	33.333%	33.333%
英米文学科	0.000%	0.000%	46.154%	20.513%	33.333%
教育学科	0.000%	0.000%	40.000%	0.000%	60.000%
書道学科	0.000%	0.000%	60.000%	20.000%	20.000%
歴史文化学科	0.000%	0.000%	23.077%	23.077%	53.846%
社会経済学科	0.000%	0.000%	35.714%	25.000%	39.286%
現代経済学科	0.000%	3.846%	42.308%	26.923%	26.923%
中国語学科	0.000%	7.143%	28.571%	21.429%	42.857%
英語学科	0.000%	2.083%	31.250%	20.833%	45.833%
日本語学科	0.000%	0.000%	20.000%	30.000%	50.000%
法律学科	4.348%	0.000%	30.435%	17.391%	47.826%
政治学科	0.000%	0.000%	36.111%	33.333%	30.556%
国際関係学科	5.882%	0.000%	29.412%	29.412%	35.294%
国際文化学科	0.000%	0.000%	23.529%	11.765%	64.706%
経営学科	0.000%	1.538%	36.923%	27.692%	33.846%
スポーツ科学科	8.000%	0.000%	24.000%	32.000%	36.000%
健康科学科	0.000%	0.000%	16.667%	66.667%	16.667%
看護学科	0.000%	0.000%	36.364%	18.182%	45.455%
社会学科	0.000%	0.000%	42.857%	21.429%	35.714%
<b>全学</b>	<b>1.458%</b>	<b>1.042%</b>	<b>33.958%</b>	<b>24.792%</b>	<b>38.750%</b>

【全学共通科目（人文系）〈学生所属別〉】

Q4「フィードバック」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	1.014%	1.014%	35.473%	25.676%	36.824%
2	1.974%	1.316%	34.211%	20.395%	42.105%
3	5.000%	0.000%	15.000%	45.000%	35.000%
4	0.000%	0.000%	25.000%	25.000%	50.000%

Q5 あなたはこの授業に対して意欲／熱意をもって取り組んだと思いますか。【学生意欲】

「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答分布割合の合計(人文系の全学平均)が 82.79%と、学生は自身の熱意を高く認識している。全共科目全体の分布割合の合計(全学平均：81.87%)に比べても、高い水準であった。

そのなかで、全共科目全体に比べて、「3 どちらとも言えない」の分布割合が、教育学科、中国語学科、経営学科、スポーツ科学科、看護学科の5学科は増加した。中国文学科、現代経済学科、中国語学科、英語学科、政治学科、国際関係学科の6学科は「4」の分布割合が減少したが、他学科は増加している。学生の多くは人文系の科目に真面目に取り組んだことがわかる。

一方で、中国文学科と書道学科は「1 まったくそう思わない」と「2 どちらかと言えばそう思わない」の割合合計がそれぞれ16.67%と13.64%となり、人文系の全体平均3.13%と比べてみても、非常に高い水準を表し、人文系科目に対する意欲の低い学生の分布割合が多いという結果になった。

### 【全学共通科目（人文系）〈学生所属別〉】

Q5「学生意欲」の学科別（左）および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	171	4.099	0.770	18.776%
中国文学科	6	4.000	1.155	28.868%
英米文学科	92	4.087	0.654	15.993%
教育学科	27	3.889	0.737	18.952%
書道学科	22	3.818	1.029	26.937%
歴史文化学科	45	4.067	0.646	15.894%
社会経済学科	93	4.000	0.762	19.050%
現代経済学科	72	4.153	0.660	15.882%
中国語学科	38	4.000	0.795	19.868%
英語学科	107	4.140	0.848	20.476%
日本語学科	38	4.053	0.686	16.933%
法律学科	121	4.223	0.698	16.531%
政治学科	79	4.177	0.742	17.768%
国際関係学科	39	4.128	0.939	22.737%
国際文化学科	40	4.225	0.651	15.419%
経営学科	153	3.967	0.820	20.665%
スポーツ科学科	55	4.073	0.759	18.643%
健康科学科	12	4.083	0.759	18.593%
看護学科	17	3.941	0.872	22.138%
社会学科	51	4.020	0.641	15.957%
<b>全学</b>	<b>1,278</b>	<b>4.081</b>	<b>0.766</b>	<b>18.764%</b>

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	769	4.094	0.763
2	425	4.031	0.777
3	53	4.245	0.724
4	30	4.167	0.687

【全学共通科目（人文系）〈学生所属別〉】

Q5「学生意欲」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	1.170%	1.754%	12.865%	54.386%	29.825%
中国文学科	0.000%	16.667%	16.667%	16.667%	50.000%
英米文学科	1.087%	0.000%	10.870%	65.217%	22.826%
教育学科	0.000%	3.704%	22.222%	55.556%	18.519%
書道学科	4.545%	9.091%	9.091%	54.545%	22.727%
歴史文化学科	0.000%	0.000%	17.778%	57.778%	24.444%
社会経済学科	1.075%	3.226%	12.903%	60.215%	22.581%
現代経済学科	0.000%	0.000%	15.278%	54.167%	30.556%
中国語学科	0.000%	2.632%	23.684%	44.737%	28.947%
英語学科	1.869%	2.804%	10.280%	49.533%	35.514%
日本語学科	0.000%	2.632%	13.158%	60.526%	23.684%
法律学科	0.000%	1.653%	10.744%	51.240%	36.364%
政治学科	0.000%	2.532%	12.658%	49.367%	35.443%
国際関係学科	2.564%	5.128%	7.692%	46.154%	38.462%
国際文化学科	0.000%	0.000%	12.500%	52.500%	35.000%
経営学科	0.654%	3.922%	19.608%	49.673%	26.144%
スポーツ科学科	0.000%	1.818%	20.000%	47.273%	30.909%
健康科学科	0.000%	8.333%	0.000%	66.667%	25.000%
看護学科	0.000%	5.882%	23.529%	41.176%	29.412%
社会学科	0.000%	1.961%	13.725%	64.706%	19.608%
<b>全学</b>	<b>0.704%</b>	<b>2.426%</b>	<b>14.085%</b>	<b>53.599%</b>	<b>29.186%</b>

【全学共通科目（人文系）〈学生所属別〉】

Q5「学生意欲」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.390%	2.731%	14.304%	52.276%	30.299%
2	1.176%	2.118%	15.294%	55.294%	26.118%
3	1.887%	0.000%	5.660%	56.604%	35.849%
4	0.000%	3.333%	6.667%	60.000%	30.000%

Q6 教員は熱意をもってこの授業を行ったと思いますか。【教員熱意】

「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答割合の合計が90%を超えており(94.54%)、学生の授業認識は教員の熱意を高く評価していると言える。教員熱意に関する学科別の学生認識の全学平均値(人文系)は4.58となっている。

特に、学科別回答分布の「1」は日本文学科(0.58%)と書道学科(4.55%)、国際関係学科

(5.13%)の3学科以外、全ての学科が0.00%を示している(平均:0.31%)。回答分布割合の「2」は政治学科2.53%、社会学科1.96%、英語学科1.85%、現代経済学科1.39%、英米文学科1.09%、法律学科0.82%、日本文学科0.58%以外の13学科は0.00%であった。この結果は教員の熱意を評価する学生の分布割合が多いことを表している。

【全学共通科目(人文系)〈学生所属別〉】

Q6「教員熱意」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	172	4.663	0.622	13.329%
中国文学科	6	5.000	0.000	0.000%
英米文学科	92	4.652	0.579	12.451%
教育学科	27	4.667	0.544	11.664%
書道学科	22	4.409	0.937	21.253%
歴史文化学科	46	4.457	0.579	12.989%
社会経済学科	93	4.570	0.575	12.592%
現代経済学科	72	4.611	0.614	13.308%
中国語学科	38	4.579	0.544	11.890%
英語学科	108	4.630	0.632	13.659%
日本語学科	38	4.553	0.594	13.041%
法律学科	122	4.516	0.630	13.956%
政治学科	79	4.468	0.709	15.859%
国際関係学科	39	4.436	0.982	22.132%
国際文化学科	40	4.600	0.663	14.420%
経営学科	154	4.571	0.612	13.392%
スポーツ科学科	55	4.564	0.626	13.709%
健康科学科	12	4.500	0.500	11.111%
看護学科	17	4.647	0.681	14.653%
社会学科	51	4.490	0.668	14.873%
<b>全学</b>	1,283	4.575	0.642	14.041%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	773	4.552	0.635
2	426	4.529	0.657
3	53	4.575	0.712
4	30	4.500	0.499

【全学共通科目（人文系）〈学生所属別〉】

Q6「教員熱意」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.581%	0.581%	2.907%	23.837%	72.093%
中国文学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	100.000%
英米文学科	0.000%	1.087%	2.174%	27.174%	69.565%
教育学科	0.000%	0.000%	3.704%	25.926%	70.370%
書道学科	4.545%	0.000%	4.545%	31.818%	59.091%
歴史文化学科	0.000%	0.000%	4.348%	45.652%	50.000%
社会経済学科	0.000%	0.000%	4.301%	34.409%	61.290%
現代経済学科	0.000%	1.389%	2.778%	29.167%	66.667%
中国語学科	0.000%	0.000%	2.632%	36.842%	60.526%
英語学科	0.000%	1.852%	2.778%	25.926%	69.444%
日本語学科	0.000%	0.000%	5.263%	34.211%	60.526%
法律学科	0.000%	0.820%	4.918%	36.066%	58.197%
政治学科	0.000%	2.532%	5.063%	35.443%	56.962%
国際関係学科	5.128%	0.000%	5.128%	25.641%	64.103%
国際文化学科	0.000%	0.000%	10.000%	20.000%	70.000%
経営学科	0.000%	0.000%	6.494%	29.870%	63.636%
スポーツ科学科	0.000%	0.000%	7.273%	29.091%	63.636%
健康科学科	0.000%	0.000%	0.000%	50.000%	50.000%
看護学科	0.000%	0.000%	11.765%	11.765%	76.471%
社会学科	0.000%	1.961%	3.922%	37.255%	56.863%
<b>全学</b>	<b>0.312%</b>	<b>0.701%</b>	<b>4.443%</b>	<b>30.242%</b>	<b>64.302%</b>

【全学共通科目（人文系）〈学生所属別〉】

Q6「教員熱意」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.129%	0.906%	4.398%	30.789%	63.777%
2	0.469%	0.469%	5.164%	28.169%	65.728%
3	1.887%	0.000%	1.887%	30.189%	66.038%
4	0.000%	0.000%	0.000%	46.667%	53.333%

Q7 この授業を通じて「知識が増えた」あるいは「ものごとの捉え方が深くなった」あるいは「技能が向上した」などの成長があったと思いますか。【成長感覚】

成長感覚の学科別の平均値(人文系科目)は4.29であった。回答分布割合の「5 強く思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答分布の割合合計(人文系平均:89.40%)が約90%を示しているため、学生が自身の成長感覚を高く認識していると言える。一方、「1 まった

くそう思わない」と「2 どちらかと言えばそう思わない」の分布割合合計が 0.00%であったのは、中国文学科、教育学科、中国語学科、日本語学科、法律学科、政治学科、国際文化学科、健康科学科、看護学科の 9 学科であった。「1 と 2」の回答分布割合の合計が社会経済学科 6.45%、国際関係学科 5.13%、書道学科 4.55%は他学科より高い分布割合を示している。

これらの学科は変動係数(書道学科 20.09%、社会経済学科 22.53%、国際関係学科 19.77%)も、人文系の平均値 17.30%を大きく上回っていることから、バラツキが大きく、評価が各点に分散していると言える。

### 【全学共通科目（人文系）〈学生所属別〉】

Q 7「成長感覚」の学科別（左）および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	172	4.384	0.788	17.965%
中国文学科	6	4.667	0.745	15.972%
英米文学科	92	4.283	0.681	15.899%
教育学科	27	4.222	0.685	16.222%
書道学科	22	4.227	0.849	20.088%
歴史文化学科	46	4.239	0.757	17.861%
社会経済学科	93	4.129	0.930	22.526%
現代経済学科	72	4.375	0.655	14.968%
中国語学科	38	4.263	0.676	15.858%
英語学科	108	4.204	0.825	19.627%
日本語学科	38	4.474	0.595	13.310%
法律学科	122	4.320	0.669	15.477%
政治学科	79	4.304	0.663	15.401%
国際関係学科	39	4.359	0.862	19.774%
国際文化学科	40	4.400	0.663	15.076%
経営学科	154	4.292	0.683	15.914%
スポーツ科学科	55	4.255	0.719	16.901%
健康科学科	12	4.167	0.687	16.492%
看護学科	17	4.294	0.666	15.498%
社会学科	51	4.157	0.697	16.757%
<b>全学</b>	1,283	4.292	0.742	17.297%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	773	4.278	0.743
2	426	4.284	0.752
3	53	4.453	0.715
4	30	4.433	0.559

【全学共通科目（人文系）〈学生所属別〉】

Q7「成長感覚」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	1.744%	1.163%	5.233%	40.698%	51.163%
中国文学科	0.000%	0.000%	16.667%	0.000%	83.333%
英米文学科	1.087%	1.087%	3.261%	57.609%	36.957%
教育学科	0.000%	0.000%	14.815%	48.148%	37.037%
書道学科	4.545%	0.000%	0.000%	59.091%	36.364%
歴史文化学科	0.000%	2.174%	13.043%	43.478%	41.304%
社会経済学科	3.226%	3.226%	8.602%	47.312%	37.634%
現代経済学科	0.000%	1.389%	5.556%	47.222%	45.833%
中国語学科	0.000%	0.000%	13.158%	47.368%	39.474%
英語学科	0.926%	3.704%	9.259%	46.296%	39.815%
日本語学科	0.000%	0.000%	5.263%	42.105%	52.632%
法律学科	0.000%	0.000%	11.475%	45.082%	43.443%
政治学科	0.000%	0.000%	11.392%	46.835%	41.772%
国際関係学科	2.564%	2.564%	2.564%	41.026%	51.282%
国際文化学科	0.000%	0.000%	10.000%	40.000%	50.000%
経営学科	0.000%	0.649%	11.039%	46.753%	41.558%
スポーツ科学科	0.000%	1.818%	10.909%	47.273%	40.000%
健康科学科	0.000%	0.000%	16.667%	50.000%	33.333%
看護学科	0.000%	0.000%	11.765%	47.059%	41.176%
社会学科	1.961%	0.000%	5.882%	64.706%	27.451%
<b>全学</b>	<b>0.857%</b>	<b>1.169%</b>	<b>8.574%</b>	<b>46.765%</b>	<b>42.634%</b>

【全学共通科目（人文系）〈学生所属別〉】

Q7「成長感覚」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.776%	1.164%	9.444%	46.701%	41.915%
2	0.939%	1.408%	8.216%	47.183%	42.254%
3	1.887%	0.000%	1.887%	43.396%	52.830%
4	0.000%	0.000%	3.333%	50.000%	46.667%

Q8 すべてを総合して、この授業に対してどの程度満足しましたか。10を「100%満足」、1を「10%満足」として10段階で最も近いと思われるものを選んでください。【総合満足】

総合満足の学科別の平均値(人文系科目)は8.30となっている。満足度の高い10から8までの回答分布の割合合計(人文系平均)は72.77%で、人文系の科目に対して総合的に満足していると言える。中位の7から5の割合合計(人文系平均)が25.43%で、全共科目全

体の平均(23.98%)よりもやや高かった。満足度の低い「1」から「3」の回答分布割合の合計(人文系平均：1.17%)は全共科目全体の平均(0.94%)に比べても高い数値であった。

変動係数を用いて総合満足度を判断すると、次のように説明できる。まず、変動係数の平均値(19.35%)を上回り、バラツキの大きさが示された学科は、看護学科 32.32%、書道学科 24.97%、国際関係学科 24.17%、スポーツ科学科 22.01%、社会経済学科 21.69%、中国語学科 21.48%、政治学科 21.38%、現代経済学科 19.56%、英語学科 19.54%の9学科であった。満足度が各点に分散しているとも言える。

次に、変動係数が平均値以下で、「10」から「8」までの回答分布割合の合計が人文系の全体平均(72.77%)よりも高い結果を示したのは、中国文学科、英米文学科、現代経済学科、日本語学科、法律学科、健康科学科の6学科であった。人文系の科目に対して、これらの学科の学生の総合満足度が高く示される結果となった。

### 【全学共通科目(人文系)〈学生所属別〉】

Q8「総合満足」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	171	8.515	1.519	17.843%
中国文学科	6	9.167	0.898	9.791%
英米文学科	92	8.337	1.393	16.710%
教育学科	27	8.333	1.277	15.319%
書道学科	21	7.905	1.974	24.969%
歴史文化学科	46	8.457	1.499	17.730%
社会経済学科	93	8.000	1.735	21.689%
現代経済学科	72	8.250	1.614	19.561%
中国語学科	38	8.026	1.724	21.482%
英語学科	108	8.324	1.626	19.538%
日本語学科	38	8.447	1.568	18.559%
法律学科	122	8.352	1.476	17.673%
政治学科	77	8.286	1.772	21.383%
国際関係学科	39	7.949	1.921	24.166%
国際文化学科	40	8.650	1.370	15.841%
経営学科	154	8.325	1.562	18.764%
スポーツ科学科	55	8.055	1.773	22.009%
健康科学科	12	8.583	0.640	7.457%
看護学科	17	7.765	2.509	32.319%
社会学科	50	8.200	1.342	16.361%
<b>全学</b>	1,278	8.297	1.605	19.346%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	769	8.307	1.602
2	425	8.285	1.647
3	53	8.302	1.537
4	30	8.233	1.174

【全学共通科目（人文系）〈学生所属別〉】

Q8「総合満足」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
日本文学科	0.585%	0.000%	0.585%	0.000%	4.094%	2.339%	13.450%	22.807%	23.392%	32.749%
中国文学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	33.333%	16.667%	50.000%
英米文学科	0.000%	0.000%	0.000%	1.087%	2.174%	5.435%	18.478%	26.087%	19.565%	27.174%
教育学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	7.407%	22.222%	25.926%	18.519%	25.926%
書道学科	4.762%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	4.762%	23.810%	38.095%	0.000%	28.571%
歴史文化学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	4.348%	6.522%	17.391%	19.565%	15.217%	36.957%
社会経済学科	0.000%	0.000%	0.000%	2.151%	10.753%	6.452%	17.204%	20.430%	15.054%	27.957%
現代経済学科	0.000%	1.389%	0.000%	1.389%	2.778%	6.944%	12.500%	29.167%	18.056%	27.778%
中国語学科	0.000%	0.000%	2.632%	2.632%	5.263%	5.263%	13.158%	26.316%	23.684%	21.053%
英語学科	0.000%	0.000%	1.852%	0.000%	3.704%	7.407%	15.741%	21.296%	16.667%	33.333%
日本語学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	5.263%	10.526%	10.526%	18.421%	18.421%	36.842%
法律学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.820%	3.279%	9.016%	13.934%	21.311%	22.951%	28.689%
政治学科	1.299%	0.000%	1.299%	1.299%	2.597%	6.494%	10.390%	28.571%	15.584%	32.468%
国際関係学科	2.564%	2.564%	0.000%	0.000%	0.000%	7.692%	17.949%	28.205%	20.513%	20.513%
国際文化学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	2.500%	5.000%	20.000%	2.500%	37.500%	32.500%
経営学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.649%	6.494%	5.844%	14.935%	24.026%	14.935%	33.117%
スポーツ科学科	0.000%	0.000%	3.636%	0.000%	5.455%	5.455%	20.000%	25.455%	9.091%	30.909%
健康科学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	50.000%	41.667%	8.333%
看護学科	5.882%	5.882%	0.000%	0.000%	0.000%	5.882%	5.882%	23.529%	35.294%	17.647%
社会学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	2.000%	10.000%	18.000%	28.000%	20.000%	22.000%
全学	0.391%	0.235%	0.548%	0.626%	4.069%	6.182%	15.180%	23.787%	19.092%	29.890%

【全学共通科目（人文系）〈学生所属別〉】

Q8「総合満足」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	0.260%	0.260%	0.650%	0.650%	4.811%	5.072%	14.824%	23.927%	19.766%	29.779%
2	0.471%	0.235%	0.471%	0.706%	3.529%	8.706%	14.353%	22.353%	17.647%	31.529%
3	1.887%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	1.887%	24.528%	24.528%	22.642%	24.528%
4	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	6.667%	20.000%	36.667%	16.667%	20.000%

【クロス表に関する結果(人文系)】

人文系科目を履修している学生の授業認識に対する「教員熱意と学生熱意」とのクロス表(表1:回答数、表2:パーセント)では、それぞれの行でもっとも高い数値を赤字で示している。また、右端の列(4+5)に4「どちらかと言えばそう思う」と5「強くそう思う」の割合を加算した数字を記載している。尚、4と5の合計はローデータに基づいて計算しているため、表では100分の1の誤差が生じる場合がある。

この回答数を示した表1に注目すると、教員熱意が向上すればするほど、右側の数字が高くなっていることが見てとれる。まず、右端の列の数字(赤字:0→3→11→299→745)から、教員熱意が向上すればするほど、その数値が上がっていくことが顕著になる。

教員熱意と学生意欲とのクロスチェック数値(赤字:3→5→40→277→348)からも互いに

上昇していることを確認できる。この結果から、学生が教員の熱意を感じるようになると、自分の意欲も強く感じるようになっていくことがわかる。

表 1

●【全学共通科目（人文系）（学生所属別）】クロス集計（【学生意欲】×【教員熱意】）【回答数】

	学生意欲					合計	4+5	
	1 まったくそう思わない	2 どちらかと言えばそう思わない	3 どちらとも言えない	4 どちらかと言えばそう思う	5 強くそう思う			
教員熱意	1 まったくそう思わない	3	1	0	0	0	4	0
	2 どちらかと言えばそう思わない	0	5	1	3	0	9	3
	3 どちらとも言えない	2	4	40	8	3	57	11
	4 どちらかと言えばそう思う	2	11	75	277	22	387	299
	5 強くそう思う	2	10	64	397	348	821	745
合計	9	31	180	685	373	1,278	1,058	

表 2

●【全学共通科目（人文系）（学生所属別）】クロス集計（【学生意欲】×【教員熱意】）【パーセント】

	学生意欲					合計	4+5	
	1 まったくそう思わない	2 どちらかと言えばそう思わない	3 どちらとも言えない	4 どちらかと言えばそう思う	5 強くそう思う			
教員熱意	1 まったくそう思わない	75.000%	25.000%	0.000%	0.000%	0.000%	100.000%	0.000%
	2 どちらかと言えばそう思わない	0.000%	55.556%	11.111%	33.333%	0.000%	100.000%	33.333%
	3 どちらとも言えない	3.509%	7.018%	70.175%	14.035%	5.263%	100.000%	19.298%
	4 どちらかと言えばそう思う	0.517%	2.842%	19.380%	71.576%	5.685%	100.000%	77.261%
	5 強くそう思う	0.244%	1.218%	7.795%	48.356%	42.387%	100.000%	90.743%

### 【相関係数表に関する結果(人文系)】

相関係数に関しては、+0.3 以上+0.6 未満(-0.3~-0.6)で弱い正(負)の相関関係、+0.6 以上+1 未満(-0.6~-1)で強い正(負)の相関関係があると解釈できる。当該相関係数表では、弱い正の相関関係を青字、強い正の相関関係を赤字でそれぞれ記す。分析の結果、「難易度が適切かどうか」に関わるもの以外の変数(項目)に関して、正の相関関係がみられた。

まず、「総合満足度」に対する人文系科目を履修している学生の授業認識は、特に「成長感覚」との間に弱い正の相関関係 0.57 がみられ、正の相関関係の順に「教員熱意 0.51」・「学生意欲 0.50」・「FB 丁寧 0.45」・「シラバス通り 0.42」となっている。この結果から、「総合満足度」の向上は、「成長感覚を持てるかどうか」が、最も強く影響することを示しているものの、これらは弱い相関関係である。

次に、「成長感覚」との相関関係順に見ていくと、「教員熱意」との間に弱い正の相関関係 0.59 がみられた。正の相関関係順に、「学生意欲 0.58」「FB 丁寧 0.48」「シラバス通り 0.47」と続く。つまり、「成長感覚」の向上は、教員の熱意があるかどうか弱く影響することを示している。「難易度が適切か」に関しては、相関係数表に基づくと、すべての項目間で相関関係がみられない。

まとめると、「教員熱意」が学生の「成長感覚」を促し、「成長感覚」が「総合満足度」に影響を与えているという弱い相関関係が示された。

●【全学共通科目（人文系）〈学生所属別〉】相関係数表

		Q1b	Q2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8
		【シラバス通り】	【難易度適切】	【FB丁寧】	【学生意欲】	【教員熱意】	【成長感覚】	【総合満足】
Q1b	【シラバス通り】	1.000						
Q2	【難易度適切】	-0.061	1.000					
Q4	【FB丁寧】	0.385	0.007	1.000				
Q5	【学生意欲】	0.394	-0.055	0.486	1.000			
Q6	【教員熱意】	0.439	-0.058	0.431	0.483	1.000		
Q7	【成長感覚】	0.472	-0.092	0.480	0.575	0.591	1.000	
Q8	【総合満足】	0.423	-0.160	0.446	0.497	0.507	0.571	1.000

### 【全学共通科目（社会系）（学生所属別）】

回答率は33.93%であり、全共科目全体の34.28%に比べ低い結果となった。特に、スポーツ科学科22.06%、国際関係学科25.56%、経営学科25.74%、健康科学科27.06%、中国語学科27.94%、英語学科28.83%、英米文学科29.86%の7学科は30%に満たず、低い回答率であった。

### 【全学共通科目（社会系）〈学生所属別〉】

学科別（左）および学年別（右）回答率

学科 / 部局	回答数	未回答数	合計	回答率
日本文学科	125	128	253	49.407%
中国文学科	15	18	33	45.455%
英米文学科	63	148	211	29.858%
教育学科	91	184	275	33.091%
書道学科	39	23	62	62.903%
歴史文化学科	42	53	95	44.211%
社会経済学科	114	240	354	32.203%
現代経済学科	110	206	316	34.810%
中国語学科	38	98	136	27.941%
英語学科	79	195	274	28.832%
日本語学科	24	51	75	32.000%
法律学科	134	176	310	43.226%
政治学科	101	190	291	34.708%
国際関係学科	34	99	133	25.564%
国際文化学科	30	67	97	30.928%
経営学科	156	450	606	25.743%
スポーツ科学科	60	212	272	22.059%
健康科学科	23	62	85	27.059%
看護学科	26	33	59	44.068%
社会学科	116	132	248	46.774%
<b>全学</b>	<b>1,420</b>	<b>2,765</b>	<b>4,185</b>	<b>33.931%</b>

学年	回答数	未回答数	合計	回答率
1	943	1,363	2,306	40.893%
2	387	1,013	1,400	27.643%
3	58	224	282	20.567%
4	32	164	196	16.327%

### Q1a あなたはこの授業のシラバス内容を知っていますか。【シラバス既知】

社会系科目のシラバス既知率は77.98%で、全共科目全体81.97%に比べると、2025年度前期と同様に低い傾向を示している。法律学科59.70%、健康科学科60.87%、教育学科69.57%の3学科は70%に満たない結果であった。

【全学共通科目（社会系）〈学生所属別〉】

Q 1a「シラバス既知」の学科別（左）および学年別（右）回答

（1「いいえ（あまりよく）知りません」/ 2「はい（おおよそ）知っています」）

学科 / 部局	1	2
日本文学科	16.667%	83.333%
中国文学科	0.000%	100.000%
英米文学科	25.397%	74.603%
教育学科	30.435%	69.565%
書道学科	12.821%	87.179%
歴史文化学科	16.667%	83.333%
社会経済学科	15.789%	84.211%
現代経済学科	16.364%	83.636%
中国語学科	10.256%	89.744%
英語学科	27.848%	72.152%
日本語学科	29.167%	70.833%
法律学科	40.299%	59.701%
政治学科	12.745%	87.255%
国際関係学科	5.714%	94.286%
国際文化学科	13.333%	86.667%
経営学科	23.567%	76.433%
スポーツ科学科	30.000%	70.000%
健康科学科	39.130%	60.870%
看護学科	7.692%	92.308%
社会学科	25.000%	75.000%
<b>全学</b>	<b>22.020%</b>	<b>77.980%</b>

学年	1	2
1	23.759%	76.241%
2	18.557%	81.443%
3	18.644%	81.356%
4	18.750%	81.250%

Q1b この授業はシラバスの記述通りに行われたと思いますか。【シラバス通り】

学科別回答分布は、「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答割合の合計が概ね 9 割に近く(88.75%)、社会系科目のシラバスに対する認識の平均値も 4.33 であった。なお、全共科目全体の平均 4.40 と比べても大差はない。

健康科学科は 4 と 5 の分布割合合計が 77.78%で、他学科に比べて最も低かった。「1 まったくそう思わない(0.00%)」及び「2 どちらかと言えばそう思わない(5.56%)」と、「3 どちらとも言えない(16.67%)」の割合合計が 22.23%で、20 学科のなかで最も高い割合を示している。一方、中国文学科は「4 と 5」の分布割合合計が 100.00%で最も高く、「1 まったくそう思わない」及び「2 どちらかと言えばそう思わない」と、「3 どちらとも言えない」の分布割合の合計が 0.00%と、最も低い割合を示している。極端な二極化は、留意が必要であろう。

変動係数をみると、他の質問項目に比べても学科間の格差は大きくはなかった(16.97%)。

【全学共通科目（社会系）〈学生所属別〉】

Q 1b「シラバス通り」の学科別（左）および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	106	4.387	0.667	15.202%
中国文学科	15	4.533	0.499	11.005%
英米文学科	54	4.315	0.716	16.583%
教育学科	72	4.292	0.824	19.198%
書道学科	35	4.200	0.748	17.817%
歴史文化学科	38	4.316	0.892	20.660%
社会経済学科	102	4.333	0.600	13.836%
現代経済学科	94	4.372	0.714	16.338%
中国語学科	38	4.474	0.850	19.006%
英語学科	66	4.227	0.755	17.853%
日本語学科	18	4.556	0.598	13.135%
法律学科	103	4.223	0.824	19.501%
政治学科	90	4.456	0.618	13.860%
国際関係学科	34	4.294	0.666	15.498%
国際文化学科	26	4.423	0.743	16.794%
経営学科	131	4.282	0.774	18.082%
スポーツ科学科	44	4.341	0.824	18.986%
健康科学科	18	4.111	0.875	21.281%
看護学科	24	4.583	0.571	12.465%
社会学科	92	4.304	0.671	15.599%
<b>全学</b>	1,200	4.333	0.735	16.966%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	789	4.305	0.766
2	334	4.374	0.675
3	49	4.469	0.610
4	28	4.357	0.666

【全学共通科目（社会系）〈学生所属別〉】

Q 1b「シラバス通り」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.000%	0.943%	7.547%	43.396%	48.113%
中国文学科	0.000%	0.000%	0.000%	46.667%	53.333%
英米文学科	0.000%	1.852%	9.259%	44.444%	44.444%
教育学科	1.389%	0.000%	15.278%	34.722%	48.611%
書道学科	0.000%	2.857%	11.429%	48.571%	37.143%
歴史文化学科	2.632%	2.632%	5.263%	39.474%	50.000%
社会経済学科	0.000%	0.000%	6.863%	52.941%	40.196%
現代経済学科	0.000%	3.191%	4.255%	44.681%	47.872%
中国語学科	0.000%	5.263%	7.895%	21.053%	65.789%
英語学科	0.000%	4.545%	6.061%	51.515%	37.879%
日本語学科	0.000%	0.000%	5.556%	33.333%	61.111%
法律学科	0.000%	2.913%	16.505%	35.922%	44.660%
政治学科	0.000%	0.000%	6.667%	41.111%	52.222%
国際関係学科	0.000%	0.000%	11.765%	47.059%	41.176%
国際文化学科	0.000%	0.000%	15.385%	26.923%	57.692%
経営学科	0.000%	2.290%	12.977%	38.931%	45.802%
スポーツ科学科	0.000%	4.545%	9.091%	34.091%	52.273%
健康科学科	0.000%	5.556%	16.667%	38.889%	38.889%
看護学科	0.000%	0.000%	4.167%	33.333%	62.500%
社会学科	0.000%	2.174%	5.435%	52.174%	40.217%
<b>全学</b>	<b>0.167%</b>	<b>1.917%</b>	<b>9.167%</b>	<b>42.000%</b>	<b>46.750%</b>

【全学共通科目（社会系）〈学生所属別〉】

Q 1b「シラバス通り」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.253%	2.535%	9.632%	41.572%	46.008%
2	0.000%	0.898%	8.383%	43.114%	47.605%
3	0.000%	0.000%	6.122%	40.816%	53.061%
4	0.000%	0.000%	10.714%	42.857%	46.429%

Q2 自分にとってこの授業の難易度は適切だったと思いますか。【難易度適切】

「5 とても難しかった」と「4 やや難しかった」の回答分布の割合合計は 48.53%(社会系科目の全学平均)で、最小 42.86%(歴史文化学科)から最大 69.57%(健康科学科)の間に分布している。「1 とても易しかった」と「2 やや易しかった」の割合合計は、最小 0.00%(中国文学科・書道学科・中国語学科・日本語学科・国際関係学科・スポーツ科学科)から最大 13.33%

(国際文化学科)の間に分布している(社会系科目の全学平均：2.74%)。授業内容の難易度に対する学科別評価の平均値は3.55であった。

授業の難易度に対する認識は、全共科目全体の数値はどの学科もほぼ同じような傾向を示すが、社会系科目に限定すると、次のような特徴が見られた。

全共科目全体の回答分布と比較すると、「3適切であった」が多いとはいえ、学科間の相違が顕著となった。具体的には、授業を難しいと認識する層(「4と5」の分布割合の合計)が全共科目全体の分布割合よりも大幅に増えているのは、歴史文化学科(全共全体30.53%→社会系42.86%)、政治学科(47.60%→53.92%)、国際関係学科(45.88%→57.14%)、スポーツ科学科(49.69%→62.71%)、健康科学科(37.93%→69.57%)、看護学科(39.18%→50.00%)の6学科であった。政治学科は「3」の分布割合が39.22%、「4」の分布割合が50.00%、健康科学科は「3」が26.09%、「4」が47.83%を示し、どちらも「4」が大幅に増加した。

一方、「3」の分布割合が大幅に減少しているのは歴史文化学科(全共全体64.12%→社会系54.76%)、政治学科(46.64%→39.22%)、国際関係学科(52.94%→42.86%)、国際文化学科(48.81%→43.33%)、スポーツ科学科(43.56%→37.29%)、健康科学科(56.90%→26.09%)の6学科であった。このように、学生の所属学科にかかわらず、社会系科目の授業内容を難しいと認識している学生が多いことが確認できる。

「1とても易しかった」と「2やや易しかった」の分布割合の合計が0.00%となっている学科は中国語学科、書道学科、中国語学科、日本語学科、国際関係学科、スポーツ科学科の6学科であった。

このように、回答分布から、社会系科目を履修している学生は授業内容を難しいと認識していることが確認できる。この授業認識の相違および格差が、変動係数から確認できる。変動係数の平均値(20.56%)を下回っているのは13学科であった(日本文学科、英米文学科、教育学科、書道学科、歴史文化学科、現代経済学科、日本語学科、政治学科、国際関係学科、経営学科、スポーツ科学科、看護学科、社会学科)。つまり、バラツキは小さいが、授業内容を難しいと捉える傾向にある。

【全学共通科目（社会系）〈学生所属別〉】

Q 2「難易度適切」の学科別（左）および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	126	3.540	0.674	19.052%
中国文学科	15	3.667	0.789	21.513%
英米文学科	63	3.492	0.687	19.677%
教育学科	92	3.663	0.741	20.237%
書道学科	39	3.615	0.665	18.385%
歴史文化学科	42	3.429	0.583	17.010%
社会経済学科	114	3.491	0.752	21.544%
現代経済学科	110	3.536	0.709	20.060%
中国語学科	39	3.744	0.808	21.573%
英語学科	79	3.532	0.726	20.565%
日本語学科	24	3.542	0.644	18.188%
法律学科	134	3.493	0.770	22.053%
政治学科	102	3.500	0.711	20.302%
国際関係学科	35	3.714	0.700	18.842%
国際文化学科	30	3.267	0.892	27.304%
経営学科	156	3.519	0.702	19.956%
スポーツ科学科	59	3.847	0.755	19.622%
健康科学科	23	3.870	0.797	20.596%
看護学科	26	3.538	0.692	19.565%
社会学科	116	3.491	0.701	20.076%
<b>全学</b>	<b>1,424</b>	<b>3.550</b>	<b>0.730</b>	<b>20.559%</b>

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	945	3.604	0.740
2	388	3.402	0.664
3	59	3.576	0.786
4	32	3.688	0.808

【全学共通科目（社会系）〈学生所属別〉】

Q2「難易度適切」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.000%	0.794%	53.968%	35.714%	9.524%
中国文学科	0.000%	0.000%	53.333%	26.667%	20.000%
英米文学科	0.000%	3.175%	52.381%	36.508%	7.937%
教育学科	0.000%	1.087%	46.739%	36.957%	15.217%
書道学科	0.000%	0.000%	48.718%	41.026%	10.256%
歴史文化学科	0.000%	2.381%	54.762%	40.476%	2.381%
社会経済学科	1.754%	3.509%	45.614%	42.105%	7.018%
現代経済学科	0.909%	1.818%	48.182%	40.909%	8.182%
中国語学科	0.000%	0.000%	48.718%	28.205%	23.077%
英語学科	0.000%	3.797%	49.367%	36.709%	10.127%
日本語学科	0.000%	0.000%	54.167%	37.500%	8.333%
法律学科	2.239%	0.746%	52.239%	35.075%	9.701%
政治学科	0.980%	5.882%	39.216%	50.000%	3.922%
国際関係学科	0.000%	0.000%	42.857%	42.857%	14.286%
国際文化学科	6.667%	6.667%	43.333%	40.000%	3.333%
経営学科	0.641%	1.282%	52.564%	36.538%	8.974%
スポーツ科学科	0.000%	0.000%	37.288%	40.678%	22.034%
健康科学科	0.000%	4.348%	26.087%	47.826%	21.739%
看護学科	0.000%	3.846%	46.154%	42.308%	7.692%
社会学科	0.862%	0.862%	55.172%	34.483%	8.621%
<b>全学</b>	<b>0.772%</b>	<b>1.966%</b>	<b>48.736%</b>	<b>38.553%</b>	<b>9.972%</b>

【全学共通科目（社会系）〈学生所属別〉】

Q2「難易度適切」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.847%	2.011%	43.915%	42.328%	10.899%
2	0.515%	2.320%	59.794%	31.186%	6.186%
3	1.695%	0.000%	50.847%	33.898%	13.559%
4	0.000%	0.000%	53.125%	25.000%	21.875%

Q3 あなたはこの授業で教員に授業に関連して質問したことがありますか。【質問対応】

全共科目全体と同様の傾向が見られるが、中国語学科の「2 質問したことがある」の回答割合が他の学科に比べて相対的に高く、25.64%であった(社会系科目の全学平均:9.75%)。

一方、法律学科 2.36%、国際文化学科 3.33%、看護学科 3.85%、歴史文化学科 4.88%と平均よりもかなり低い結果となった。

【全学共通科目（社会系）〈学生所属別〉】

Q3「質問対応」の学科別（左）および学年別（右）回答

（1「いいえ、したことはありません」/ 2「はい、あります」）

学科 / 部局	1	2
日本文学科	91.129%	8.871%
中国文学科	80.000%	20.000%
英米文学科	92.063%	7.937%
教育学科	89.011%	10.989%
書道学科	79.487%	20.513%
歴史文化学科	95.122%	4.878%
社会経済学科	90.991%	9.009%
現代経済学科	87.273%	12.727%
中国語学科	74.359%	25.641%
英語学科	92.405%	7.595%
日本語学科	91.304%	8.696%
法律学科	97.638%	2.362%
政治学科	91.089%	8.911%
国際関係学科	91.429%	8.571%
国際文化学科	96.667%	3.333%
経営学科	90.385%	9.615%
スポーツ科学科	85.965%	14.035%
健康科学科	82.609%	17.391%
看護学科	96.154%	3.846%
社会学科	89.565%	10.435%
<b>全学</b>	<b>90.249%</b>	<b>9.751%</b>

学年	1	2
1	89.807%	10.193%
2	91.623%	8.377%
3	91.525%	8.475%
4	84.375%	15.625%

Q4 質問に対する教員の対応が適切だったと思いますか。【フィードバック】

社会系科目の履修生が教員対応に対する学科別のフィードバック評価(全共科目平均：4.00)は3.95であった。

社会系科目の全学平均の「5強く思う」と「4どちらかと言えば思う」の回答割合分布の合計が62.23%で(全共科目の全体平均：64.92%)、学生が教員の対応を概ね評価していると言える。とはいえ、全体平均より低く、4つの科目系の中で最も低い水準であった。

「5」の回答分布割合が他の回答分布よりも高い学科は日本文学科、中国文学科、教育学科、現代経済学科、中国語学科、日本語学科、国際文化学科、健康科学科、看護学科の9学科であった。

学科別の変動係数が平均(23.89%)よりも高いのは英米文学科、書道学科、社会経済学科、法律学科、経営学科、スポーツ科学科、健康科学科、看護学科の8学科であった。

【全学共通科目（社会系）〈学生所属別〉】

Q 4「フィードバック」の学科別（左）および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	27	4.185	0.818	19.549%
中国文学科	5	4.400	0.800	18.182%
英米文学科	25	3.680	0.968	26.312%
教育学科	36	4.194	0.876	20.890%
書道学科	18	3.778	0.916	24.254%
歴史文化学科	6	3.833	0.898	23.414%
社会経済学科	34	3.941	1.056	26.783%
現代経済学科	37	4.189	0.865	20.645%
中国語学科	15	4.400	0.800	18.182%
英語学科	29	3.897	0.885	22.700%
日本語学科	6	4.667	0.745	15.972%
法律学科	43	3.442	0.871	25.300%
政治学科	39	3.949	0.815	20.637%
国際関係学科	11	4.091	0.793	19.373%
国際文化学科	4	4.250	0.829	19.510%
経営学科	55	3.909	0.959	24.524%
スポーツ科学科	26	3.923	0.997	25.415%
健康科学科	11	3.636	1.298	35.707%
看護学科	9	3.778	1.315	34.800%
社会学科	30	4.000	0.683	17.078%
<b>全学</b>	466	3.948	0.943	23.893%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	325	3.932	0.962
2	114	3.974	0.863
3	16	4.000	1.118
4	11	4.091	0.900

【全学共通科目（社会系）〈学生所属別〉】

Q4「フィードバック」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.000%	0.000%	25.926%	29.630%	44.444%
中国文学科	0.000%	0.000%	20.000%	20.000%	60.000%
英米文学科	0.000%	4.000%	56.000%	8.000%	32.000%
教育学科	0.000%	0.000%	30.556%	19.444%	50.000%
書道学科	0.000%	5.556%	38.889%	27.778%	27.778%
歴史文化学科	0.000%	0.000%	50.000%	16.667%	33.333%
社会経済学科	5.882%	0.000%	23.529%	35.294%	35.294%
現代経済学科	0.000%	0.000%	29.730%	21.622%	48.649%
中国語学科	0.000%	0.000%	20.000%	20.000%	60.000%
英語学科	0.000%	3.448%	34.483%	31.034%	31.034%
日本語学科	0.000%	0.000%	16.667%	0.000%	83.333%
法律学科	2.326%	4.651%	53.488%	25.581%	13.953%
政治学科	0.000%	0.000%	35.897%	33.333%	30.769%
国際関係学科	0.000%	0.000%	27.273%	36.364%	36.364%
国際文化学科	0.000%	0.000%	25.000%	25.000%	50.000%
経営学科	1.818%	0.000%	40.000%	21.818%	36.364%
スポーツ科学科	0.000%	3.846%	42.308%	11.538%	42.308%
健康科学科	9.091%	9.091%	27.273%	18.182%	36.364%
看護学科	11.111%	0.000%	33.333%	11.111%	44.444%
社会学科	0.000%	0.000%	23.333%	53.333%	23.333%
<b>全学</b>	<b>1.288%</b>	<b>1.502%</b>	<b>34.979%</b>	<b>25.536%</b>	<b>36.695%</b>

【全学共通科目（社会系）〈学生所属別〉】

Q4「フィードバック」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	1.538%	1.846%	35.077%	24.923%	36.615%
2	0.000%	0.877%	35.965%	28.070%	35.088%
3	6.250%	0.000%	25.000%	25.000%	43.750%
4	0.000%	0.000%	36.364%	18.182%	45.455%

Q5 あなたはこの授業に対して意欲／熱意をもって取り組んだと思いますか。【学生意欲】

社会系科目を履修している学生が授業の意欲と熱意に対する認識評価は3.98(社会系全学の平均)であった。この結果は全共科目の平均(4.09)に比べて、やや低い水準となっているが、学生は授業に対して意欲と熱意を持って取り組んでいると言える。

「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答分布割合の合計をみると、約 8

割(社会系の平均：78.58%)であり、回答分布の割合合計(全共科目平均：81.87%)に比べてやや低い水準であった。「4と5」の割合合計が社会系の平均(78.58%)を上回るのは日本文学科、中国文学科、社会経済学科、現代経済学科、中国語学科、英語学科、政治学科、国際文化学科、社会学科の9学科であった。

「5」の回答分布をみる限り、全共科目全体の分布割合(30.72%)を上回ったのは、中国文学科、書道学科、中国語学科、日本語学科、国際文化学科、スポーツ科学科、看護学科の7学科しかなかった。「4」の回答分布に限ると、日本文学科、中国文学科、歴史文化学科、社会経済学科、現代経済学科、中国語学科、英語学科、法律学科、政治学科、国際関係学科、社会学科の11学科が全共科目全体の分布割合(51.15%)を上回った。「3 どちらとも言えない」の回答分布は、日本文学科、中国文学科、社会経済学科、中国語学科、政治学科の5学科以外が全学共通科目全体の分布割合(14.74%)を上回っている。

「3」の回答分布割合は、平均16.64%に対して、中国文学科13.33%、中国語学科10.26%で、他学科よりも低い水準を示した。全共全体の「3」の回答分布割合が中国文学科21.88%、中国語学科17.59%であったことから、この2学科は社会系科目に関しては「3」が減少したことになる。減少分は回答分布割合をみると、中国文学科は「4」へ、中国語学科は「4と5」へそれぞれシフトしていた。高い意欲を持って社会系科目にとり組んだ学生が多いことになる。

「3」の回答分布割合が全学共通科目全体の「3」と比較して、大幅に増加したのが英米文学科、英語学科、国際関係学科、健康科学科、看護学科の5学科であった。これは「4と5」が減り、その減少分が「3」にシフトしたことになる。学科によって、社会系科目への取り組み意欲が異なることが示された。

日本語学科は「1まったくそう思わない」と「2どちらかと言えばそう思わない」の割合合計がそれぞれ12.50%となり、社会系の全体平均4.78%に比べてみても、非常に高い水準を表していた。

【全学共通科目（社会系）〈学生所属別〉】

Q 5「学生意欲」の学科別（左）および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	125	3.968	0.789	19.891%
中国文学科	15	4.200	0.653	15.552%
英米文学科	63	3.937	0.871	22.115%
教育学科	92	3.978	0.847	21.283%
書道学科	39	4.051	0.783	19.322%
歴史文化学科	41	3.780	0.812	21.475%
社会経済学科	114	4.009	0.767	19.123%
現代経済学科	110	3.945	0.796	20.171%
中国語学科	39	4.231	0.619	14.621%
英語学科	79	4.038	0.702	17.375%
日本語学科	24	4.000	1.041	26.021%
法律学科	134	3.963	0.841	21.227%
政治学科	102	3.971	0.747	18.812%
国際関係学科	35	3.914	0.732	18.695%
国際文化学科	30	4.100	0.790	19.256%
経営学科	157	3.955	0.801	20.246%
スポーツ科学科	60	4.033	0.912	22.618%
健康科学科	23	3.957	0.806	20.382%
看護学科	26	4.038	0.808	20.000%
社会学科	116	3.931	0.740	18.814%
<b>全学</b>	<b>1,424</b>	<b>3.980</b>	<b>0.798</b>	<b>20.056%</b>

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	945	3.975	0.796
2	388	3.987	0.785
3	59	3.983	0.911
4	32	4.063	0.788

【全学共通科目（社会系）〈学生所属別〉】

Q5「学生意欲」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.800%	4.800%	13.600%	58.400%	22.400%
中国文学科	0.000%	0.000%	13.333%	53.333%	33.333%
英米文学科	1.587%	3.175%	22.222%	46.032%	26.984%
教育学科	1.087%	4.348%	17.391%	50.000%	27.174%
書道学科	0.000%	2.564%	20.513%	46.154%	30.769%
歴史文化学科	0.000%	7.317%	24.390%	51.220%	17.073%
社会経済学科	1.754%	1.754%	13.158%	60.526%	22.807%
現代経済学科	0.909%	4.545%	15.455%	57.273%	21.818%
中国語学科	0.000%	0.000%	10.256%	56.410%	33.333%
英語学科	0.000%	1.266%	18.987%	54.430%	25.316%
日本語学科	0.000%	12.500%	16.667%	29.167%	41.667%
法律学科	0.000%	7.463%	14.925%	51.493%	26.119%
政治学科	0.980%	2.941%	14.706%	60.784%	20.588%
国際関係学科	0.000%	2.857%	22.857%	54.286%	20.000%
国際文化学科	0.000%	3.333%	16.667%	46.667%	33.333%
経営学科	0.000%	5.096%	19.108%	50.955%	24.841%
スポーツ科学科	1.667%	5.000%	15.000%	45.000%	33.333%
健康科学科	0.000%	4.348%	21.739%	47.826%	26.087%
看護学科	0.000%	3.846%	19.231%	46.154%	30.769%
社会学科	0.862%	3.448%	15.517%	62.069%	18.103%
<b>全学</b>	<b>0.632%</b>	<b>4.143%</b>	<b>16.643%</b>	<b>53.722%</b>	<b>24.860%</b>

【全学共通科目（社会系）〈学生所属別〉】

Q5「学生意欲」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.529%	4.444%	16.508%	54.074%	24.444%
2	0.773%	3.093%	17.526%	53.866%	24.742%
3	1.695%	5.085%	16.949%	45.763%	30.508%
4	0.000%	6.250%	9.375%	56.250%	28.125%

Q6 教員は熱意をもってこの授業を行ったと思いますか。【教員熱意】

「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答割合の合計が 90% を超えており（社会系平均：93.05%）、学生の教員熱意に対する認識を高く評価していると言える。授業内容の認識に関する教員熱意の平均値は 4.50 となっている。

特に、学科別回答分布の「1」は社会経済学科(0.88%)以外、全ての学科が 0.00% を示して

いる(平均:0.07%)。また、「2」はスポーツ科学科 5.00%、法律学科 2.24%、経営学科 1.91%、英語学科 1.27%、現代経済学科 0.91%、日本文学科 0.80%の6学科以外は 0.00%であった。この結果から、どの学科の学生も社会系科目の教員の熱意を高く評価していることが示された。

【全学共通科目(社会系)〈学生所属別〉】

Q6「教員熱意」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	125	4.552	0.626	13.742%
中国文学科	15	4.733	0.442	9.343%
英米文学科	63	4.587	0.553	12.056%
教育学科	92	4.609	0.607	13.174%
書道学科	39	4.487	0.594	13.230%
歴史文化学科	42	4.500	0.588	13.057%
社会経済学科	114	4.474	0.678	15.158%
現代経済学科	110	4.527	0.614	13.554%
中国語学科	39	4.692	0.462	9.836%
英語学科	79	4.456	0.652	14.636%
日本語学科	24	4.625	0.696	15.048%
法律学科	134	4.463	0.719	16.116%
政治学科	102	4.461	0.589	13.196%
国際関係学科	35	4.286	0.740	17.256%
国際文化学科	30	4.633	0.657	14.189%
経営学科	157	4.382	0.719	16.398%
スポーツ科学科	60	4.500	0.847	18.812%
健康科学科	23	4.609	0.570	12.373%
看護学科	26	4.577	0.631	13.783%
社会学科	116	4.448	0.607	13.638%
<b>全学</b>	1,425	4.500	0.655	14.567%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	946	4.506	0.649
2	388	4.469	0.686
3	59	4.542	0.562
4	32	4.594	0.605

【全学共通科目（社会系）〈学生所属別〉】

Q 6「教員熱意」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.000%	0.800%	4.800%	32.800%	61.600%
中国文学科	0.000%	0.000%	0.000%	26.667%	73.333%
英米文学科	0.000%	0.000%	3.175%	34.921%	61.905%
教育学科	0.000%	0.000%	6.522%	26.087%	67.391%
書道学科	0.000%	0.000%	5.128%	41.026%	53.846%
歴史文化学科	0.000%	0.000%	4.762%	40.476%	54.762%
社会経済学科	0.877%	0.000%	5.263%	38.596%	55.263%
現代経済学科	0.000%	0.909%	3.636%	37.273%	58.182%
中国語学科	0.000%	0.000%	0.000%	30.769%	69.231%
英語学科	0.000%	1.266%	5.063%	40.506%	53.165%
日本語学科	0.000%	0.000%	12.500%	12.500%	75.000%
法律学科	0.000%	2.239%	6.716%	33.582%	57.463%
政治学科	0.000%	0.000%	4.902%	44.118%	50.980%
国際関係学科	0.000%	0.000%	17.143%	37.143%	45.714%
国際文化学科	0.000%	0.000%	10.000%	16.667%	73.333%
経営学科	0.000%	1.911%	8.280%	39.490%	50.318%
スポーツ科学科	0.000%	5.000%	8.333%	18.333%	68.333%
健康科学科	0.000%	0.000%	4.348%	30.435%	65.217%
看護学科	0.000%	0.000%	7.692%	26.923%	65.385%
社会学科	0.000%	0.000%	6.034%	43.103%	50.862%
<b>全学</b>	<b>0.070%</b>	<b>0.842%</b>	<b>6.035%</b>	<b>35.158%</b>	<b>57.895%</b>

【全学共通科目（社会系）〈学生所属別〉】

Q 6「教員熱意」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.106%	0.846%	5.391%	35.624%	58.034%
2	0.000%	1.031%	7.990%	34.021%	56.959%
3	0.000%	0.000%	3.390%	38.983%	57.627%
4	0.000%	0.000%	6.250%	28.125%	65.625%

Q7 この授業を通じて「知識が増えた」あるいは「ものごとの捉え方が深くなった」あるいは「技能が向上した」などの成長があったと思いますか。【成長感覚】

授業内容の認識に関する成長感覚の社会系科目の平均は 4.30 であった。「5 強く思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答分布割合の合計(平均 89.05%)が約 90%を示しており、学生が自身の成長感覚を高く評価していると言える。一方、「1 まったくそう思わ

ない」と「2 どちらかと言えばそう思わない」の回答分布割合の合計が 0.00%であったのは日本文学科、中国文学科、英米文学科、現代経済学科、中国語学科、国際文化学科、健康科学科の7学科であった。

変動係数をみると、国際関係学科 20.58%、日本語学科 20.56%、書道学科 20.06%の3学科は20%を超えて、社会系科目の平均値 16.40%を大きく上回っている。3学科に所属する学生における成長感覚は、他の学科と比較すると、相対的に認識のバラツキが大きくみえる。しかし、社会系科目の成長感覚を、他項目の質問(Q6を除く)及び他系列科目のQ7の変動係数と比較してみると、低い水準を示しており、社会系科目を履修している学生の成長感覚の格差は少なかったと言える。

### 【全学共通科目（社会系）〈学生所属別〉】

Q7「成長感覚」の学科別（左）および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	125	4.368	0.627	14.344%
中国文学科	15	4.467	0.499	11.169%
英米文学科	63	4.270	0.596	13.969%
教育学科	92	4.326	0.724	16.734%
書道学科	39	4.154	0.833	20.059%
歴史文化学科	42	4.310	0.740	17.163%
社会経済学科	114	4.254	0.814	19.144%
現代経済学科	110	4.327	0.662	15.300%
中国語学科	39	4.513	0.594	13.154%
英語学科	79	4.291	0.678	15.798%
日本語学科	24	4.208	0.865	20.555%
法律学科	134	4.269	0.714	16.728%
政治学科	102	4.343	0.602	13.866%
国際関係学科	35	4.086	0.841	20.579%
国際文化学科	30	4.333	0.699	16.136%
経営学科	157	4.312	0.704	16.315%
スポーツ科学科	60	4.267	0.834	19.547%
健康科学科	23	4.565	0.648	14.190%
看護学科	26	4.308	0.773	17.946%
社会学科	116	4.190	0.615	14.671%
<b>全学</b>	<b>1,425</b>	<b>4.298</b>	<b>0.705</b>	<b>16.400%</b>

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	946	4.280	0.719
2	388	4.314	0.684
3	59	4.390	0.638
4	32	4.438	0.609

【全学共通科目（社会系）〈学生所属別〉】

Q7「成長感覚」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.000%	0.000%	8.000%	47.200%	44.800%
中国文学科	0.000%	0.000%	0.000%	53.333%	46.667%
英米文学科	0.000%	0.000%	7.937%	57.143%	34.921%
教育学科	0.000%	2.174%	8.696%	43.478%	45.652%
書道学科	2.564%	0.000%	12.821%	48.718%	35.897%
歴史文化学科	0.000%	2.381%	9.524%	42.857%	45.238%
社会経済学科	1.754%	1.754%	7.895%	46.491%	42.105%
現代経済学科	0.000%	0.000%	10.909%	45.455%	43.636%
中国語学科	0.000%	0.000%	5.128%	38.462%	56.410%
英語学科	0.000%	1.266%	8.861%	49.367%	40.506%
日本語学科	0.000%	8.333%	4.167%	45.833%	41.667%
法律学科	0.000%	0.746%	13.433%	44.030%	41.791%
政治学科	0.000%	0.980%	3.922%	54.902%	40.196%
国際関係学科	0.000%	2.857%	22.857%	37.143%	37.143%
国際文化学科	0.000%	0.000%	13.333%	40.000%	46.667%
経営学科	0.000%	1.274%	10.191%	44.586%	43.949%
スポーツ科学科	0.000%	3.333%	15.000%	33.333%	48.333%
健康科学科	0.000%	0.000%	8.696%	26.087%	65.217%
看護学科	0.000%	3.846%	7.692%	42.308%	46.154%
社会学科	0.000%	0.862%	8.621%	61.207%	29.310%
<b>全学</b>	<b>0.211%</b>	<b>1.193%</b>	<b>9.544%</b>	<b>46.737%</b>	<b>42.316%</b>

【全学共通科目（社会系）〈学生所属別〉】

Q7「成長感覚」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.317%	1.480%	9.408%	47.463%	41.332%
2	0.000%	0.773%	10.309%	45.619%	43.299%
3	0.000%	0.000%	8.475%	44.068%	47.458%
4	0.000%	0.000%	6.250%	43.750%	50.000%

Q8 すべてを総合して、この授業に対してどの程度満足しましたか。10を「100%満足」、1を「10%満足」として10段階で最も近いと思われるものを選んでください。【総合満足】

総合満足の学科別の平均値は 8.22 であった。社会系科目の平均(8.22)は全科目全体の平均(8.35)と、人文系科目の平均(8.30)、自然系科目の平均(8.29)、保健体育系科目の平均(8.89)の3系列の中で最も低い水準であった。

満足度の高い10から8までの回答分布の割合合計(社会系の全体平均)をみると、71.62%で、社会系の科目に対して総合的に満足していると言える。中位の「7」から「5」の分布委割合の合計が26.69%で、全共科目の「7」から「5」の平均(23.98%)よりもやや高い数値であった。なお、満足度の低い1から3までの回答分布の割合合計(社会系の全体平均:0.56%)は全共科目の「1」から「3」の平均(0.94%)に比べても低い数値であった。

変動係数をみると、まず、変動係数の平均値(社会系:18.31%)を上回り、バラツキの大きさが示された学科は書道学科23.35%、日本語学科22.24%、法律学科22.21%、健康科学科21.30%、スポーツ科学科21.27%、経営学科19.54%、看護学科19.28%、英語学科19.08%の8学科であった。満足度が各点に分散しているとも言える。

変動係数が平均値以下で、10から8までの回答分布の割合合計が平均(71.62%)よりも高い結果を示したのは、日本文学科、中国文学科、教育学科、社会経済学科、現代経済学科、中国語学科、日本語学科、政治学科、国際文化学科、スポーツ科学科、看護学科の10学科であった。これらの学科は社会系の科目に対して満足度の高い学生が多いことを示している。

#### 【全学共通科目(社会系)〈学生所属別〉】

Q8「総合満足」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	125	8.328	1.419	17.034%
中国文学科	15	8.800	0.748	8.504%
英米文学科	63	8.175	1.304	15.948%
教育学科	91	8.286	1.477	17.828%
書道学科	39	8.103	1.892	23.349%
歴史文化学科	42	8.119	1.418	17.460%
社会経済学科	114	8.263	1.325	16.034%
現代経済学科	110	8.264	1.360	16.454%
中国語学科	38	8.921	1.285	14.406%
英語学科	79	8.076	1.541	19.079%
日本語学科	24	8.208	1.825	22.237%
法律学科	134	8.037	1.785	22.205%
政治学科	101	8.406	1.252	14.896%
国際関係学科	34	7.941	1.392	17.529%
国際文化学科	30	8.600	1.474	17.142%
経営学科	156	8.135	1.590	19.541%
スポーツ科学科	60	8.283	1.762	21.266%
健康科学科	23	7.870	1.676	21.298%
看護学科	26	8.538	1.646	19.280%
社会学科	116	8.017	1.345	16.781%
<b>全学</b>	1,420	8.223	1.506	18.313%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	943	8.180	1.539
2	387	8.287	1.426
3	58	8.500	1.329
4	32	8.219	1.672

【 全学共通科目（社会系）〈学生所属別〉】

Q8「総合満足」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
日本文学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.800%	4.000%	4.800%	17.600%	23.200%	24.000%	25.600%
中国文学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	40.000%	40.000%	20.000%
英米文学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	3.175%	4.762%	22.222%	33.333%	14.286%	22.222%
教育学科	0.000%	0.000%	0.000%	2.198%	3.297%	6.593%	12.088%	28.571%	21.978%	25.275%
書道学科	2.564%	0.000%	0.000%	0.000%	5.128%	7.692%	17.949%	20.513%	15.385%	30.769%
歴史文化学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	7.143%	4.762%	21.429%	19.048%	30.952%	16.667%
社会経済学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	2.632%	7.018%	17.544%	30.702%	18.421%	23.684%
現代経済学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	5.455%	4.545%	13.636%	33.636%	20.000%	22.727%
中国語学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	7.895%	7.895%	15.789%	21.053%	47.368%
英語学科	0.000%	0.000%	0.000%	1.266%	5.063%	10.127%	17.722%	24.051%	17.722%	24.051%
日本語学科	0.000%	0.000%	0.000%	8.333%	0.000%	12.500%	4.167%	25.000%	16.667%	33.333%
法律学科	0.000%	0.746%	2.239%	1.493%	4.478%	7.463%	17.164%	22.388%	17.164%	26.866%
政治学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.990%	3.960%	20.792%	29.703%	16.832%	27.723%
国際関係学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	2.941%	11.765%	26.471%	26.471%	11.765%	20.588%
国際文化学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	13.333%	13.333%	16.667%	13.333%	43.333%
経営学科	0.000%	1.282%	0.000%	0.641%	3.205%	8.333%	16.667%	29.487%	14.103%	26.282%
スポーツ科学科	1.667%	0.000%	0.000%	3.333%	3.333%	1.667%	8.333%	38.333%	11.667%	31.667%
健康科学科	0.000%	0.000%	0.000%	4.348%	8.696%	8.696%	8.696%	30.435%	21.739%	17.391%
看護学科	0.000%	0.000%	0.000%	3.846%	3.846%	0.000%	19.231%	15.385%	15.385%	42.308%
社会学科	0.000%	0.000%	0.000%	2.586%	1.724%	4.310%	25.862%	28.448%	22.414%	14.655%
全学	0.141%	0.211%	0.211%	1.127%	3.380%	6.338%	16.972%	27.324%	18.662%	25.634%

【 全学共通科目（社会系）〈学生所属別〉】

Q8「総合満足」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	0.212%	0.106%	0.212%	1.485%	4.030%	5.832%	17.603%	27.572%	17.391%	25.557%
2	0.000%	0.517%	0.000%	0.517%	2.326%	6.718%	16.537%	27.390%	21.189%	24.806%
3	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	1.724%	6.897%	13.793%	25.862%	20.690%	31.034%
4	0.000%	0.000%	3.125%	0.000%	0.000%	15.625%	9.375%	21.875%	21.875%	28.125%

【クロス表に関する結果(社会系)】

社会系科目を履修している学生の授業認識に対する「教員熱意と学生熱意」とのクロス表(表1:回答数、表2:パーセント)では、それぞれの行で最も高い数値を赤字で示している。また、右端の列(4+5)に4「どちらかと言えばそう思う」と5「強くそう思う」の割合を計算した数字を記載している。尚、4と5の合計はローデータに基づいて計算しているため、表では100分の1の誤差が生じる場合がある。

この回答数を示した表1に注目すると、教員熱意が向上すればするほど、右側の数字が高くなっていることが見てとれる。まず、右端の列の数字(赤字:0→1→24→357→652)から、教員熱意が向上すればするほど、その数値が上がっていくことが顕著になる。

次に、教員熱意と学生意欲とのクロスチェック数値(0→3→52→334→326)も互いに上昇していることを確認できるが、2025年度前期に比べると回答数は減少している。いずれにしても、この結果から、学生が教員熱意を感じるようになると、自分意欲を強く感じるようになっていくことがわかる。

表 1

●【全学共通科目(社会系)(学生所属別)】クロス集計(【学生意欲】×【教員熱意】)【回答数】

	学生意欲					合計	4+5	
	1 まったくそう思わない	2 どちらかと言えばそう思わない	3 どちらとも言えない	4 どちらかと言えばそう思う	5 強くそう思う			
教員熱意	1 まったくそう思わない	0	0	1	0	0	1	0
	2 どちらかと言えばそう思わない	1	3	7	0	1	12	1
	3 どちらとも言えない	1	9	52	20	4	86	24
	4 どちらかと言えばそう思う	2	27	115	334	23	501	357
	5 強くそう思う	5	20	62	326	326	739	652
合計	9	59	237	680	354	1,339	1,034	

表 2

●【全学共通科目(社会系)(学生所属別)】クロス集計(【学生意欲】×【教員熱意】)【パーセント】

	学生意欲					合計	4+5	
	1 まったくそう思わない	2 どちらかと言えばそう思わない	3 どちらとも言えない	4 どちらかと言えばそう思う	5 強くそう思う			
教員熱意	1 まったくそう思わない	0.000%	0.000%	100.000%	0.000%	0.000%	100.000%	0.000%
	2 どちらかと言えばそう思わない	8.333%	25.000%	58.333%	0.000%	8.333%	100.000%	8.333%
	3 どちらとも言えない	1.163%	10.465%	60.465%	23.256%	4.651%	100.000%	27.907%
	4 どちらかと言えばそう思う	0.399%	5.389%	22.954%	66.667%	4.591%	100.000%	71.257%
	5 強くそう思う	0.677%	2.706%	8.390%	44.114%	44.114%	100.000%	88.227%

### 【相関係数表に関する結果(社会系)】

相関係数に関しては、+0.3以上+0.6未満(-0.3~-0.6)で弱い正(負)の相関関係、+0.6以上+1未満(-0.6~-1)で強い正(負)の相関関係があると解釈できる。当該相関係数表では、弱い正の相関関係を青字、強い正の相関関係を赤字でそれぞれ記す。分析の結果、「難易度が適切かどうか」に関わるもの以外の変数(項目)に関して、正の相関関係がみられた。

まず、「総合満足」に対する社会系科目を履修している学生は、特に「成長感覚」との間に強い正の相関関係 0.60 がみられ、正の相関関係の順に「学生意欲 0.52」「教員熱意 0.51」「シラバス通り 0.41」「FB 丁寧 0.36」となっている。しかし、この係数は2025年度前期に比べて低くなっている。この結果は、「総合満足度」の向上は、成長感覚を持てるかどうか、最も強く影響することを示している。

次に、「成長感覚」との相関関係を順に見ていくと、「教員熱意」との間に弱い正の相関関係 0.56 がみられた。その後は正の相関関係順に、「学生意欲 0.55」「シラバス通り 0.41」「FB 丁寧 0.34」と続く。つまり、「成長感覚」の向上は、教員の熱意があるかどうかが強くと影響することを示している。

「難易度が適切かどうか」に関しては、相関係数表に基づくと、すべての項目間で相関関

係がみられない。

まとめると、「教員熱意」が学生の「成長感覚」を促し、「成長感覚」が「総合満足度」に影響を与える強い相関関係が示された。また、「教員熱意」が学生の「成長感覚」を向上させるという弱い正の相関関係も確認することができた。

●【全学共通科目（社会系）〈学生所属別〉】相関係数表

		Q1b	Q2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8
		【シラパス通り】	【難易度適切】	【FB丁寧】	【学生意欲】	【教員熱意】	【成長感覚】	【総合満足】
Q1b	【シラパス通り】	1.000						
Q2	【難易度適切】	0.013	1.000					
Q4	【FB丁寧】	0.378	0.171	1.000				
Q5	【学生意欲】	0.369	-0.007	0.366	1.000			
Q6	【教員熱意】	0.419	0.059	0.385	0.445	1.000		
Q7	【成長感覚】	0.413	-0.008	0.337	0.554	0.560	1.000	
Q8	【総合満足】	0.407	-0.122	0.360	0.519	0.506	0.595	1.000

### 【全学共通科目（自然系）（学生所属別）】

自然系科目の回答率28.62%であり、全共科目全体の回答率34.28%よりも低かった。そのなかで、回答率が20%以下の学科が4学科あり（英語学科19.79%、日本語学科17.39%、国際関係学科17.07%、英米文学科14.61%）、学科間の相違が顕著であった。

### 【全学共通科目（自然系）〈学生所属別〉】

学科別（左）および学年別（右）回答率

学科 / 部局	回答数	未回答数	合計	回答率
日本文学科	49	52	101	48.515%
中国文学科	4	11	15	26.667%
英米文学科	13	76	89	14.607%
教育学科	19	42	61	31.148%
書道学科	13	11	24	54.167%
歴史文化学科	12	13	25	48.000%
社会経済学科	49	123	172	28.488%
現代経済学科	48	99	147	32.653%
中国語学科	24	77	101	23.762%
英語学科	19	77	96	19.792%
日本語学科	4	19	23	17.391%
法律学科	22	46	68	32.353%
政治学科	17	46	63	26.984%
国際関係学科	7	34	41	17.073%
国際文化学科	6	24	30	20.000%
経営学科	68	234	302	22.517%
スポーツ科学科	18	18	36	50.000%
健康科学科	18	24	42	42.857%
看護学科	4	15	19	21.053%
社会学科	21	44	65	32.308%
<b>全学</b>	<b>435</b>	<b>1,085</b>	<b>1,520</b>	<b>28.618%</b>

学年	回答数	未回答数	合計	回答率
1	207	476	683	30.307%
2	199	510	709	28.068%
3	17	56	73	23.288%
4	12	43	55	21.818%

### Q1a あなたはこの授業のシラバス内容を知っていますか。【シラバス既知】

自然系科目のシラバス既知率は83.18%と、全共科目全体81.97%よりもやや高い数値となった。中国文学科、日本語学科、国際関係学科、国際文化学科の既知率が100%となっているが、回答者数が10名以下の少人数であり、この点は留意が必要である。

【全学共通科目（自然系）〈学生所属別〉】

Q 1a「シラバス既知」の学科別（左）および学年別（右）回答

（1「いいえ（あまりよく）知りません」/ 2「はい（おおそ）知っています」）

学科 / 部局	1	2
日本文学科	10.204%	89.796%
中国文学科	0.000%	100.000%
英米文学科	15.385%	84.615%
教育学科	26.316%	73.684%
書道学科	21.429%	78.571%
歴史文化学科	16.667%	83.333%
社会経済学科	8.163%	91.837%
現代経済学科	16.327%	83.673%
中国語学科	29.167%	70.833%
英語学科	26.316%	73.684%
日本語学科	0.000%	100.000%
法律学科	9.091%	90.909%
政治学科	11.111%	88.889%
国際関係学科	0.000%	100.000%
国際文化学科	0.000%	100.000%
経営学科	17.391%	82.609%
スポーツ科学科	27.778%	72.222%
健康科学科	21.053%	78.947%
看護学科	50.000%	50.000%
社会学科	28.571%	71.429%
<b>全学</b>	<b>16.818%</b>	<b>83.182%</b>

学年	1	2
1	18.182%	81.818%
2	16.832%	83.168%
3	11.765%	88.235%
4	0.000%	100.000%

Q1b この授業はシラバスの記述通りに行われたと思いますか。【シラバス通り】

学科別回答分布は、「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答分布割合の合計が 94.15%であった。シラバス記述に対する評価の平均は 4.45 であった。全共科目全体の平均 4.40 と比べても大差はない。

「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答割合の合計が 100.00%を示しているのは、中国文学科、教育学科、歴史文化学科、英語学科、国際関係学科、国際文化学科、健康科学科、社会学科の 8 学科であった。また、この 8 学科を含む 15 学科は「1 まったくそう思わない」と「2 どちらかと言えばそう思わない」の割合合計が 0.00%であった。

看護学科は「4 と 5」の回答分布割合の合計が 66.67%で、他学科に比べて最も低かったが、「3 どちらとも言えない」は逆に 20 学科中で最も高い数値となった。「1 まったくそう思わない」と「2 どちらかと言えばそう思わない」の分布割合の合計が 0.00%であった。「3 どちらとも言えない」の割合合計(33.33%)は 20 学科のなかで最も高い割合を示している。以上のように、両極端に偏る結果を得ているので、留意が必要である。

変動係数をみると、他の質問項目に比べても係数が最も低く、学科間の格差は小さい(平

均：14.75%)。ただし、教育学科(9.89%)と国際関係学科(7.20%)は平均値と比較して大幅に低く、日本語学科(19.25%)と看護学科(20.41%)は非常に高い数値を表している。

【全学共通科目（自然系）〈学生所属別〉】

Q 1b「シラバス通り」の学科別（左）および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	45	4.378	0.708	16.180%
中国文学科	4	4.500	0.500	11.111%
英米文学科	13	4.462	0.746	16.716%
教育学科	16	4.688	0.464	9.888%
書道学科	13	4.462	0.634	14.218%
歴史文化学科	10	4.400	0.490	11.134%
社会経済学科	46	4.543	0.713	15.702%
現代経済学科	45	4.289	0.619	14.434%
中国語学科	19	4.421	0.815	18.443%
英語学科	15	4.600	0.490	10.650%
日本語学科	4	4.500	0.866	19.245%
法律学科	21	4.524	0.587	12.978%
政治学科	18	4.444	0.598	13.463%
国際関係学科	7	4.857	0.350	7.204%
国際文化学科	6	4.500	0.500	11.111%
経営学科	59	4.424	0.694	15.685%
スポーツ科学科	16	4.313	0.682	15.810%
健康科学科	17	4.529	0.499	11.020%
看護学科	3	4.000	0.816	20.412%
社会学科	16	4.438	0.496	11.179%
<b>全学</b>	<b>393</b>	<b>4.450</b>	<b>0.656</b>	<b>14.747%</b>

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	184	4.457	0.674
2	180	4.433	0.642
3	17	4.294	0.666
4	12	4.833	0.373

【全学共通科目（自然系）〈学生所属別〉】

Q 1b「シラバス通り」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.000%	2.222%	6.667%	42.222%	48.889%
中国文学科	0.000%	0.000%	0.000%	50.000%	50.000%
英米文学科	0.000%	0.000%	15.385%	23.077%	61.538%
教育学科	0.000%	0.000%	0.000%	31.250%	68.750%
書道学科	0.000%	0.000%	7.692%	38.462%	53.846%
歴史文化学科	0.000%	0.000%	0.000%	60.000%	40.000%
社会経済学科	2.174%	0.000%	0.000%	36.957%	60.870%
現代経済学科	0.000%	2.222%	2.222%	60.000%	35.556%
中国語学科	0.000%	5.263%	5.263%	31.579%	57.895%
英語学科	0.000%	0.000%	0.000%	40.000%	60.000%
日本語学科	0.000%	0.000%	25.000%	0.000%	75.000%
法律学科	0.000%	0.000%	4.762%	38.095%	57.143%
政治学科	0.000%	0.000%	5.556%	44.444%	50.000%
国際関係学科	0.000%	0.000%	0.000%	14.286%	85.714%
国際文化学科	0.000%	0.000%	0.000%	50.000%	50.000%
経営学科	0.000%	1.695%	6.780%	38.983%	52.542%
スポーツ科学科	0.000%	0.000%	12.500%	43.750%	43.750%
健康科学科	0.000%	0.000%	0.000%	47.059%	52.941%
看護学科	0.000%	0.000%	33.333%	33.333%	33.333%
社会学科	0.000%	0.000%	0.000%	56.250%	43.750%
<b>全学</b>	<b>0.254%</b>	<b>1.018%</b>	<b>4.580%</b>	<b>41.730%</b>	<b>52.417%</b>

【全学共通科目（自然系）〈学生所属別〉】

Q 1b「シラバス通り」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.543%	1.087%	3.804%	41.304%	53.261%
2	0.000%	1.111%	5.000%	43.333%	50.556%
3	0.000%	0.000%	11.765%	47.059%	41.176%
4	0.000%	0.000%	0.000%	16.667%	83.333%

Q2 自分にとってこの授業の難易度は適切だったと思いますか。【難易度適切】

授業内容の難易度に対する認識について、自然系科目を履修している学生の所属学科別の評価平均値は 3.69 であった(全共科目平均：3.49)。

「5 とても難しかった」と「4 やや難しかった」の回答分布の割合合計は 58.86%で、最小 25.00%(中国文学科)から最大 85.71%(書道学科)の間に分布している。これに対して、「1 と

でも易しかった」と「2 やや易しかった」の分布割合の合計は、13 学科が 0.00%であったが、7 学科は教育学科 10.53%、社会経済学科 6.12%、スポーツ科学科 5.56%、法律学科 4.55%、現代経済学科 4.05%、経営学科 2.90%、日本文学科 2.04%であった。

授業の難易度に対する認識は、全共科目全体とはどの学科もほぼ同じような傾向を示すが、自然系科目に限定すると、次のような特徴が見られた。

全共科目全体の回答分布と比較すると、「4 やや難しかった」の回答分布が多く、学科間の相違が顕著となった。授業を難しいと認識する層（「4」と「5」の分布割合）を全学共通科目の全体と比較してみると、その分布割合が大幅に増えているのは、英米文学科（全共全体 42.21%→自然系 84.62%）、書道学科（47.83%→85.71%）、歴史文化学科（30.53%→58.33%）、日本語学科（42.68%→75.00%）、法律学科（44.48%→68.18%）、国際関係学科（45.88%→71.43%）、国際文化学科（45.24%→66.67%）、看護学科（39.18%→75.00%）の 8 学科であった。この 8 学科の「3」の回答分布割合は、全共科目の「3」の分布割合と比較すると、大幅に減少していた。つまり、回答分布割合が「3」から「4と5」へシフトしたことを意味する。

これは、自然系科目を履修している多くの学生が所属学科にかかわらず、授業内容を難しいと認識していることになる。変動係数をみると、日本文学科、教育学科、社会経済学科、スポーツ科学科は平均よりも高い数値を示しているが、これは易しいと捉える「1と2」の層がいるからである。これ以外の 16 学科は変動係数が平均よりも低い数値であるが、「3と4」、若しくは「4と5」の層に偏っているからである。全共全体の「1と2」の分布割合の合計が 4.11%、自然系科目の「1と2」の分布割合の合計が 2.73%であることからみても、自然系科目を難しいと捉える学生が多いことわかる。「1と2」の分布割合の合計は、教育学科が 10.53%、社会経済学科 6.12%、スポーツ科学科が 5.56%と 5.00%を超えている。自然系科目の受け止め方に学科の相違が出ていると言える。

授業難易度における認識の相違および格差が、変動係数から確認できる。変動係数の平均値(20.18%)を上回っているのは日本文学科、教育学科、社会経済学科、スポーツ科学科の 4 学科で、これ以外の 16 学科は平均を下回っている。バラツキが小さいとはいえ、授業内容を難しいと捉える学生の認識に偏っており、留意が必要だろう。

【全学共通科目（自然系）〈学生所属別〉】

Q 2「難易度適切」の学科別（左）および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	49	3.694	0.761	20.613%
中国文学科	4	3.250	0.433	13.323%
英米文学科	13	4.231	0.697	16.464%
教育学科	19	3.684	0.862	23.387%
書道学科	14	3.929	0.457	11.642%
歴史文化学科	12	3.667	0.624	17.008%
社会経済学科	49	3.551	0.810	22.801%
現代経済学科	49	3.490	0.643	18.419%
中国語学科	24	3.875	0.781	20.145%
英語学科	19	3.895	0.718	18.430%
日本語学科	4	4.250	0.829	19.510%
法律学科	22	3.682	0.631	17.151%
政治学科	18	3.667	0.667	18.182%
国際関係学科	7	3.857	0.639	16.563%
国際文化学科	6	3.667	0.471	12.856%
経営学科	69	3.710	0.744	20.055%
スポーツ科学科	18	3.444	0.762	22.115%
健康科学科	19	3.526	0.678	19.230%
看護学科	4	4.250	0.829	19.510%
社会学科	21	3.762	0.750	19.934%
<b>全学</b>	<b>440</b>	<b>3.691</b>	<b>0.745</b>	<b>20.175%</b>

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	209	3.742	0.758
2	202	3.644	0.726
3	17	3.824	0.706
4	12	3.417	0.759

【全学共通科目（自然系）〈学生所属別〉】

Q2「難易度適切」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.000%	2.041%	42.857%	38.776%	16.327%
中国文学科	0.000%	0.000%	75.000%	25.000%	0.000%
英米文学科	0.000%	0.000%	15.385%	46.154%	38.462%
教育学科	0.000%	10.526%	26.316%	47.368%	15.789%
書道学科	0.000%	0.000%	14.286%	78.571%	7.143%
歴史文化学科	0.000%	0.000%	41.667%	50.000%	8.333%
社会経済学科	2.041%	4.082%	40.816%	42.857%	10.204%
現代経済学科	0.000%	4.082%	46.939%	44.898%	4.082%
中国語学科	0.000%	0.000%	37.500%	37.500%	25.000%
英語学科	0.000%	0.000%	31.579%	47.368%	21.053%
日本語学科	0.000%	0.000%	25.000%	25.000%	50.000%
法律学科	0.000%	4.545%	27.273%	63.636%	4.545%
政治学科	0.000%	0.000%	44.444%	44.444%	11.111%
国際関係学科	0.000%	0.000%	28.571%	57.143%	14.286%
国際文化学科	0.000%	0.000%	33.333%	66.667%	0.000%
経営学科	0.000%	2.899%	37.681%	44.928%	14.493%
スポーツ科学科	5.556%	0.000%	38.889%	55.556%	0.000%
健康科学科	0.000%	0.000%	57.895%	31.579%	10.526%
看護学科	0.000%	0.000%	25.000%	25.000%	50.000%
社会学科	0.000%	0.000%	42.857%	38.095%	19.048%
<b>全学</b>	<b>0.455%</b>	<b>2.273%</b>	<b>38.409%</b>	<b>45.455%</b>	<b>13.409%</b>

【全学共通科目（自然系）〈学生所属別〉】

Q2「難易度適切」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.478%	2.871%	33.493%	48.325%	14.833%
2	0.495%	1.485%	43.069%	43.069%	11.881%
3	0.000%	0.000%	35.294%	47.059%	17.647%
4	0.000%	8.333%	50.000%	33.333%	8.333%

Q3 あなたはこの授業で教員に授業に関連して質問したことがありますか。【質問対応】

全共科目全体と同様の傾向が見られるが、看護学科の「2 質問したことがある」の回答割合が他の学科に比べて相対的に高く、25.00%であった(平均：10.35%)。ただし、回答者数は5名未満であった。

中国文学科、日本語学科、社会学科は「2 はい、あります」の回答率が0.00%であった。

【全学共通科目（自然系）〈学生所属別〉】

Q3「質問対応」の学科別（左）および学年別（右）回答

（1「いいえ、したことはありません」/ 2「はい、あります」）

学科 / 部局	1	2
日本文学科	97.959%	2.041%
中国文学科	100.000%	0.000%
英米文学科	91.667%	8.333%
教育学科	77.778%	22.222%
書道学科	92.857%	7.143%
歴史文化学科	91.667%	8.333%
社会経済学科	89.583%	10.417%
現代経済学科	95.918%	4.082%
中国語学科	83.333%	16.667%
英語学科	89.474%	10.526%
日本語学科	100.000%	0.000%
法律学科	85.714%	14.286%
政治学科	88.235%	11.765%
国際関係学科	85.714%	14.286%
国際文化学科	83.333%	16.667%
経営学科	85.507%	14.493%
スポーツ科学科	88.889%	11.111%
健康科学科	78.947%	21.053%
看護学科	75.000%	25.000%
社会学科	100.000%	0.000%
<b>全学</b>	<b>89.655%</b>	<b>10.345%</b>

学年	1	2
1	87.379%	12.621%
2	91.000%	9.000%
3	100.000%	0.000%
4	91.667%	8.333%

Q4 質問に対する教員の対応が適切だったと思いますか。【フィードバック】

自然系科目のフィードバック評価は4.06(全学平均)であった。

「5強くそう思う」と「4どちらかと言えばそう思う」の回答分布割合の合計は69.93%(自然系科目の平均)で、学生が教員の対応を概ね評価していると言える。この回答分布割合の合計は保健体育科目系に次いで高い数値であった。とはいえ、回答した学生数が非常に少ないため(つまり、質問したことのある学生が少ない)、この点には留意が必要である。

「5」の回答分布割合が高い学科は、日本文学科、教育学科、歴史文化学科、社会経済学科、中国語学科、英語学科、政治学科、経営学科の8学科であった。

変動係数が平均(24.76%)よりも高いのは中国文学科、英米文学科、歴史文化学科、社会経済学科、現代経済学科、中国語学科、日本語学科、国際関係学科、国際文化学科、看護学科、社会学科の11学科であった。

ただし、Q3で質問したことがある学生が0.00%であった中国文学科、日本語学科、社会学科の3学科がQ4で質問対応について回答しているのは矛盾するため、この結果については言及しない。

【全学共通科目（自然系）〈学生所属別〉】

Q4「フィードバック」の学科別（左）および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	7	4.286	0.881	20.548%
中国文学科	2	4.000	1.000	25.000%
英米文学科	4	4.000	1.000	25.000%
教育学科	9	4.444	0.831	18.708%
書道学科	8	3.750	0.661	17.638%
歴史文化学科	4	4.000	1.000	25.000%
社会経済学科	20	4.100	1.261	30.755%
現代経済学科	17	3.647	0.967	26.503%
中国語学科	7	3.857	1.125	29.163%
英語学科	7	4.714	0.452	9.583%
日本語学科	2	4.500	0.500	11.111%
法律学科	9	4.000	0.816	20.412%
政治学科	6	4.667	0.471	10.102%
国際関係学科	2	4.000	1.000	25.000%
国際文化学科	2	4.500	0.500	11.111%
経営学科	27	4.148	1.008	24.288%
スポーツ科学科	7	4.286	0.700	16.330%
健康科学科	6	3.667	0.745	20.328%
看護学科	2	4.000	1.000	25.000%
社会学科	5	3.000	1.095	36.515%
<b>全学</b>	153	4.059	1.005	24.756%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	80	3.988	1.066
2	68	4.103	0.926
3	2	5.000	0.000
4	3	4.333	0.943

【全学共通科目（自然系）〈学生所属別〉】

Q4「フィードバック」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.000%	0.000%	28.571%	14.286%	57.143%
中国文学科	0.000%	0.000%	50.000%	0.000%	50.000%
英米文学科	0.000%	0.000%	50.000%	0.000%	50.000%
教育学科	0.000%	0.000%	22.222%	11.111%	66.667%
書道学科	0.000%	0.000%	37.500%	50.000%	12.500%
歴史文化学科	0.000%	0.000%	50.000%	0.000%	50.000%
社会経済学科	10.000%	0.000%	15.000%	20.000%	55.000%
現代経済学科	5.882%	0.000%	35.294%	41.176%	17.647%
中国語学科	0.000%	14.286%	28.571%	14.286%	42.857%
英語学科	0.000%	0.000%	0.000%	28.571%	71.429%
日本語学科	0.000%	0.000%	0.000%	50.000%	50.000%
法律学科	0.000%	0.000%	33.333%	33.333%	33.333%
政治学科	0.000%	0.000%	0.000%	33.333%	66.667%
国際関係学科	0.000%	0.000%	50.000%	0.000%	50.000%
国際文化学科	0.000%	0.000%	0.000%	50.000%	50.000%
経営学科	3.704%	0.000%	22.222%	25.926%	48.148%
スポーツ科学科	0.000%	0.000%	14.286%	42.857%	42.857%
健康科学科	0.000%	0.000%	50.000%	33.333%	16.667%
看護学科	0.000%	0.000%	50.000%	0.000%	50.000%
社会学科	20.000%	0.000%	40.000%	40.000%	0.000%
<b>全学</b>	<b>3.268%</b>	<b>0.654%</b>	<b>26.144%</b>	<b>26.797%</b>	<b>43.137%</b>

【全学共通科目（自然系）〈学生所属別〉】

Q4「フィードバック」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	5.000%	1.250%	23.750%	30.000%	40.000%
2	1.471%	0.000%	29.412%	25.000%	44.118%
3	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	100.000%
4	0.000%	0.000%	33.333%	0.000%	66.667%

Q5 あなたはこの授業に対して意欲／熱意をもって取り組んだと思いますか。【学生意欲】

学生の授業の意欲と熱意に対する認識評価は 4.06 であった。この結果は全共科目の平均 (4.09) と、ほぼ同じ数値となっており、学生は授業に対する高い意欲と熱意を持って取り組んでいると言える。

「5 強く思う」と「4 どちらかと言えば思う」の回答分布割合の合計をみると、ほ

ば 8 割(平均：79.77%) を示し、全共科目の「5」と「4」の回答分布割合の合計 81.87%と比べるとやや低い数値であった。「5 と 4」の分布割合の合計が平均(79.77%)を上回るのは、英米文学科、現代経済学科、英語学科、日本語学科、法律学科、政治学科、国際関係学科、健康科学科、看護学科の 9 学科であった。日本語学科、国際関係学科、看護学科の 3 学科は「5」と「4」の回答分布割合が 100.00%であった。

「5」の回答分布をみる限りは、全共科目全体の「5」の分布割合(30.72%)を上回ったのは日本文学科、英米文学科、歴史文化学科、英語学科、日本語学科、法律学科、健康科学科、社会学科の 8 学科であった。「4」の回答分布に限ると、英米文学科、書道学科、現代経済学科、英語学科、政治学科、国際関係学科、スポーツ科学科、健康科学科、看護学科の 9 学科が全共科目全体の「4」の分布割合(51.15%)を上回った。「3 どちらとも言えない」は、日本文学科、中国文学科、英米文学科、教育学科、書道学科、歴史文化学科、社会経済学科、現代経済学科、中国語学科、法律学科、政治学科、国際文化学科、経営学科、スポーツ科学科、社会学科の 15 学科が全学共通科目全体の「3」の分布割合(14.74%)を上回っている。

日本語学科・国際関係学科・看護学科の 3 学科は「3」の回答分布割合が 0.00%であった。減少分が日本語学科は「5」へ、国際関係学科と看護学科は「4」へ、それぞれシフトしていた。つまり、学生自身の意欲や熱意を高く評価する方にシフトした。「3」の回答分布割合が全共科目全体の「3」の分布割合(14.74%)と比較して、英語学科、日本語学科、国際関係学科、健康科学科、看護学科の 5 学科が下回っており、このうち、日本語学科、国際関係学科、看護学科の 3 学科は 0.00%であった。ここでも意欲の高い方へとシフトしている。これは変動係数の低さにも表われている。ただし、歴史文化学科と中国語学科は「2」の分布割合が 8.33%を示しており、回答分布のバラツキにつながっている。

自然系科目を履修している学生の多くが所属学科に関わらず、意欲的に取り組んだことがわかる。

【全学共通科目（自然系）〈学生所属別〉】

Q 5「学生意欲」の学科別（左）および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	49	4.102	0.763	18.589%
中国文学科	4	3.750	0.829	22.111%
英米文学科	13	4.154	0.662	15.930%
教育学科	19	4.000	0.725	18.137%
書道学科	14	4.000	0.655	16.366%
歴史文化学科	12	4.000	0.913	22.822%
社会経済学科	49	4.020	0.845	21.015%
現代経済学科	49	4.041	0.605	14.965%
中国語学科	24	3.833	0.850	22.170%
英語学科	19	4.105	0.788	19.188%
日本語学科	4	4.750	0.433	9.116%
法律学科	22	4.136	0.694	16.774%
政治学科	18	4.056	0.621	15.316%
国際関係学科	7	4.286	0.452	10.541%
国際文化学科	6	3.833	0.687	17.927%
経営学科	70	4.057	0.772	19.040%
スポーツ科学科	18	3.944	0.780	19.769%
健康科学科	19	4.211	0.614	14.577%
看護学科	4	4.250	0.433	10.189%
社会学科	20	4.150	0.792	19.088%
<b>全学</b>	<b>440</b>	<b>4.059</b>	<b>0.748</b>	<b>18.438%</b>

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	209	4.062	0.719
2	202	4.050	0.769
3	17	3.882	0.832
4	12	4.417	0.640

【全学共通科目（自然系）〈学生所属別〉】

Q5「学生意欲」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.000%	2.041%	18.367%	46.939%	32.653%
中国文学科	0.000%	0.000%	50.000%	25.000%	25.000%
英米文学科	0.000%	0.000%	15.385%	53.846%	30.769%
教育学科	0.000%	0.000%	26.316%	47.368%	26.316%
書道学科	0.000%	0.000%	21.429%	57.143%	21.429%
歴史文化学科	0.000%	8.333%	16.667%	41.667%	33.333%
社会経済学科	0.000%	6.122%	16.327%	46.939%	30.612%
現代経済学科	0.000%	0.000%	16.327%	63.265%	20.408%
中国語学科	0.000%	8.333%	20.833%	50.000%	20.833%
英語学科	0.000%	5.263%	10.526%	52.632%	31.579%
日本語学科	0.000%	0.000%	0.000%	25.000%	75.000%
法律学科	0.000%	0.000%	18.182%	50.000%	31.818%
政治学科	0.000%	0.000%	16.667%	61.111%	22.222%
国際関係学科	0.000%	0.000%	0.000%	71.429%	28.571%
国際文化学科	0.000%	0.000%	33.333%	50.000%	16.667%
経営学科	0.000%	2.857%	18.571%	48.571%	30.000%
スポーツ科学科	0.000%	5.556%	16.667%	55.556%	22.222%
健康科学科	0.000%	0.000%	10.526%	57.895%	31.579%
看護学科	0.000%	0.000%	0.000%	75.000%	25.000%
社会学科	0.000%	0.000%	25.000%	35.000%	40.000%
<b>全学</b>	0.000%	2.500%	17.727%	51.136%	28.636%

【全学共通科目（自然系）〈学生所属別〉】

Q5「学生意欲」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.000%	1.914%	17.225%	53.589%	27.273%
2	0.000%	2.970%	18.317%	49.505%	29.208%
3	0.000%	5.882%	23.529%	47.059%	23.529%
4	0.000%	0.000%	8.333%	41.667%	50.000%

Q6 教員は熱意をもってこの授業を行ったと思いますか。【教員熱意】

「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答分布割合の合計が 90% 超えており(90.23%)、学生は教員熱意に対する認識を高く評価していると言える。教員熱意の平均は 4.48(自然系)であった。

特に、学科別回答分布の「1」は全ての学科が 0.00% を示しており、「2」においても日本文

学科 4.08%、現代経済学科 2.04%、経営学科 2.90%、社会学科 4.76%の 4 学以外は 0.00%であった。この結果からも、教員熱意を評価する学生の割合が高いと判断できる。

【全学共通科目（自然系）〈学生所属別〉】

Q 6「教員熱意」の学科別（左）および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	49	4.571	0.808	17.678%
中国文学科	4	4.250	0.829	19.510%
英米文学科	13	4.538	0.634	13.977%
教育学科	19	4.526	0.595	13.155%
書道学科	14	4.429	0.623	14.061%
歴史文化学科	12	4.583	0.640	13.966%
社会経済学科	49	4.592	0.668	14.538%
現代経済学科	49	4.408	0.668	15.144%
中国語学科	24	4.417	0.702	15.898%
英語学科	19	4.579	0.591	12.902%
日本語学科	4	5.000	0.000	0.000%
法律学科	22	4.455	0.782	17.556%
政治学科	18	4.278	0.803	18.775%
国際関係学科	7	4.571	0.495	10.825%
国際文化学科	6	4.333	0.745	17.201%
経営学科	69	4.449	0.772	17.340%
スポーツ科学科	18	4.444	0.497	11.180%
健康科学科	19	4.368	0.666	15.240%
看護学科	4	4.500	0.500	11.111%
社会学科	21	4.333	0.713	16.447%
<b>全学</b>	<b>440</b>	<b>4.475</b>	<b>0.707</b>	<b>15.791%</b>

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	209	4.493	0.671
2	202	4.416	0.761
3	17	4.824	0.381
4	12	4.667	0.471

【全学共通科目（自然系）〈学生所属別〉】

Q6「教員熱意」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.000%	4.082%	8.163%	14.286%	73.469%
中国文学科	0.000%	0.000%	25.000%	25.000%	50.000%
英米文学科	0.000%	0.000%	7.692%	30.769%	61.538%
教育学科	0.000%	0.000%	5.263%	36.842%	57.895%
書道学科	0.000%	0.000%	7.143%	42.857%	50.000%
歴史文化学科	0.000%	0.000%	8.333%	25.000%	66.667%
社会経済学科	0.000%	0.000%	10.204%	20.408%	69.388%
現代経済学科	0.000%	2.041%	4.082%	44.898%	48.980%
中国語学科	0.000%	0.000%	12.500%	33.333%	54.167%
英語学科	0.000%	0.000%	5.263%	31.579%	63.158%
日本語学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	100.000%
法律学科	0.000%	0.000%	18.182%	18.182%	63.636%
政治学科	0.000%	0.000%	22.222%	27.778%	50.000%
国際関係学科	0.000%	0.000%	0.000%	42.857%	57.143%
国際文化学科	0.000%	0.000%	16.667%	33.333%	50.000%
経営学科	0.000%	2.899%	8.696%	28.986%	59.420%
スポーツ科学科	0.000%	0.000%	0.000%	55.556%	44.444%
健康科学科	0.000%	0.000%	10.526%	42.105%	47.368%
看護学科	0.000%	0.000%	0.000%	50.000%	50.000%
社会学科	0.000%	4.762%	0.000%	52.381%	42.857%
<b>全学</b>	0.000%	1.364%	8.409%	31.591%	58.636%

【全学共通科目（自然系）〈学生所属別〉】

Q6「教員熱意」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.000%	0.957%	7.177%	33.493%	58.373%
2	0.000%	1.980%	10.891%	30.693%	56.436%
3	0.000%	0.000%	0.000%	17.647%	82.353%
4	0.000%	0.000%	0.000%	33.333%	66.667%

Q7 この授業を通じて「知識が増えた」あるいは「ものごとの捉え方が深くなった」あるいは「技能が向上した」などの成長があったと思いますか。【成長感覚】

成長感覚の学科別の平均値は4.34(自然系)であった。「5強く思う」と「4どちらかと言えばそう思う」の回答分布の割合合計(自然系平均：88.61%)は90%に近い数値を示しており、学生が自身の成長感覚を高く評価していると言える。ただし、国際文化学科と英語学

科の「4 と 5」の回答分布割合が自然系科目の平均 88.61%に比べて、大幅に低く 66.67%と 73.68%であった。

「1 まったくそう思わない」と「2 どちらかと言えばそう思わない」の分布割合の合計は、日本文学科 2.04%、教育学科 5.26%、歴史文化学科 8.33%、社会経済学科 2.04%、現代経済学科 2.04%、中国語学科 8.33%、経営学科 2.90%、これ以外の 13 学科は 0.00%であった。ただし、中国文学科、日本語学科、国際関係学科、国際文化学科、看護学科の 5 学科において、回答者が 7 名以下になっているので、留意が必要である。

変動係数をみると、教育学科 21.33%、歴史文化学科 21.11%、中国語学科 23.74%、国際文化学科 21.54%の 4 学科は 20%を超えており、自然系科目の平均値 17.27%を大きく上回っている。このように、4 学科に所属する学生の成長感覚は、他の学科と比較すると、相対的に認識のバラツキが大きくみえる。それでも、自然系科目の成長感覚は、総じて低い水準を示している。

#### 【全学共通科目（自然系）〈学生所属別〉】

Q 7「成長感覚」の学科別（左）および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	49	4.429	0.728	16.448%
中国文学科	4	4.500	0.866	19.245%
英米文学科	13	4.385	0.625	14.253%
教育学科	19	4.316	0.921	21.333%
書道学科	14	4.071	0.593	14.573%
歴史文化学科	12	4.083	0.862	21.110%
社会経済学科	49	4.367	0.850	19.459%
現代経済学科	49	4.224	0.647	15.322%
中国語学科	24	4.208	0.999	23.742%
英語学科	19	4.211	0.832	19.764%
日本語学科	4	4.500	0.500	11.111%
法律学科	22	4.409	0.717	16.268%
政治学科	17	4.529	0.606	13.371%
国際関係学科	7	4.714	0.452	9.583%
国際文化学科	6	4.167	0.898	21.541%
経営学科	69	4.420	0.710	16.069%
スポーツ科学科	18	4.278	0.558	13.052%
健康科学科	19	4.263	0.636	14.917%
看護学科	4	4.500	0.500	11.111%
社会学科	21	4.381	0.653	14.904%
<b>全学</b>	439	4.339	0.749	17.266%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	209	4.344	0.774
2	201	4.318	0.739
3	17	4.353	0.681
4	12	4.583	0.493

【全学共通科目（自然系）〈学生所属別〉】

Q7「成長感覚」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.000%	2.041%	8.163%	34.694%	55.102%
中国文学科	0.000%	0.000%	25.000%	0.000%	75.000%
英米文学科	0.000%	0.000%	7.692%	46.154%	46.154%
教育学科	0.000%	5.263%	15.789%	21.053%	57.895%
書道学科	0.000%	0.000%	14.286%	64.286%	21.429%
歴史文化学科	0.000%	8.333%	8.333%	50.000%	33.333%
社会経済学科	2.041%	0.000%	12.245%	30.612%	55.102%
現代経済学科	0.000%	2.041%	6.122%	59.184%	32.653%
中国語学科	4.167%	4.167%	4.167%	41.667%	45.833%
英語学科	0.000%	0.000%	26.316%	26.316%	47.368%
日本語学科	0.000%	0.000%	0.000%	50.000%	50.000%
法律学科	0.000%	0.000%	13.636%	31.818%	54.545%
政治学科	0.000%	0.000%	5.882%	35.294%	58.824%
国際関係学科	0.000%	0.000%	0.000%	28.571%	71.429%
国際文化学科	0.000%	0.000%	33.333%	16.667%	50.000%
経営学科	0.000%	2.899%	4.348%	40.580%	52.174%
スポーツ科学科	0.000%	0.000%	5.556%	61.111%	33.333%
健康科学科	0.000%	0.000%	10.526%	52.632%	36.842%
看護学科	0.000%	0.000%	0.000%	50.000%	50.000%
社会学科	0.000%	0.000%	9.524%	42.857%	47.619%
<b>全学</b>	<b>0.456%</b>	<b>1.595%</b>	<b>9.339%</b>	<b>40.774%</b>	<b>47.836%</b>

【全学共通科目（自然系）〈学生所属別〉】

Q7「成長感覚」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.478%	2.392%	8.612%	39.234%	49.282%
2	0.498%	0.995%	10.448%	42.289%	45.771%
3	0.000%	0.000%	11.765%	41.176%	47.059%
4	0.000%	0.000%	0.000%	41.667%	58.333%

Q8 すべてを総合して、この授業に対してどの程度満足しましたか。10を「100%満足」、1を「10%満足」として10段階で最も近いと思われるものを選んでください。【総合満足】

総合満足の学科別の平均は8.29(自然系)であった。自然系科目の平均(8.29)は全共科目の平均(8.35)、人文系の平均(8.30)、社会系の平均(8.22)、保健体育系の平均(8.89)に比べると、社会系科目に次いで低い数値であった。

満足度の高い「10」から「8」までの回答分布割合の合計をみると、71.49%で、総合的に満足していると言える。中位の「5」から「7」の回答分布割合の合計（自然系の全体平均）が25.52%で、全共科目の平均(23.98%)よりもやや高い数値であった。満足度の低い「1」から「3」までの回答分布割合の合計（自然系平均0.92%）は全共科目全体の平均(0.94%)に比べると、やや低い数値であった。

変動係数をみると、平均値（19.44%）を上回り、バラツキの大きさが示された学科は中国語学科25.70%、歴史文化学科23.04%、書道学科22.66%、英語学科20.82%、スポーツ科学科20.65%、現代経済学科20.38%、日本文学科19.85%、政治学科19.78%、看護学科19.51%の9学科であった。満足度が各点に分散しているとも言える。なかでも歴史文化学科は中位の「5」の分布割合が平均3.22%に対し25.00%、書道学科15.39%と特出して高い。自然系科目に対し満足度がそれほど高いとは言えない層がいることがわかる。

変動係数が平均値以下で、「8」から「10」までの回答分布割合の合計が平均(71.49%)よりも高い結果を示したのは、中国文学科、英米文学科、教育学科、社会経済学科、中国語学科、英語学科、日本語学科、国際関係学科、国際文化学科、経営学科、看護学科の11学科であった。これらの学科は自然系科目に対する満足度が高い学生が多いと言える。

【全学共通科目（自然系）〈学生所属別〉】

Q 8「総合満足」の学科別（左）および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	49	8.163	1.621	19.853%
中国文学科	4	9.250	1.299	14.044%
英米文学科	13	8.462	1.082	12.792%
教育学科	19	8.579	1.567	18.261%
書道学科	13	7.769	1.761	22.664%
歴史文化学科	12	7.750	1.785	23.037%
社会経済学科	49	8.388	1.614	19.241%
現代経済学科	48	7.979	1.626	20.384%
中国語学科	24	8.292	2.131	25.697%
英語学科	19	8.579	1.786	20.823%
日本語学科	4	9.000	1.225	13.608%
法律学科	22	8.364	1.463	17.493%
政治学科	17	8.176	1.617	19.781%
国際関係学科	7	9.571	0.495	5.170%
国際文化学科	6	8.833	1.462	16.557%
経営学科	68	8.485	1.480	17.444%
スポーツ科学科	18	7.889	1.629	20.652%
健康科学科	18	8.111	1.329	16.381%
看護学科	4	8.500	1.658	19.510%
社会学科	21	8.095	1.306	16.131%
<b>全学</b>	435	8.294	1.612	19.435%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	207	8.309	1.636
2	199	8.221	1.592
3	17	8.294	1.741
4	12	9.250	0.829

【全学共通科目（自然系）〈学生所属別〉】

Q 8「総合満足」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
日本文学科	0.000%	0.000%	0.000%	4.082%	4.082%	4.082%	20.408%	20.408%	20.408%	26.531%
中国文学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	25.000%	0.000%	0.000%	75.000%
英米文学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	23.077%	30.769%	23.077%	23.077%
教育学科	0.000%	0.000%	0.000%	5.263%	0.000%	0.000%	15.789%	26.316%	10.526%	42.105%
書道学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	15.385%	7.692%	23.077%	23.077%	0.000%	30.769%
歴史文化学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	25.000%	0.000%	8.333%	25.000%	25.000%	16.667%
社会経済学科	0.000%	0.000%	2.041%	2.041%	2.041%	4.082%	12.245%	24.490%	22.449%	30.612%
現代経済学科	2.083%	0.000%	0.000%	2.083%	0.000%	6.250%	20.833%	29.167%	25.000%	14.583%
中国語学科	0.000%	4.167%	0.000%	4.167%	4.167%	4.167%	8.333%	16.667%	16.667%	41.667%
英語学科	0.000%	0.000%	0.000%	5.263%	5.263%	5.263%	5.263%	10.526%	26.316%	42.105%
日本語学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	25.000%	0.000%	25.000%	50.000%
法律学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	4.545%	4.545%	22.727%	18.182%	18.182%	31.818%
政治学科	0.000%	0.000%	0.000%	5.882%	0.000%	5.882%	17.647%	29.412%	11.765%	29.412%
国際関係学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	42.857%	57.143%
国際文化学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	16.667%	0.000%	16.667%	16.667%	50.000%
経営学科	0.000%	0.000%	0.000%	1.471%	2.941%	5.882%	13.235%	22.059%	20.588%	33.824%
スポーツ科学科	0.000%	0.000%	5.556%	0.000%	0.000%	0.000%	38.889%	16.667%	22.222%	16.667%
健康科学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	11.111%	27.778%	22.222%	16.667%	22.222%
看護学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	25.000%	0.000%	25.000%	0.000%	50.000%
社会学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	4.762%	0.000%	33.333%	23.810%	19.048%	19.048%
全学	0.230%	0.230%	0.460%	2.069%	3.218%	4.598%	17.701%	21.839%	19.770%	29.885%

【全学共通科目（自然系）〈学生所属別〉】

Q 8「総合満足」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	0.000%	0.483%	0.483%	1.932%	3.382%	4.831%	19.324%	18.841%	18.357%	32.367%
2	0.503%	0.000%	0.000%	2.513%	3.518%	4.523%	18.090%	23.618%	21.106%	26.131%
3	0.000%	0.000%	5.882%	0.000%	0.000%	5.882%	5.882%	35.294%	17.647%	29.412%
4	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	25.000%	25.000%	50.000%

【クロス表に関する結果(自然系)】

自然系科目を履修している学生の授業認識に対する「教員熱意と学生熱意」とのクロス表(表1:回答数、表2:パーセント)では、それぞれの行で最も高い数値を赤字で示している。

また、右端の列(4+5)に4「どちらかと言えばそう思う」と5「強くそう思う」の割合を加算した数字を記載している。尚、4と5の合計はローデータに基づいて計算しているため、表では100分の1の誤差が生じる場合がある。

この回答数を示した表1に注目すると、教員熱意が向上すればするほど、右側の数字が高くなっていることが見てとれる。まず、右端の列の数字(赤字:0→1→9→111→229)から、教員熱意が向上すればするほど、その数値が上がっていくことが顕著になる。

次に、教員熱意と学生意欲とのクロスチェック数値(0→2→27→100→113)も互いに上昇

していることを確認できる。この結果から、学生が教員熱意を感じるようになると、自分意欲を強く感じるようになっていくことがわかる。

表 1

●【全学共通科目（自然系）（学生所属別）】クロス集計（〔学生意欲〕×〔教員熱意〕）〔回答数〕

	学生意欲					合計	4+5
	1 まったくそう思わない	2 どちらかと言えばそう思わない	3 どちらとも言えない	4 どちらかと言えばそう思う	5 強くそう思う		
教員熱意	1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0
	2 どちらかと言えばそう思わない	0	2	3	1	0	6
	3 どちらとも言えない	0	1	27	8	1	37
	4 どちらかと言えばそう思う	0	4	24	100	11	139
	5 強くそう思う	0	4	24	116	113	257
合計	0	11	78	225	125	439	350

表 2

●【全学共通科目（自然系）（学生所属別）】クロス集計（〔学生意欲〕×〔教員熱意〕）〔パーセント〕

	学生意欲					合計	4+5
	1 まったくそう思わない	2 どちらかと言えばそう思わない	3 どちらとも言えない	4 どちらかと言えばそう思う	5 強くそう思う		
教員熱意	1 まったくそう思わない	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%
	2 どちらかと言えばそう思わない	0.000%	33.333%	50.000%	16.667%	0.000%	16.667%
	3 どちらとも言えない	0.000%	2.703%	72.973%	21.622%	2.703%	24.324%
	4 どちらかと言えばそう思う	0.000%	2.878%	17.266%	71.942%	7.914%	79.856%
	5 強くそう思う	0.000%	1.556%	9.339%	45.136%	43.969%	89.105%

### 【相関係数表に関する結果(自然系)】

相関係数に関しては、+0.3 以上+0.6 未満(-0.3~-0.6)で弱い正(負)の相関関係、+0.6 以上+1 未満(-0.6~-1)で強い正(負)の相関関係があると解釈できる。当該相関係数表では、弱い正の相関関係を青字、強い正の相関関係を赤字でそれぞれ記す。

分析の結果、「難易度が適切かどうか」に関わるもの以外全ての変数(項目)に関して、正の相関関係がみられた。

まず、自然系科目に対する学生の「総合満足度」は、特に「成長感覚」との間に強い正の相関関係 0.65 がみられ、正の相関関係の順に「教員熱意 0.57」「学生意欲 0.54」「シラバス通り 0.54」「FB 丁寧 0.35」と続く。これは、「総合満足度」の向上は、「成長感覚を持てるかどうか」が最も強く影響することを示す。人文系、社会系、保健体育系の科目に比べ、自然系は各質問項目の相関関係が強く示された。

次に、「成長感覚」との相関関係順に見ていくと、「学生意欲 0.63」及び「教員熱意 0.60」との間に強い正の相関関係がみられた。その後は正の相関関係順に、「FB 丁寧 0.45」「シラバス通り 0.45」と続く。つまり、「成長感覚」の向上は、教員の熱意があるかどうかが強に影響することを示している。

「難易度が適切か」に関しては、相関係数表に基づくと、すべての項目間で相関関係がみられない。

まとめると、「教員熱意」が学生の「成長感覚」を促し、「成長感覚」が「総合満足度」に影響を与えているという強い相関関係が示された。

●【全学共通科目（自然系）〈学生所属別〉】相関係数表

		Q1b	Q2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8
		〔シラパス通り〕	〔難易度適切〕	〔FB丁寧〕	〔学生意欲〕	〔教員熱意〕	〔成長感覚〕	〔総合満足〕
Q1b	〔シラパス通り〕	1.000						
Q2	〔難易度適切〕	-0.109	1.000					
Q4	〔FB丁寧〕	0.370	0.023	1.000				
Q5	〔学生意欲〕	0.406	-0.164	0.408	1.000			
Q6	〔教員熱意〕	0.426	-0.092	0.439	0.479	1.000		
Q7	〔成長感覚〕	0.448	-0.152	0.448	0.633	0.603	1.000	
Q8	〔総合満足〕	0.540	-0.280	0.353	0.538	0.567	0.650	1.000

### 【全学共通科目（保健体育系）（学生所属別）】

保健体育系科目の回答率は 32.44%と、全共科目全体 34.28%よりも低い数値であった。平均の回答率を上回る学科は 7 学科あり（日本文学科 45.46%、中国文学科 38.89%、書道学科 43.59%、歴史文化学科 43.06%、スポーツ科学科、48.44%、健康科学科 49.60%、看護学科 48.11%、社会学科 40.57%）、学科間の相違が顕著であった。

### 【全学共通科目（保健体育系）〈学生所属別〉】

学科別（左）および学年別（右）回答率

学科 / 部局	回答数	未回答数	合計	回答率
日本文学科	50	60	110	45.455%
中国文学科	7	11	18	38.889%
英米文学科	31	65	96	32.292%
教育学科	23	65	88	26.136%
書道学科	17	22	39	43.590%
歴史文化学科	31	41	72	43.056%
社会経済学科	16	44	60	26.667%
現代経済学科	11	40	51	21.569%
中国語学科	7	19	26	26.923%
英語学科	17	61	78	21.795%
日本語学科	16	35	51	31.373%
法律学科	21	51	72	29.167%
政治学科	9	40	49	18.367%
国際関係学科	4	46	50	8.000%
国際文化学科	8	25	33	24.242%
経営学科	27	165	192	14.063%
スポーツ科学科	31	33	64	48.438%
健康科学科	62	63	125	49.600%
看護学科	51	55	106	48.113%
社会学科	43	63	106	40.566%
<b>全学</b>	<b>482</b>	<b>1,004</b>	<b>1,486</b>	<b>32.436%</b>

学年	回答数	未回答数	合計	回答率
1	369	553	922	40.022%
2	101	351	452	22.345%
3	8	43	51	15.686%
4	1	53	54	1.852%

### Q1a あなたはこの授業のシラバス内容を知っていますか。【シラバス既知】

シラバス既知率は 80.50%と、全共科目全体（81.97%）よりも低い。日本語学科、政治学科、国際関係学科、国際文化学科の 4 学科は 100%であった。政治学科、国際関係学科、国際文化学科の回答者数は 10 名以下であることから、この点は留意が必要であろう。

【全学共通科目（保健体育系）〈学生所属別〉】

Q 1a 「シラバス既知」の学科別（左）および学年別（右）回答

（1「いいえ（あまりよく）知りません」/ 2「はい（おおよそ）知っています」）

学科 / 部局	1	2
日本文学科	14.000%	86.000%
中国文学科	28.571%	71.429%
英米文学科	16.129%	83.871%
教育学科	26.087%	73.913%
書道学科	17.647%	82.353%
歴史文化学科	25.806%	74.194%
社会経済学科	18.750%	81.250%
現代経済学科	18.182%	81.818%
中国語学科	14.286%	85.714%
英語学科	23.529%	76.471%
日本語学科	0.000%	100.000%
法律学科	23.810%	76.190%
政治学科	0.000%	100.000%
国際関係学科	0.000%	100.000%
国際文化学科	0.000%	100.000%
経営学科	18.519%	81.481%
スポーツ科学科	16.129%	83.871%
健康科学科	29.032%	70.968%
看護学科	7.843%	92.157%
社会学科	37.209%	62.791%
<b>全学</b>	<b>19.502%</b>	<b>80.498%</b>

学年	1	2
1	20.596%	79.404%
2	15.842%	84.158%
3	12.500%	87.500%
4	100.000%	0.000%

Q1b この授業はシラバスの記述通りに行われたと思いますか。【シラバス通り】

学科別の回答分布割合は、「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答割合の合計が 94.49%で、シラバスに対する認識評価点の平均値は 4.56 であった。全共科目全体の平均 4.40 と比べて僅かながら高い水準であった。

「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答割合の合計が 100.00%を示しているのは、中国文学科、書道学科、社会経済学科、現代経済学科、中国語学科、英語学科、日本語学科、政治学科、国際関係学科、国際文化学科の 10 学科であった。また、この 10 学科は「1 まったくそう思わない」と「2 どちらかと言えばそう思わない」の回答分布割合の合計が 0.00%であった。ただし、教育学科は 4 と 5 の回答分布割合の合計が 78.95%で、最も低かった。「1 まったくそう思わない」と「2 どちらかと言えばそう思わない」の合計が 5.26%、「3 どちらとも言えない」の合計が 15.79%であった。以上のように回答分布割合をみると、極端に偏る結果となった。

変動係数をみると、保健体育系の他の質問項目に比べてもその係数が最も低く、学科間の格差は小さい（平均:13.28%）。ただし、中国語学科の変動係数は 0.00%となっているのは、

回答者の全員が特定の点に回答した結果である。

【全学共通科目（保健体育系）〈学生所属別〉】

Q 1b「シラバス通り」の学科別（左）および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	44	4.591	0.577	12.563%
中国文学科	6	4.333	0.471	10.879%
英米文学科	26	4.346	0.551	12.671%
教育学科	19	4.263	0.909	21.312%
書道学科	15	4.667	0.471	10.102%
歴史文化学科	25	4.480	0.640	14.286%
社会経済学科	13	4.615	0.487	10.541%
現代経済学科	10	4.400	0.490	11.134%
中国語学科	6	5.000	0.000	0.000%
英語学科	15	4.867	0.340	6.985%
日本語学科	16	4.563	0.496	10.873%
法律学科	18	4.333	0.745	17.201%
政治学科	9	4.667	0.471	10.102%
国際関係学科	4	4.750	0.433	9.116%
国際文化学科	8	4.625	0.484	10.468%
経営学科	26	4.500	0.635	14.122%
スポーツ科学科	28	4.714	0.525	11.134%
健康科学科	52	4.481	0.635	14.176%
看護学科	49	4.755	0.475	9.992%
社会学科	28	4.500	0.681	15.142%
<b>全学</b>	417	4.559	0.605	13.279%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	316	4.544	0.607
2	91	4.582	0.612
3	7	5.000	0.000
4	0	0.000	0.000

【全学共通科目（保健体育系）〈学生所属別〉】

Q 1b「シラバス通り」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.000%	0.000%	4.545%	31.818%	63.636%
中国文学科	0.000%	0.000%	0.000%	66.667%	33.333%
英米文学科	0.000%	0.000%	3.846%	57.692%	38.462%
教育学科	0.000%	5.263%	15.789%	26.316%	52.632%
書道学科	0.000%	0.000%	0.000%	33.333%	66.667%
歴史文化学科	0.000%	0.000%	8.000%	36.000%	56.000%
社会経済学科	0.000%	0.000%	0.000%	38.462%	61.538%
現代経済学科	0.000%	0.000%	0.000%	60.000%	40.000%
中国語学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	100.000%
英語学科	0.000%	0.000%	0.000%	13.333%	86.667%
日本語学科	0.000%	0.000%	0.000%	43.750%	56.250%
法律学科	0.000%	0.000%	16.667%	33.333%	50.000%
政治学科	0.000%	0.000%	0.000%	33.333%	66.667%
国際関係学科	0.000%	0.000%	0.000%	25.000%	75.000%
国際文化学科	0.000%	0.000%	0.000%	37.500%	62.500%
経営学科	0.000%	0.000%	7.692%	34.615%	57.692%
スポーツ科学科	0.000%	0.000%	3.571%	21.429%	75.000%
健康科学科	0.000%	0.000%	7.692%	36.538%	55.769%
看護学科	0.000%	0.000%	2.041%	20.408%	77.551%
社会学科	0.000%	0.000%	10.714%	28.571%	60.714%
<b>全学</b>	0.000%	0.240%	5.276%	32.854%	61.631%

【全学共通科目（保健体育系）〈学生所属別〉】

Q 1b「シラバス通り」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.000%	0.316%	5.063%	34.494%	60.127%
2	0.000%	0.000%	6.593%	28.571%	64.835%
3	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	100.000%
4	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%

Q2 自分にとってこの授業の難易度は適切だったと思いますか。【難易度適切】

授業内容の難易度に対する認識について、保健体育系科目を履修している学生の所属学科別の評価平均値は3.05であった(全学共通科目の平均：3.49)。

「5 とても難しかった」と「4 やや難しかった」の回答分布割合の合計(保健体育系科目の全学平均：21.83%)は最小 12.50%(社会経済学科・日本語学科)から最大 44.44%(政治学科)

学科)の間に分布している。これに対して、「1 とても易しかった」と「2 やや易しかった」の分布割合の合計(保健体育系科目の全学平均：13.93%)は最小 0.00%(中国文学科、現代経済学科、中国語学科、国際関係学科、国際文化学科)から最大 30.43%(教育学科)の間に分布している。

保健体育系科目の授業の難易度に対する認識は、次のような特徴が見られた。保健体育系の「5」と「4」の回答分布割合が全共科目全体の回答分布割合及び、他系列(人文系・社会系・自然系)と比較してみると、半分以下になっていた。また、学科間の相違も顕著となった。授業を難しいと認識する層(「5」と「4」の分布割合の合計)を全学共通科目の全体と比較してみると、全学科の回答分布割合の合計が減少していた。特に、大幅に減っているのは、日本文学科(全共全体 41.31%→保健体育系 16.00%)、教育学科(51.55%→21.74%)、書道学科(47.82%→23.53%)、社会経済学科(46.13%→12.50%)、現代経済学科(45.04%→18.18%)、英語学科(48.88%→23.53%)、日本語学科(42.68%→12.50%)、法律学科(44.48%→14.29%)、国際関係学科(45.88%→25.00%)、スポーツ科学科(49.69%→19.35%)の10学科であった。この10学科の内、教育学科と書道学科以外の、「3」の回答分布割合が全共科目と比較すると、大幅に増加していた。この結果は「5」と「4」の回答分布割合が「3」の分布へシフトしたことを意味する。また、教育学科と書道学科は、「5」と「4」の回答分布割合が「1」と「2」分布へシフトした。

回答分布割合の変化から、保健体育系科目を履修している多数の学生は所属学科にかかわらず、授業内容を易しいと認識していた。また、授業難易度における認識の相違および格差が、変動係数から確認できる。変動係数の平均値(保健体育系：28.52%)を下回っているのは日本文学科、中国文学科、英米文学科、歴史文化学科、現代経済学科、中国語学科、日本語学科、法律学科、国際関係学科、国際文化学科、経営学科、健康科学科の12学科であった。バラツキが小さいとはいえ、学科の相違に関わらず、授業内容を易しいと捉える認識に偏っている。

【全学共通科目（保健体育系）〈学生所属別〉】

Q 2「難易度適切」の学科別（左）および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	50	2.940	0.732	24.911%
中国文学科	7	3.429	0.495	14.434%
英米文学科	31	3.129	0.751	24.001%
教育学科	23	2.913	1.248	42.844%
書道学科	17	2.882	0.900	31.218%
歴史文化学科	31	2.968	0.595	20.042%
社会経済学科	16	3.063	0.899	29.362%
現代経済学科	11	3.273	0.617	18.840%
中国語学科	7	3.571	0.728	20.396%
英語学科	17	3.059	0.937	30.649%
日本語学科	16	3.000	0.500	16.667%
法律学科	21	3.000	0.617	20.574%
政治学科	9	3.333	1.054	31.623%
国際関係学科	4	3.500	0.866	24.744%
国際文化学科	8	3.375	0.484	14.344%
経営学科	27	3.111	0.831	26.726%
スポーツ科学科	31	2.871	1.100	38.301%
健康科学科	62	3.145	0.759	24.124%
看護学科	50	2.900	1.063	36.656%
社会学科	43	3.070	0.899	29.302%
<b>全学</b>	<b>481</b>	<b>3.046</b>	<b>0.869</b>	<b>28.522%</b>

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	368	3.060	0.904
2	101	3.000	0.704
3	8	3.125	1.053
4	1	2.000	0.000

【全学共通科目（保健体育系）〈学生所属別〉】

Q2「難易度適切」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	8.000%	6.000%	70.000%	16.000%	0.000%
中国文学科	0.000%	0.000%	57.143%	42.857%	0.000%
英米文学科	6.452%	0.000%	70.968%	19.355%	3.226%
教育学科	17.391%	13.043%	47.826%	4.348%	17.391%
書道学科	11.765%	11.765%	52.941%	23.529%	0.000%
歴史文化学科	3.226%	9.677%	74.194%	12.903%	0.000%
社会経済学科	6.250%	6.250%	75.000%	0.000%	12.500%
現代経済学科	0.000%	0.000%	81.818%	9.091%	9.091%
中国語学科	0.000%	0.000%	57.143%	28.571%	14.286%
英語学科	11.765%	0.000%	64.706%	17.647%	5.882%
日本語学科	0.000%	12.500%	75.000%	12.500%	0.000%
法律学科	4.762%	4.762%	76.190%	14.286%	0.000%
政治学科	11.111%	0.000%	44.444%	33.333%	11.111%
国際関係学科	0.000%	0.000%	75.000%	0.000%	25.000%
国際文化学科	0.000%	0.000%	62.500%	37.500%	0.000%
経営学科	3.704%	14.815%	51.852%	25.926%	3.704%
スポーツ科学科	16.129%	9.677%	54.839%	9.677%	9.677%
健康科学科	4.839%	3.226%	69.355%	17.742%	4.839%
看護学科	18.000%	2.000%	58.000%	16.000%	6.000%
社会学科	9.302%	4.651%	60.465%	20.930%	4.651%
<b>全学</b>	<b>8.316%</b>	<b>5.613%</b>	<b>64.241%</b>	<b>16.840%</b>	<b>4.990%</b>

【全学共通科目（保健体育系）〈学生所属別〉】

Q2「難易度適切」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	9.239%	4.891%	61.957%	18.478%	5.435%
2	4.950%	6.931%	74.257%	10.891%	2.970%
3	12.500%	0.000%	62.500%	12.500%	12.500%
4	0.000%	100.000%	0.000%	0.000%	0.000%

Q3 あなたはこの授業で教員に授業に関連して質問したことがありますか。【質問対応】

全共科目全体と同様の傾向が見られるが、教育学科の「2 質問したことがある」の回答割合が他学科に比べて相対的に高く、30.44%であった(保健体育系科目の全学平均:15.34%)。

一方、「2」の回答率が0.00%となっている学科もあり、その学科は国際関係学科であった。

【全学共通科目（保健体育系）〈学生所属別〉】

Q3「質問対応」の学科別（左）および学年別（右）回答

（1「いいえ、したことはありません」/ 2「はい、あります」）

学科 / 部局	1	2
日本文学科	91.667%	8.333%
中国文学科	85.714%	14.286%
英米文学科	87.097%	12.903%
教育学科	69.565%	30.435%
書道学科	94.118%	5.882%
歴史文化学科	87.097%	12.903%
社会経済学科	87.500%	12.500%
現代経済学科	90.909%	9.091%
中国語学科	85.714%	14.286%
英語学科	82.353%	17.647%
日本語学科	73.333%	26.667%
法律学科	90.476%	9.524%
政治学科	75.000%	25.000%
国際関係学科	100.000%	0.000%
国際文化学科	87.500%	12.500%
経営学科	81.481%	18.519%
スポーツ科学科	77.419%	22.581%
健康科学科	90.000%	10.000%
看護学科	82.353%	17.647%
社会学科	79.070%	20.930%
<b>全学</b>	<b>84.664%</b>	<b>15.336%</b>

学年	1	2
1	85.440%	14.560%
2	84.000%	16.000%
3	75.000%	25.000%
4	100.000%	0.000%

Q4 質問に対する教員の対応が適切だったと思いますか。【フィードバック】

「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答割合の合計が 7 割(70.71%)を超えており、学生が教員の対応を概ね評価していると言える。20 学科中 18 学科が 1 と 2 が 0%で、5 に集中する結果となった。ただし、スポーツ科学科は 1 が 7.41%、看護学科は 1 と 2 の合計が 15.79%を示し、バラツキがみられた。フィードバックの平均値は 4.28 であった。

教員の質問対応に対する評価は平均 4.10 であった。「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答分布割合(保健体育系の平均)は 70.71%と、学生が教員の対応を概ね評価していると言える。この回答分布割合の合計は他系の科目と比べても、高い水準であった。

「5」の回答分布の割合が高い学科は、日本文学科、英米文学科、歴史文化学科、英語学科、日本語学科、法律学科、政治学科、スポーツ科学科、健康科学科、社会学科の 10 学科であった。

学科別の変動係数が平均(26.28%)よりも高いのは日本文学科 27.63%、書道学科 43.03%、

歴史文化学科 30.77%、経営学科 37.78%、スポーツ科学科 38.90%の 5 学科で、非常に高い数値を示している。これらの学科は回答分布割合をみても「1」から「5」まで、ある程度均等にばらついている。

【全学共通科目（保健体育系）〈学生所属別〉】

Q 4「フィードバック」の学科別（左）および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	16	3.938	1.088	27.630%
中国文学科	2	4.500	0.500	11.111%
英米文学科	15	4.067	0.854	20.994%
教育学科	10	4.800	0.400	8.333%
書道学科	6	3.000	1.291	43.033%
歴史文化学科	14	3.857	1.187	30.765%
社会経済学科	6	3.667	0.471	12.856%
現代経済学科	4	3.750	0.829	22.111%
中国語学科	2	4.000	1.000	25.000%
英語学科	5	4.800	0.400	8.333%
日本語学科	7	4.143	0.833	20.107%
法律学科	7	4.143	0.833	20.107%
政治学科	4	4.750	0.433	9.116%
国際関係学科	0	0.000	0.000	0.000%
国際文化学科	2	4.500	0.500	11.111%
経営学科	13	3.538	1.337	37.779%
スポーツ科学科	14	3.786	1.473	38.897%
健康科学科	30	4.133	0.921	22.291%
看護学科	26	4.385	1.041	23.733%
社会学科	15	4.467	0.957	21.422%
<b>全学</b>	<b>198</b>	<b>4.101</b>	<b>1.078</b>	<b>26.280%</b>

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	153	4.065	1.118
2	39	4.154	0.948
3	4	5.000	0.000
4	0	0.000	0.000

【全学共通科目（保健体育系）〈学生所属別〉】

Q4「フィードバック」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	6.250%	0.000%	25.000%	31.250%	37.500%
中国文学科	0.000%	0.000%	0.000%	50.000%	50.000%
英米文学科	0.000%	0.000%	33.333%	26.667%	40.000%
教育学科	0.000%	0.000%	0.000%	20.000%	80.000%
書道学科	16.667%	16.667%	33.333%	16.667%	16.667%
歴史文化学科	7.143%	0.000%	35.714%	14.286%	42.857%
社会経済学科	0.000%	0.000%	33.333%	66.667%	0.000%
現代経済学科	0.000%	0.000%	50.000%	25.000%	25.000%
中国語学科	0.000%	0.000%	50.000%	0.000%	50.000%
英語学科	0.000%	0.000%	0.000%	20.000%	80.000%
日本語学科	0.000%	0.000%	28.571%	28.571%	42.857%
法律学科	0.000%	0.000%	28.571%	28.571%	42.857%
政治学科	0.000%	0.000%	0.000%	25.000%	75.000%
国際関係学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%
国際文化学科	0.000%	0.000%	0.000%	50.000%	50.000%
経営学科	15.385%	0.000%	30.769%	23.077%	30.769%
スポーツ科学科	14.286%	7.143%	14.286%	14.286%	50.000%
健康科学科	0.000%	3.333%	26.667%	23.333%	46.667%
看護学科	3.846%	0.000%	19.231%	7.692%	69.231%
社会学科	0.000%	6.667%	13.333%	6.667%	73.333%
<b>全学</b>	<b>4.040%</b>	<b>2.020%</b>	<b>23.232%</b>	<b>21.212%</b>	<b>49.495%</b>

【全学共通科目（保健体育系）〈学生所属別〉】

Q4「フィードバック」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	4.575%	2.614%	24.183%	18.954%	49.673%
2	2.564%	0.000%	23.077%	28.205%	46.154%
3	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	100.000%
4	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%

Q5 あなたはこの授業に対して意欲／熱意をもって取り組んだと思いますか。【学生意欲】

学生の授業の意欲と熱意に対する認識評価は 4.44(保健体育系の平均)であった。この結果は全共科目全体の平均(4.09)に比べて、やや高い水準となっており、学生は授業に対する高い意欲と熱意を持って取り組んでいると言える。

「5 強く思う」と「4 どちらかと言えば思う」の回答分布割合の合計をみると、91.06%(保健体育系の平均)で、全共科目全体の「4」と「5」の合計(全平均 81.87%)に比べて高い数値であった。保健体育系の「4と5」の分布割合が平均(91.06%)を上回るのは日本文学科、英米文学科、英語学科、政治学科、国際文化学科、スポーツ科学科、健康科学科、看護学科の8学科であった。そのなかで、英語学科、政治学科、国際文化学科、スポーツ科学科の4学科は100.00%であった。

「5」の回答分布に限ると、全共科目全体の分布割合(30.72%)を上回ったのはすべての学科であった。「4」の回答分布割合は、現代経済学科のみが全共科目の「4」分布割合(51.15%)を上回った。「3 どちらとも言えない」は、中国文学科、歴史文化学科、社会経済学科、国際関係学科の4学科が、全共科目の「3」分布割合(14.74%)を上回っている。

英語学科、政治学科、国際文化学科、スポーツ科学科の4学科は「3」の分布割合は0.00%であった。その減少した回答分布割合は、英語学科とスポーツ科学科は「3」と「5」が「4」へ、政治学科と国際文化学科は「3」が「4」と「5」へ、それぞれシフトしていた。一方、「1 まったくそう思わない」と「2 どちらかと言えばそう思わない」の分布割合(保健体育系)は0.83%しかなかった。

以上の結果をみると、保健体育系の回答分布割合は「5と4」の回答分布に偏っていることを確認できる。保健体育系科目を履修している学生は自身の授業意欲を非常に高く評価していた。

【全学共通科目（保健体育系）〈学生所属別〉】

Q 5「学生意欲」の学科別（左）および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	50	4.420	0.603	13.642%
中国文学科	7	4.143	0.833	20.107%
英米文学科	31	4.452	0.559	12.551%
教育学科	23	4.565	0.825	18.070%
書道学科	17	4.353	0.836	19.206%
歴史文化学科	30	4.267	0.727	17.045%
社会経済学科	16	4.188	0.726	17.342%
現代経済学科	11	4.273	0.617	14.430%
中国語学科	7	4.429	0.728	16.448%
英語学科	17	4.647	0.478	10.284%
日本語学科	16	4.063	1.029	25.326%
法律学科	21	4.381	0.722	16.485%
政治学科	9	4.667	0.471	10.102%
国際関係学科	4	4.250	0.829	19.510%
国際文化学科	8	4.625	0.484	10.468%
経営学科	27	4.407	0.782	17.747%
スポーツ科学科	31	4.742	0.438	9.228%
健康科学科	62	4.484	0.589	13.128%
看護学科	51	4.627	0.593	12.810%
社会学科	43	4.279	0.693	16.195%
<b>全学</b>	<b>481</b>	<b>4.441</b>	<b>0.686</b>	<b>15.455%</b>

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	369	4.442	0.681
2	100	4.430	0.725
3	8	4.625	0.484
4	1	4.000	0.000

【全学共通科目（保健体育系）〈学生所属別〉】

Q5「学生意欲」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.000%	0.000%	6.000%	46.000%	48.000%
中国文学科	0.000%	0.000%	28.571%	28.571%	42.857%
英米文学科	0.000%	0.000%	3.226%	48.387%	48.387%
教育学科	0.000%	4.348%	8.696%	13.043%	73.913%
書道学科	0.000%	5.882%	5.882%	35.294%	52.941%
歴史文化学科	0.000%	0.000%	16.667%	40.000%	43.333%
社会経済学科	0.000%	0.000%	18.750%	43.750%	37.500%
現代経済学科	0.000%	0.000%	9.091%	54.545%	36.364%
中国語学科	0.000%	0.000%	14.286%	28.571%	57.143%
英語学科	0.000%	0.000%	0.000%	35.294%	64.706%
日本語学科	6.250%	0.000%	12.500%	43.750%	37.500%
法律学科	0.000%	0.000%	14.286%	33.333%	52.381%
政治学科	0.000%	0.000%	0.000%	33.333%	66.667%
国際関係学科	0.000%	0.000%	25.000%	25.000%	50.000%
国際文化学科	0.000%	0.000%	0.000%	37.500%	62.500%
経営学科	0.000%	3.704%	7.407%	33.333%	55.556%
スポーツ科学科	0.000%	0.000%	0.000%	25.806%	74.194%
健康科学科	0.000%	0.000%	4.839%	41.935%	53.226%
看護学科	0.000%	0.000%	5.882%	25.490%	68.627%
社会学科	0.000%	0.000%	13.953%	44.186%	41.860%
<b>全学</b>	<b>0.208%</b>	<b>0.624%</b>	<b>8.108%</b>	<b>37.006%</b>	<b>54.054%</b>

【全学共通科目（保健体育系）〈学生所属別〉】

Q5「学生意欲」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.271%	0.271%	8.401%	37.127%	53.930%
2	0.000%	2.000%	8.000%	35.000%	55.000%
3	0.000%	0.000%	0.000%	37.500%	62.500%
4	0.000%	0.000%	0.000%	100.000%	0.000%

Q6 教員は熱意をもってこの授業を行ったと思いますか。【教員熱意】

「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答分布割合(平均値)が 90%超えており(保健体育系:93.57%)、学生は教員熱意に対する認識を高く評価していると言える。授業内容の認識に関する教員熱意の全学平均値(保健体育系)は 4.64 であった。

特に、「1と2」の学科別回答分布割合は0.21%と非常に低く、高く評価していると言える。

【全学共通科目（保健体育系）〈学生所属別〉】

Q6「教員熱意」の学科別（左）および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	50	4.580	0.603	13.166%
中国文学科	7	4.714	0.452	9.583%
英米文学科	31	4.548	0.614	13.494%
教育学科	23	4.652	0.698	15.012%
書道学科	17	4.588	0.600	13.074%
歴史文化学科	31	4.516	0.666	14.743%
社会経済学科	16	4.313	0.845	19.605%
現代経済学科	11	4.636	0.481	10.375%
中国語学科	7	4.857	0.350	7.204%
英語学科	17	4.882	0.471	9.639%
日本語学科	16	4.750	0.433	9.116%
法律学科	21	4.571	0.583	12.758%
政治学科	9	4.333	0.667	15.385%
国際関係学科	4	5.000	0.000	0.000%
国際文化学科	8	4.875	0.331	6.784%
経営学科	27	4.481	0.918	20.479%
スポーツ科学科	31	4.903	0.296	6.030%
健康科学科	62	4.629	0.602	13.005%
看護学科	51	4.706	0.535	11.365%
社会学科	43	4.651	0.606	13.019%
<b>全学</b>	482	4.637	0.617	13.305%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	369	4.631	0.593
2	101	4.634	0.714
3	8	5.000	0.000
4	1	4.000	0.000

【全学共通科目（保健体育系）〈学生所属別〉】

Q6「教員熱意」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.000%	0.000%	6.000%	30.000%	64.000%
中国文学科	0.000%	0.000%	0.000%	28.571%	71.429%
英米文学科	0.000%	0.000%	6.452%	32.258%	61.290%
教育学科	0.000%	0.000%	13.043%	8.696%	78.261%
書道学科	0.000%	0.000%	5.882%	29.412%	64.706%
歴史文化学科	0.000%	0.000%	9.677%	29.032%	61.290%
社会経済学科	0.000%	0.000%	25.000%	18.750%	56.250%
現代経済学科	0.000%	0.000%	0.000%	36.364%	63.636%
中国語学科	0.000%	0.000%	0.000%	14.286%	85.714%
英語学科	0.000%	0.000%	5.882%	0.000%	94.118%
日本語学科	0.000%	0.000%	0.000%	25.000%	75.000%
法律学科	0.000%	0.000%	4.762%	33.333%	61.905%
政治学科	0.000%	0.000%	11.111%	44.444%	44.444%
国際関係学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	100.000%
国際文化学科	0.000%	0.000%	0.000%	12.500%	87.500%
経営学科	3.704%	0.000%	7.407%	22.222%	66.667%
スポーツ科学科	0.000%	0.000%	0.000%	9.677%	90.323%
健康科学科	0.000%	0.000%	6.452%	24.194%	69.355%
看護学科	0.000%	0.000%	3.922%	21.569%	74.510%
社会学科	0.000%	0.000%	6.977%	20.930%	72.093%
<b>全学</b>	<b>0.207%</b>	<b>0.000%</b>	<b>6.224%</b>	<b>23.029%</b>	<b>70.539%</b>

【全学共通科目（保健体育系）〈学生所属別〉】

Q6「教員熱意」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.000%	0.000%	5.962%	24.932%	69.106%
2	0.990%	0.000%	7.921%	16.832%	74.257%
3	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	100.000%
4	0.000%	0.000%	0.000%	100.000%	0.000%

Q7 この授業を通じて「知識が増えた」あるいは「ものごとの捉え方が深くなった」あるいは「技能が向上した」などの成長があったと思いますか。【成長感覚】

成長感覚の平均値(保健体育系科目)は4.40であった。「5強くそう思う」と「4どちらかと言えばそう思う」の回答分布割合の合計(保健体育系平均)は89.40%を示しており、学生が自身の成長感覚を高く評価していると言える。ただし、中国語学科の「4と5」の回答分布割

合(71.43%)が保健体育系科目の平均値(89.40%)に比べて大幅に低く、「3 どちらとも言えない」の分布割合(28.57%)が多いのが特徴である。「1」と「2」の回答分布割合が0.00%となっているので、留意を必要とする。

一方、「1 まったくそう思わない」と「2 どちらかと言えばそう思わない」の回答分布割合の合計が日本文学科2.00%、英米文学科3.23%、教育学科4.35%、法律学科4.76%、経営学科7.41%、健康科学科1.61%、社会学科2.33%であった。他の13学科は0.00%であった。中国文学科、中国語学科、政治学科、国際関係学科、国際文化学科の5学科は回答者が10名未満のため、留意が必要である。

変動係数をみると、中国語学科20.55%、教育学科19.85%、社会学科19.63%、経営学科18.81%、法律学科17.74%、歴史文化学科16.69%の6学科は平均値16.56%を上回っている。6学科に所属する学生の成長感覚は、他の学科と比較すると、相対的に認識のバラツキが大きくみえる。しかし、保健体育系科目の成長感覚Q7を、他項目の質問(Q1bとQ6を除く)及び他系列科目(社会系を除く)の変動係数とそれぞれ比較してみると、低い水準を示しており、成長感覚の格差は少なかったと言える。

#### 【全学共通科目(保健体育系)〈学生所属別〉】

Q7「成長感覚」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	50	4.380	0.690	15.745%
中国文学科	7	4.429	0.728	16.448%
英米文学科	31	4.484	0.713	15.893%
教育学科	23	4.391	0.872	19.851%
書道学科	17	4.412	0.600	13.597%
歴史文化学科	31	4.226	0.705	16.689%
社会経済学科	16	4.313	0.682	15.810%
現代経済学科	10	4.500	0.500	11.111%
中国語学科	7	4.286	0.881	20.548%
英語学科	17	4.529	0.696	15.366%
日本語学科	16	4.375	0.599	13.702%
法律学科	21	4.476	0.794	17.738%
政治学科	9	4.333	0.667	15.385%
国際関係学科	4	4.750	0.433	9.116%
国際文化学科	8	4.625	0.696	15.048%
経営学科	27	4.296	0.808	18.808%
スポーツ科学科	31	4.452	0.711	15.975%
健康科学科	62	4.403	0.706	16.038%
看護学科	51	4.569	0.664	14.542%
社会学科	43	4.233	0.831	19.627%
<b>全学</b>	<b>481</b>	<b>4.403</b>	<b>0.729</b>	<b>16.560%</b>

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	368	4.375	0.741
2	101	4.485	0.698
3	8	4.750	0.433
4	1	4.000	0.000

【全学共通科目（保健体育系）〈学生所属別〉】

Q7「成長感覚」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.000%	2.000%	6.000%	44.000%	48.000%
中国文学科	0.000%	0.000%	14.286%	28.571%	57.143%
英米文学科	0.000%	3.226%	3.226%	35.484%	58.065%
教育学科	0.000%	4.348%	13.043%	21.739%	60.870%
書道学科	0.000%	0.000%	5.882%	47.059%	47.059%
歴史文化学科	0.000%	0.000%	16.129%	45.161%	38.710%
社会経済学科	0.000%	0.000%	12.500%	43.750%	43.750%
現代経済学科	0.000%	0.000%	0.000%	50.000%	50.000%
中国語学科	0.000%	0.000%	28.571%	14.286%	57.143%
英語学科	0.000%	0.000%	11.765%	23.529%	64.706%
日本語学科	0.000%	0.000%	6.250%	50.000%	43.750%
法律学科	0.000%	4.762%	4.762%	28.571%	61.905%
政治学科	0.000%	0.000%	11.111%	44.444%	44.444%
国際関係学科	0.000%	0.000%	0.000%	25.000%	75.000%
国際文化学科	0.000%	0.000%	12.500%	12.500%	75.000%
経営学科	0.000%	7.407%	0.000%	48.148%	44.444%
スポーツ科学科	0.000%	0.000%	12.903%	29.032%	58.065%
健康科学科	0.000%	1.613%	8.065%	38.710%	51.613%
看護学科	0.000%	0.000%	9.804%	23.529%	66.667%
社会学科	2.326%	0.000%	11.628%	44.186%	41.860%
<b>全学</b>	<b>0.208%</b>	<b>1.455%</b>	<b>8.940%</b>	<b>36.590%</b>	<b>52.807%</b>

【全学共通科目（保健体育系）〈学生所属別〉】

Q7「成長感覚」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.272%	1.359%	10.054%	37.228%	51.087%
2	0.000%	1.980%	5.941%	33.663%	58.416%
3	0.000%	0.000%	0.000%	25.000%	75.000%
4	0.000%	0.000%	0.000%	100.000%	0.000%

Q8 すべてを総合して、この授業に対してどの程度満足しましたか。10を「100%満足」、1を「10%満足」として10段階で最も近いと思われるものを選んでください。【総合満足】

総合満足の学科別の平均値は8.89(保健体育系)であった。保健体育系科目の平均8.89は全共科目の全学平均(8.35)、人文系の全体平均(8.30)、社会系の全体平均(8.22)、自然系の全体平均(8.29)のなかで最も高い水準であった。

満足度の高い「10」から「8」までの回答分布割合の合計（保健体育系の全体平均）は87.14%で、保健体育系の科目に対して概ね満足していると言える。中位の「7」から「5」の分布割合の合計が10.79%で、全共科目の平均(23.98%)よりもかなり低い数値であった。なお、満足度の低い「1」から「3」までの回答分布割合の合計（保健体育系の全体平均1.45%）は全共科目の全体平均(0.94%)に比べると、高い数値であった。

変動係数をみると、変動係数の平均値(保健体育系 16.74%)を上回り、バラツキの大きさが示された学科は、教育学科22.90%、社会学科21.67%、書道学科19.34%、経営学科18.70%、健康科学科17.62%、歴史文化学科16.91%の6学科であった。この6学科における所属学生の評価は満足度が各点に分散していた。一方、英語学科と国際文化学科の変動係数は5.88%と7.42%で非常に低い数値であった。

次に、保健体育系の変動係数が平均以下で、「10」から「8」までの回答分布割合の合計が平均（87.14%）よりも高い結果を示したのは中国語学科、英語学科、日本語学科、政治学科、国際文化学科、スポーツ科学科、健康科学科、看護学科の8学科であった。保健体育系の科目に対して、どの学科の学生も総合満足度を高く認識されている結果となった。

#### 【全学共通科目（保健体育系）〈学生所属別〉】

Q8「総合満足」の学科別（左）および学年別（右）の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	50	8.820	1.438	16.303%
中国文学科	7	8.429	0.904	10.720%
英米文学科	31	8.968	1.150	12.819%
教育学科	23	8.913	2.041	22.901%
書道学科	17	8.529	1.649	19.335%
歴史文化学科	31	8.677	1.468	16.913%
社会経済学科	16	8.750	1.392	15.908%
現代経済学科	11	8.545	1.233	14.430%
中国語学科	7	9.429	1.050	11.134%
英語学科	17	9.706	0.570	5.876%
日本語学科	16	8.813	1.014	11.502%
法律学科	21	8.714	1.350	15.494%
政治学科	9	8.889	0.994	11.180%
国際関係学科	4	9.000	1.225	13.608%
国際文化学科	8	9.375	0.696	7.424%
経営学科	27	8.630	1.614	18.698%
スポーツ科学科	31	9.290	1.300	13.993%
健康科学科	62	8.935	1.575	17.623%
看護学科	51	9.275	1.456	15.702%
社会学科	43	8.395	1.819	21.667%
<b>全学</b>	<b>482</b>	<b>8.892</b>	<b>1.489</b>	<b>16.743%</b>

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	369	8.883	1.498
2	101	8.901	1.486
3	8	9.375	1.111
4	1	7.000	0.000

【全学共通科目（保健体育系）〈学生所属別〉】

Q8「総合満足」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
日本文学科	0.000%	0.000%	2.000%	0.000%	0.000%	4.000%	8.000%	24.000%	16.000%	46.000%
中国文学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	14.286%	42.857%	28.571%	14.286%
英米文学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	3.226%	9.677%	19.355%	22.581%	45.161%
教育学科	0.000%	0.000%	8.696%	0.000%	0.000%	4.348%	0.000%	4.348%	21.739%	60.870%
書道学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	5.882%	11.765%	5.882%	23.529%	5.882%	47.059%
歴史文化学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	6.452%	0.000%	12.903%	25.806%	9.677%	45.161%
社会経済学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	6.250%	0.000%	12.500%	12.500%	31.250%	37.500%
現代経済学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	9.091%	9.091%	27.273%	27.273%	27.273%
中国語学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	14.286%	0.000%	14.286%	71.429%
英語学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	5.882%	17.647%	76.471%
日本語学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	6.250%	43.750%	12.500%	37.500%
法律学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	4.762%	0.000%	14.286%	19.048%	23.810%	38.095%
政治学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	55.556%	0.000%	44.444%
国際関係学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	25.000%	0.000%	25.000%	50.000%
国際文化学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	12.500%	37.500%	50.000%
経営学科	0.000%	0.000%	3.704%	0.000%	0.000%	7.407%	3.704%	22.222%	25.926%	37.037%
スポーツ科学科	0.000%	0.000%	0.000%	3.226%	0.000%	0.000%	3.226%	16.129%	9.677%	67.742%
健康科学科	1.613%	0.000%	0.000%	0.000%	3.226%	0.000%	6.452%	17.742%	20.968%	50.000%
看護学科	1.961%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	1.961%	1.961%	7.843%	25.490%	60.784%
社会学科	0.000%	0.000%	2.326%	4.651%	4.651%	0.000%	9.302%	20.930%	23.256%	34.884%
全学	0.415%	0.000%	1.037%	0.622%	1.867%	2.075%	6.846%	19.087%	19.710%	48.340%

【全学共通科目（保健体育系）〈学生所属別〉】

Q8「総合満足」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	0.542%	0.000%	1.084%	0.813%	1.626%	1.626%	6.233%	19.512%	21.951%	46.612%
2	0.000%	0.000%	0.990%	0.000%	2.970%	3.960%	7.921%	17.822%	12.871%	53.465%
3	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	12.500%	12.500%	0.000%	75.000%
4	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	100.000%	0.000%	0.000%	0.000%

【クロス表に関する結果(保健体育系)】

教員熱意と学生熱意とのクロス表(表1:回答数、表2:パーセント)では、それぞれの行で最も高い回答数値を赤字で示している。右端の列(4+5)に、4「どちらかと言えばそう思う」と5「強くそう思う」の割合を加算した数字を記載している。尚、4と5の合計はローデータに基づいて計算しているため、表では100分の1の誤差が生じる場合がある。

この回答数を示した表1に注目すると、教員熱意が向上すればするほど、右側の数字が高くなっていることが見てとれる。右端の列の数字(赤字:1→0→12→99→326)から、教員熱意が向上すればするほど、その数値が上がっていくことが顕著になる。次に、教員熱意と学生熱意とのクロスチェック数値(0→0→17→81→238)も互いに上昇していることを確認で

きる。この結果から、学生が教員熱意を感じるようになると、自分意欲も強く感じるようになっていくことがわかる。

表 1

●【全学共通科目（保健体育系）（学生所属別）】クロス集計（【学生意欲】×【教員熱意】）【回答数】

	学生意欲					合計	4+5
	1 まったくそう思わない	2 どちらかと言えばそう思わない	3 どちらとも言えない	4 どちらかと言えばそう思う	5 強く思う		
教員熱意	1 まったくそう思わない	0	0	0	0	1	1
	2 どちらかと言えばそう思わない	0	0	0	0	0	0
	3 どちらとも言えない	0	1	17	9	3	30
	4 どちらかと言えばそう思う	0	2	10	81	18	111
	5 強く思う	1	0	12	88	238	326
合計	1	3	39	178	260	481	

表 2

●【全学共通科目（保健体育系）（学生所属別）】クロス集計（【学生意欲】×【教員熱意】）【パーセント】

	学生意欲					合計	4+5
	1 まったくそう思わない	2 どちらかと言えばそう思わない	3 どちらとも言えない	4 どちらかと言えばそう思う	5 強く思う		
教員熱意	1 まったくそう思わない	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	100.000%	100.000%
	2 どちらかと言えばそう思わない	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%
	3 どちらとも言えない	0.000%	3.333%	56.667%	30.000%	10.000%	40.000%
	4 どちらかと言えばそう思う	0.000%	1.802%	9.009%	72.973%	16.216%	89.189%
	5 強く思う	0.295%	0.000%	3.540%	25.959%	70.206%	96.165%

### 【相関係数表に関する結果(保健体育系)】

相関係数に関しては、+0.3 以上+0.6 未満(-0.3~-0.6)で弱い正(負)の相関関係、+0.6 以上+1 未満(-0.6~-1)で強い正(負)の相関関係があると解釈できる。当該相関係数表では、弱い正の相関関係を青字、強い正の相関関係を赤字でそれぞれ記す。

分析の結果、「難易度が適切かどうか」に関わるもの以外の全ての変数(項目)に関して、正の相関関係がみられた。

「総合満足」は、「成長実感(成長感覚)」との間に弱い正の相関関係 0.47 がみられ、正の相関関係の順に「学生意欲 0.50」「教員熱意 0.43」「シラバス通り 0.37」「FB 丁寧 0.21」と続く。つまり、「総合満足」と「成長感覚」が弱い相関関係にあることから、「総合満足」の向上に「成長感覚」がやや影響することを示している。

次に、「成長感覚」との相関関係を順に見ていくと、「教員熱意」との間に弱い正の相関関係 0.52 がみられた。その後は弱い正の相関関係順に、「学生意欲 0.48」「シラバス通り 0.40」「FB 丁寧 0.32」と続く。ここから、「成長感覚」の向上は教員熱意があるかどうかやや影響していることを確認できる。

「難易度が適切か」に関しては、相関係数表に基づくと、すべての項目間で相関関係がみられない。

まとめると、「教員熱意」が学生の「成長感覚」を促し、「成長感覚」が「総合満足度」に影響

響を与えているという弱い相関関係が示された。保健体育系の科目を履修している学生は他系列科目の履修生に比べて成長感覚に対する認識が相対的に低いという結果になった(人文系 0.57、社会系 0.60、自然系 0.65)。

●【全学共通科目（保健体育系）〈学生所属別〉】相関係数表

		Q1b	Q2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8
		【シラパス通り】	【難易度適切】	【FB丁寧】	【学生意欲】	【教員熱意】	【成長感覚】	【総合満足】
Q1b	【シラパス通り】	1.000						
Q2	【難易度適切】	-0.048	1.000					
Q4	【FB丁寧】	0.402	0.001	1.000				
Q5	【学生意欲】	0.385	-0.104	0.258	1.000			
Q6	【教員熱意】	0.435	0.019	0.411	0.496	1.000		
Q7	【成長感覚】	0.400	0.010	0.316	0.483	0.520	1.000	
Q8	【総合満足】	0.373	-0.077	0.211	0.495	0.433	0.473	1.000

まとめと結論【全学共通科目・4系分類（学生所属別）】

2025年度前期から、全共科目を人文系・社会系・自然系・保健体育系に4分類し、各系科目に対する授業認識の相違が生じるかどうかの分析を行った。全共科目全体で動向を把握すると、どの質問項目においても学科間の相違が見えにくい。4分類でみると全共科目全体ではみえてこなかった傾向が示された。

2025年度後期は特に次の点に注目して考察をおこなった。全共科目と各分類の回答結果を比較して、著しく異なる動向を示す数値がある場合、どの層がどこにシフトしたのか把握するように努めた。これにより、学生の授業難易度の受け止め方や意欲、総合満足に対する認識の変化がみえると考えからである。学科の状況は、特徴的な結果を示した学科を中心に本文中で言及したので、そちらを確認して頂きたい。ここでは分類単位で学生の認識を比較し特徴をまとめる。

回答者数（回答率）は人文系 1,278 人（38.09%）、社会系 1,420 人（33.93%）、自然系 435 人（28.62%）、保健体育系 482 人（32.44%）であった。回答者数は本学の各分類の科

目数の多寡も影響していると思われる。結果は以下の通りである。

1. 「難易度適切」について、全共科目全体の回答分布と変動係数をみると、どちらかというとして授業を難しいと受け止める層が増えつつある。二極化した学科（教育学科、スポーツ科学科、看護学科）と授業を難しいと捉える回答分布割合が大幅に増加した学科（中国文学科、中国語学科、日本語学科、経営学科、国際関係学科）が顕著になった。

人文系科目に対しては、難しいという認識に偏る傾向にある。変動係数が低くばらつきが小さくても、内容的には難しいほうに移行しつつあり、この点は留意が必要である（教育学科、英米文学科、中国文学科、中国語学科、日本語学科、健康科学科）。

社会系科目に対しては、易しいと捉える「1」と「2」が0%の学科（中国文学科、書道学科、中国語学科、日本語学科、国際関係学科、スポーツ科学科）が増えている。その分、難しいと捉える「4」と「5」の分布割合が増加している。

自然系科目に対しては、難しいと捉える層が多い。特に「1」と「2」の分布割合が0%を示した学科が13学科あった。全共科目全体に比べて、「3」が減り、「4」と「5」が大幅に増えた学科は8学科であった。変動係数の数値は小さくても、難しいと捉えるほうへ偏る傾向にある。一方で、変動係数の数値は大きく、難易度に対する認識がばらついていても、自然系科目を易しいと捉える層が一定数いる学科もある（日本文学科、教育学科、社会経済学科、スポーツ科学科）。つまり二極化している学科である。これは自然系科目に対して顕著にみられた結果であった。

保健体育系科目に対しては、学科間の相違が顕著に出る結果となった。全共科目全体と比べると、授業を難しいと捉える層は全学科で減少がみられ、大幅に減少した学科も10学科あった。全体として授業内容を易しいと認識していることがわかる。

難易度適切は、相関係数表をみる限り他の項目との相関はみられないが、学生の学力とも関わると考えられるので、注視しておく必要があるだろう。

2. 学生意欲は、全共科目全体でみると意欲の高い割合が減少し、意欲の低い割合が増加しており、その傾向が強く出た学科もある（教育学科、書道学科、日本語学科、国際関係学科、経営学科）。

人文系科目に対しては、「1」もしくは「2」が増加した学科（中国文学科、書道学科）、の3（どちらとも言えない）が増加した学科（教育学科、経営学科、中国語学科、スポーツ科学科、看護学科）があり、これは全共科目全体の動向とも重なる。

社会科学系科目に対しては、全体としてはやや低下傾向にあるが、それでも学生は自己意欲を高く評価していると言える。「3」の分布割合が「4」と「5」へシフトし自己意欲が高くなった学科（中国文学科、中国語学科）がある一方で、「4」と「5」が「3」へとシフトした学科もある（英米文学科、英語学科、国際関係学科、健康科学科、看護学科）。

自然系科目に対して、学生は自身の意欲や熱意を総じて高く評価している。全共科目全

体と自然系科目の「3」の分布割合を比較しても、自然系科目のほうが低い。低くなった分は「4」もしくは「5」へとシフトしており、意欲の高い層が増えたことを示している（日本語学科、国際関係学科、看護学科）。

保険体育系科目に対しては、学生は自身の意欲や熱意を高く評価している。全共科目全体と比べても高い数値を示し、回答も意欲を高く評価するほうに偏る結果となった。

3. 教員の熱意に対しては、全共科目全体、人文系科目、社会系科目、自然系科目、保健体育系のどの分類をみても高い評価となった。これは例年と変わらない。

4. 成長感覚は全共科目全体でみると、成長実感の高い層が減少し、弱い層が増加する傾向にある（教育学科、書道学科、歴史文化学科、英語学科、中国語学科、社会経済学科、国際関係学科、スポーツ科学科）。

人文系科目に対しては、学生は総じて成長感覚を高く評価している。ただし、一部の学科では「1」と「2」が増加していることから変動係数が大きく、成長感覚のばらつきを示す結果となった（書道学科、社会経済学科、国際関係学科）。

社会系科目に対しては、どの学科の学生も成長感覚を高く評価している。ただし、一部の学科では、評価のバラツキが大きい結果となった（書道学科、日本語学科、国際関係学科）。

自然科学系科目に対しても、学生は成長感覚を高く評価している結果となった。成長感覚の低い「1」と「2」が0%の学科も13学科あった。そのなかで、高い評価を示す「4」と「5」の割合が、他学科よりも20%以上低い結果を示した学科（英語学科、国際文化学科）があった点は留意したほうが良いだろう。

保健体育系科目に対しては、学生は自身の成長を高く認識している。中国語学科は成長感覚の高い認識（「4」、「5」）を示す割合が平均よりも低く、「3どちらとも言えない」と認識する層が多い結果となった

5. 総合満足は、全共科目全体でみると前期よりも向上し、まずまずの結果と言える。ただし、変動係数が他の質問項目と比べても高い数値を示していることから学科間格差がかなり出る結果となった。注意を要すると思われるのは学年別の動向である。例年同様、4年生は満足度の高い「10」の分布割合が多く、満足度の低い「1」と「2」は同程度であるが、1年生、2年生、3年生は「2」よりも「1」の分布割合が多いという結果であった。

人文系科目に対する総合満足度は、学科間格差はあるが総じて高い。なかでも変動係数が低くばらつきが少なく、回答分布割合も高い層が多くを占める6学科（中国文学科、英米文学科、現代経済学科、日本語学科、法律学科、健康科学科）は、人文系科目に対して高い満足度を示す結果となった。

社会系科目も人文系科目と同様に学科間格差はあるが総合満足度は総じて高い。なかでも変動係数が低くバラツキが少なく、回答分布割合も高い層が多くを占める11学科（日本文学科、中国文学科、教育学科、社会経済学科、現代経済学科、中国語学科、日本

語学科、政治学科、国際文化学科、スポーツ科学科、看護学科)は社会系科目に対して高い満足度を示した。バラツキが大きくなった8学科(書道学科、日本語学科、英語学科、法律学科、経営学科、スポーツ科学科、健康科学科、看護学科)は満足度が分散したことになる。

中国文学科、現代経済学科の学生は人文系科目と社会系科目の両方に対する満足度の高さがわかる。英米文学科と日本語学科、法律学科、健康科学科は、人文系科目に対して満足の高さを示したが、社会系科目に対しては満足度が分散する結果となった。

自然系科目に対する総合満足度は総じて高いと言えるが、学科間のばらつきは大きい。中位(「5」から「7」)の数値は全共科目全体よりも自然系科目のほうが高く、かつ低位(「1」から「3」)の数値は自然系科目のほうが低かった。そのなかで、(10段階中)「5」の割合が平均よりも突出して高い数値を示した学科(書道学科、歴史文化学科)があり、これらの学科の学生は自然系科目に対する満足度が高いとは言えない層が一定数いることになる。その一方で、変動係数が低く、満足度の高い層が多くを占める学科が7学科あり、自然系科目に対する総合満足度の学科間の相違が顕著であった。

保健体育系科目に対する総合満足度は、平均値をみると全共科目全体と4分類のなかで最も高い数値を示した。ただし、満足度の高い割合は全共科目全体よりも高い数値を示したが、満足度の低い割合も全共科目全体よりも高く、学科間のばらつきはある。とはいえ、変動係数自体がそれほど高くないことから、学科間格差はあっても保健体育系科目に対する満足度を高く認識していると言える。

6. 全共科目全体と4分類の動向を比較してみると、授業に対する認識が学科によって異なっていることが顕著に表れた結果となった。人文系、社会系といった科目の相違よりも、学科間の学生の相違が表れたと言える。

全体として授業を難しいと捉える層が増加しており、学力が影響していると考えられる。全体的に学力が低下しているなかで、授業を易しいと捉える一定の学力を有する学生も一定数を占めている。加えて、学生が自身の意欲や熱意をそれなりに評価している点も無視できない。授業が難しくても理解しようとする、学生なりの意識の表れともとれる。こうした現状に対し、全学共通科目を担当する教員は授業運営に非常に苦慮されていると思われる。

クロス集計の結果をみると、後期は前期と同様に教員熱意が向上すると、学生意欲も上昇するという関係がみられた。相関係数は前期と同様に弱い正の相関関係がみられた。今後、相関関係がどのように変化するか変遷をみる必要があるだろう。

7. 授業の難易度の受け止め方から、学生の学力の二極化、あるいは全体的な学力低下が見えてきており、全学共通科目の課題とは別に、各学科で学生の現状を把握したうえで、初年次教育のあり方を再考する必要があると思われる。

以上